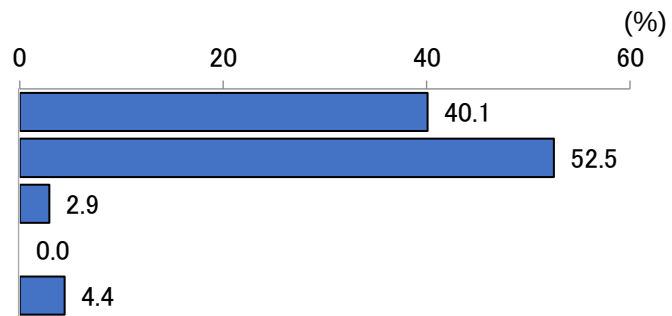


## 第 2 章 調査結果の詳細

## 1. 基本属性

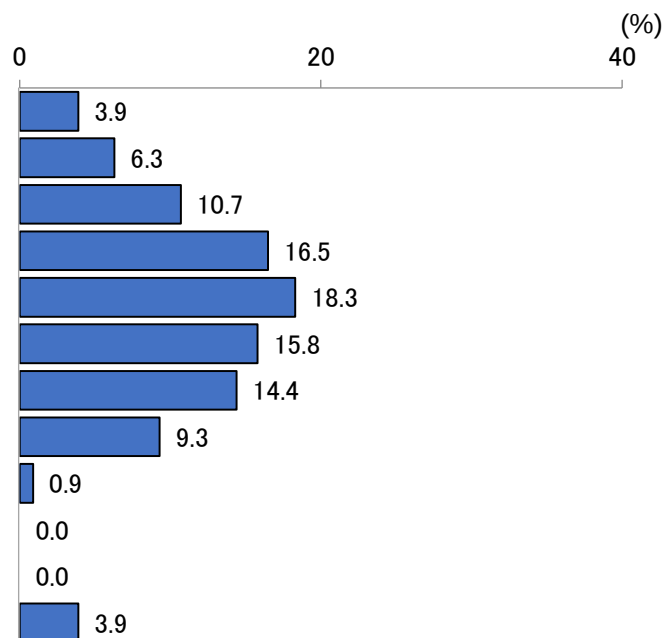
## (1) 性別

|       | 基数    | 構成比    |
|-------|-------|--------|
| 男     | 453   | 40.1%  |
| 女     | 593   | 52.5%  |
| 回答しない | 33    | 2.9%   |
| 不明    | 0     | 0.0%   |
| 無回答   | 50    | 4.4%   |
| 全 体   | 1,129 | 100.0% |

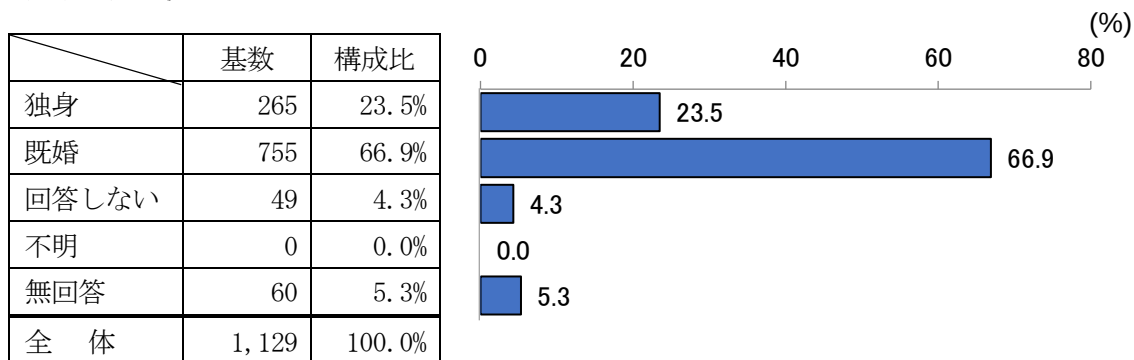


## (2) 年齢

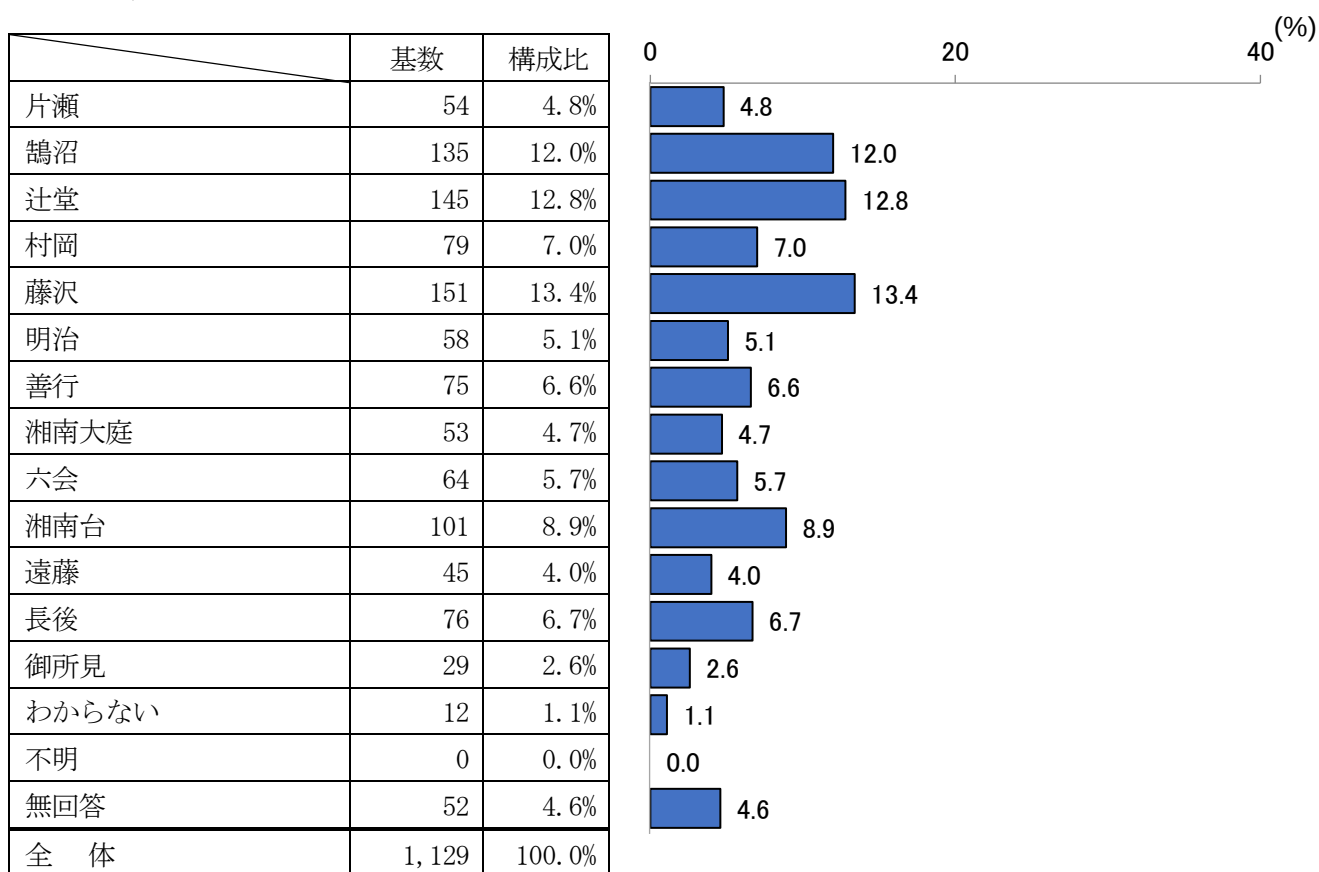
|        | 基数    | 構成比    |
|--------|-------|--------|
| 10歳代   | 44    | 3.9%   |
| 20歳代   | 71    | 6.3%   |
| 30歳代   | 121   | 10.7%  |
| 40歳代   | 186   | 16.5%  |
| 50歳代   | 207   | 18.3%  |
| 60歳代   | 178   | 15.8%  |
| 70歳代   | 163   | 14.4%  |
| 80歳代   | 105   | 9.3%   |
| 90歳代   | 10    | 0.9%   |
| 100歳以上 | 0     | 0.0%   |
| 不明     | 0     | 0.0%   |
| 無回答    | 44    | 3.9%   |
| 全体     | 1,129 | 100.0% |



### (3) 婚姻状況

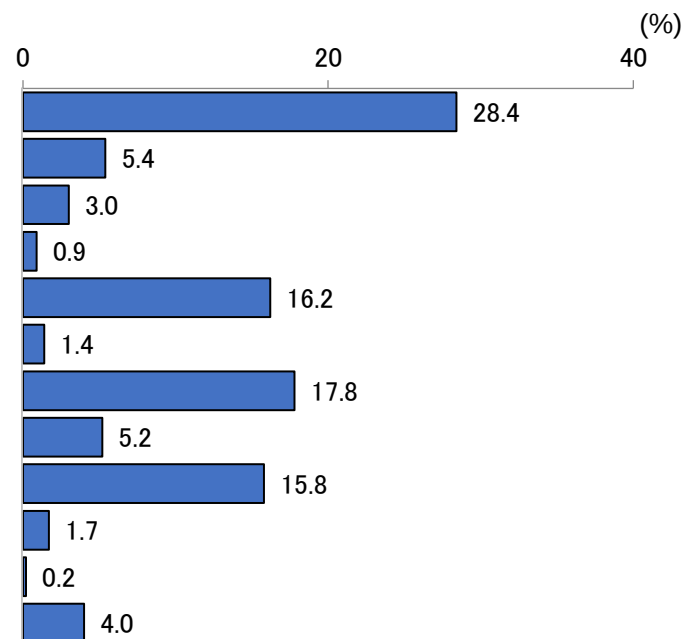


### (4) 居住地区



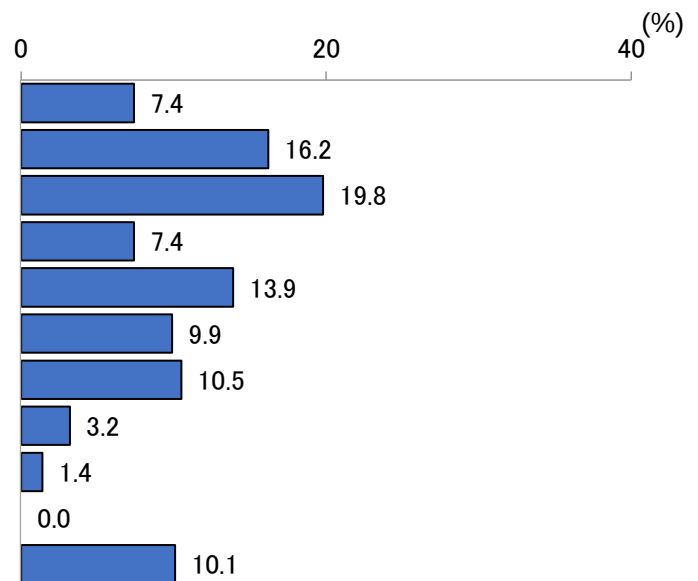
## (5) 職業

|                         | 基数    | 構成比    |
|-------------------------|-------|--------|
| 会社員                     | 321   | 28.4%  |
| 自営業・家族従業者               | 61    | 5.4%   |
| 公務員                     | 34    | 3.0%   |
| 団体職員                    | 10    | 0.9%   |
| 派遣・契約社員、パートタイム従業者、アルバイト | 183   | 16.2%  |
| 会社役員・団体役員               | 16    | 1.4%   |
| 主婦・主夫                   | 201   | 17.8%  |
| 学生                      | 59    | 5.2%   |
| 無職(主婦/主夫、学生を除く)         | 178   | 15.8%  |
| その他                     | 19    | 1.7%   |
| 不明                      | 2     | 0.2%   |
| 無回答                     | 45    | 4.0%   |
| 全 体                     | 1,129 | 100.0% |



## (6) 世帯全体の年間収入

|                       | 基数    | 構成比    |
|-----------------------|-------|--------|
| 150 万円未満              | 84    | 7.4%   |
| 150 万円以上～300 万円未満     | 183   | 16.2%  |
| 300 万円以上～500 万円未満     | 224   | 19.8%  |
| 500 万円以上～600 万円未満     | 84    | 7.4%   |
| 600 万円以上～800 万円未満     | 157   | 13.9%  |
| 800 万円以上～1,000 万円未満   | 112   | 9.9%   |
| 1,000 万円以上～1,500 万円未満 | 119   | 10.5%  |
| 1,500 万円以上～2,000 万円未満 | 36    | 3.2%   |
| 2,000 万円以上            | 16    | 1.4%   |
| 不明                    | 0     | 0.0%   |
| 無回答                   | 114   | 10.1%  |
| 全 体                   | 1,129 | 100.0% |

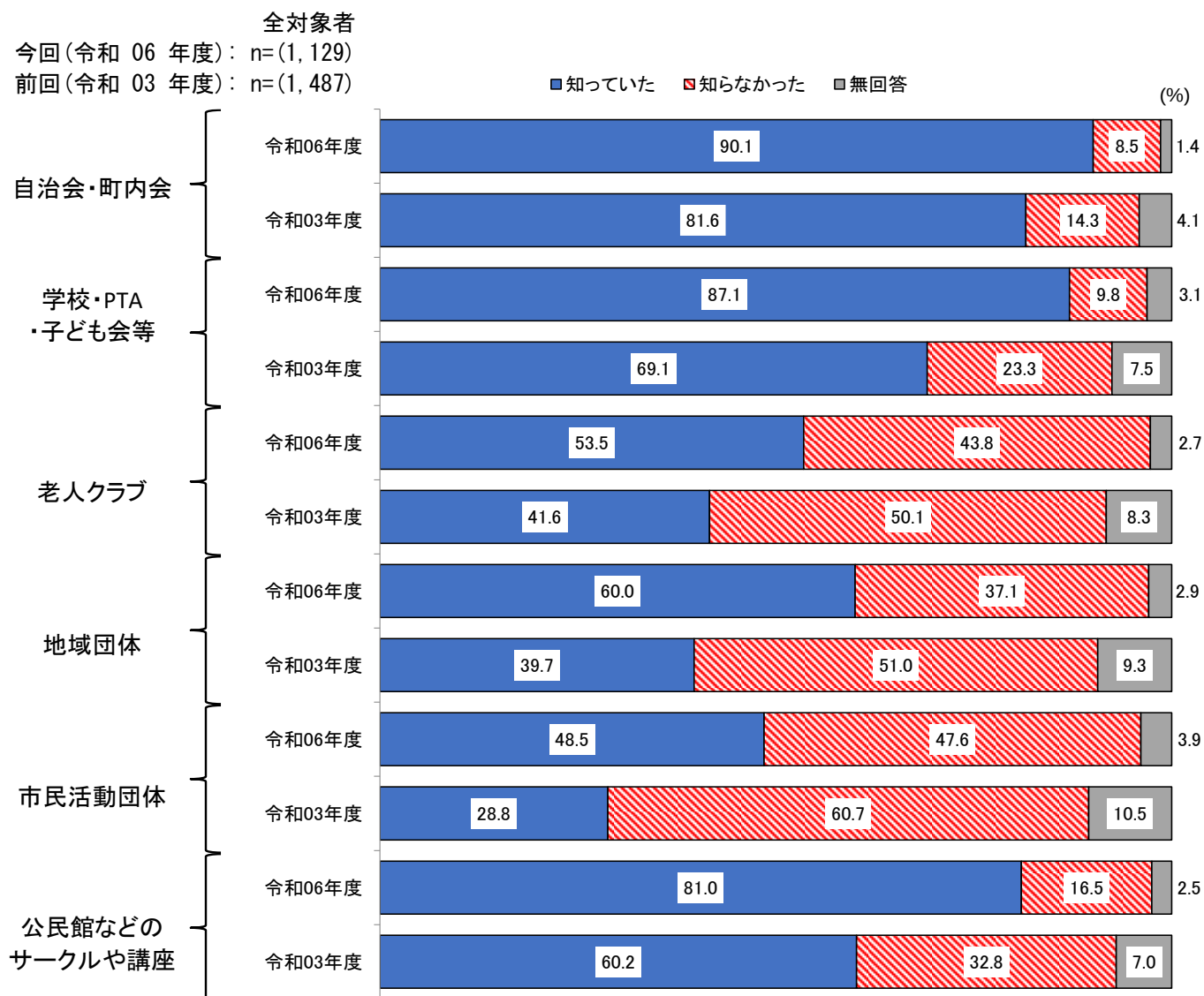


## 2. 地域活動について

### (1) 地域活動の周知状況

問1-1 次の地域活動のうち、このアンケートが届く前からその活動の存在を知っていたかどうかをお選びください。（いずれか一つに○）

【図表1：地域活動の周知状況】

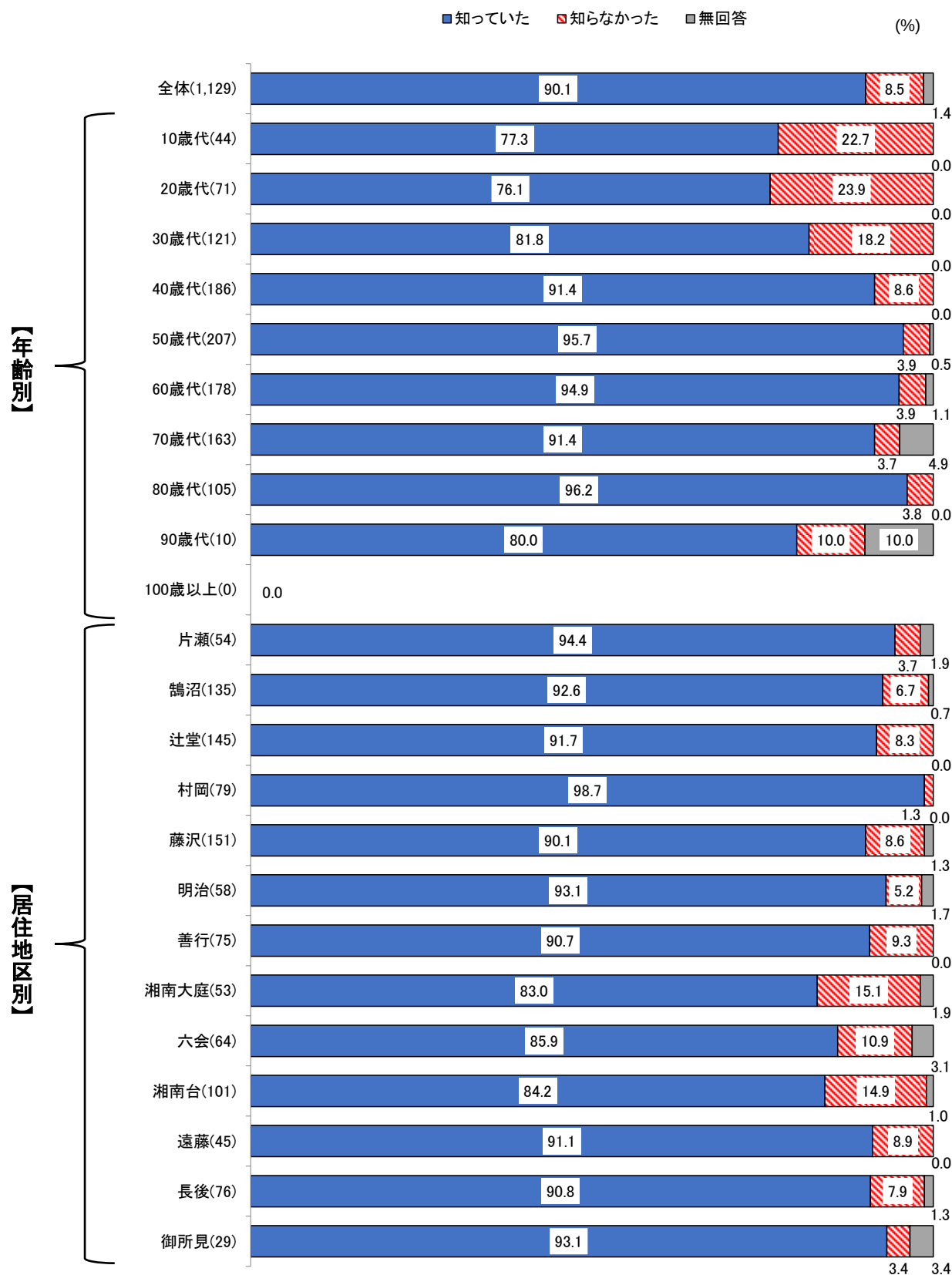


地域活動の周知状況について、「知っていた」割合は「自治会・町内会」が90.1%、次いで「学校・PTA・子ども会等」(87.1%)、「公民館などのサークルや講座」(81.0%)と、前回調査と同じ順となっている。

また、「知らなかった」の割合についても「市民活動団体」(47.6%)、「老人クラブ」(43.8%)が4割を超えている。

前回調査(令和3年度)と比較すると、すべての地域活動において「知っていた」割合が高くなっている。

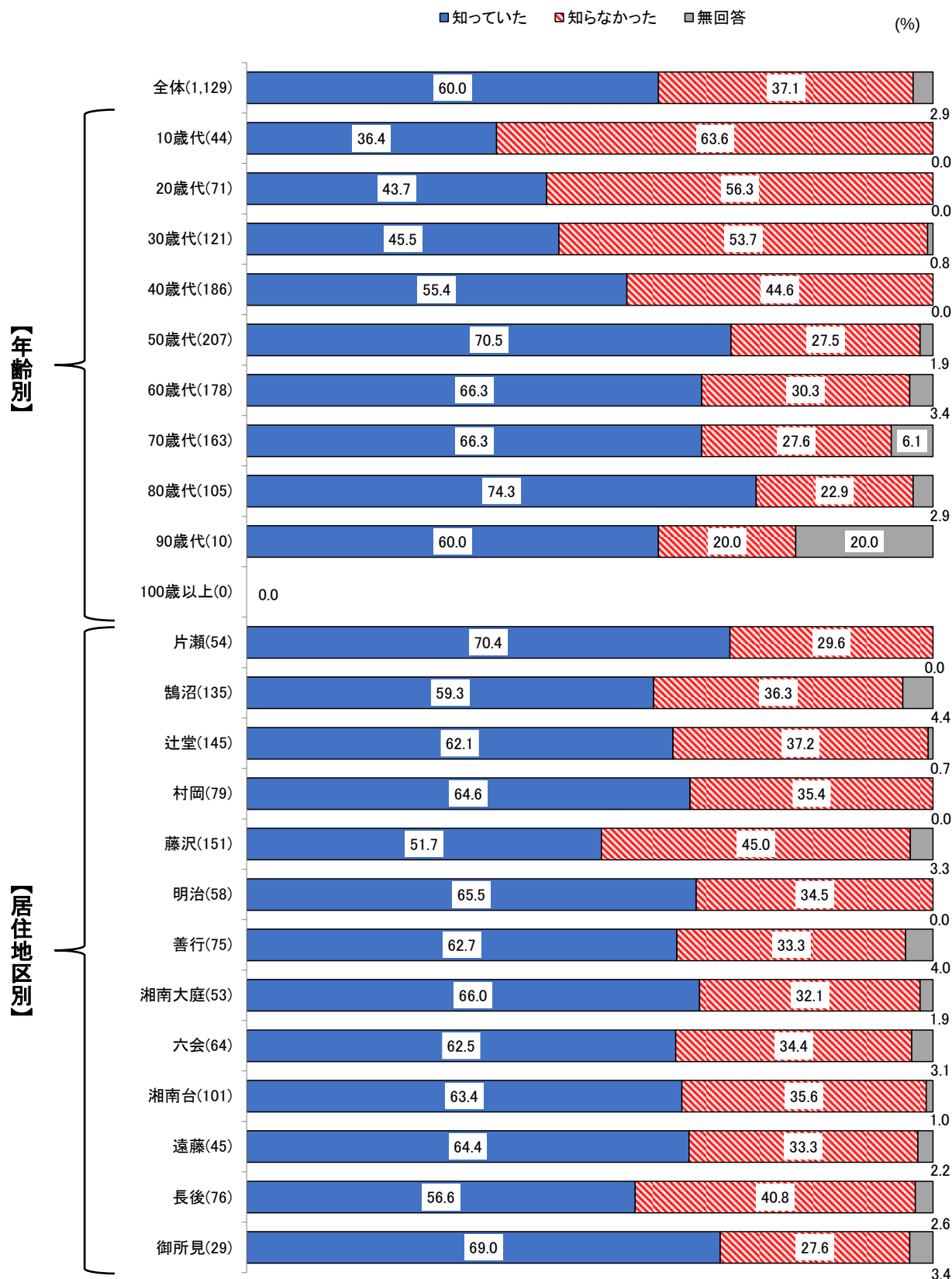
【図表2：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況①】自治会・町内会



「知っていた」の割合を年齢別にみると、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、80歳代が96.2%と最も高くなっている。

居住地区別では、村岡（98.7%）、片瀬（94.4%）、明治（93.1%）、御所見（93.1%）、鵜沼（92.6%）などで「知っていた」割合が高くなっている。

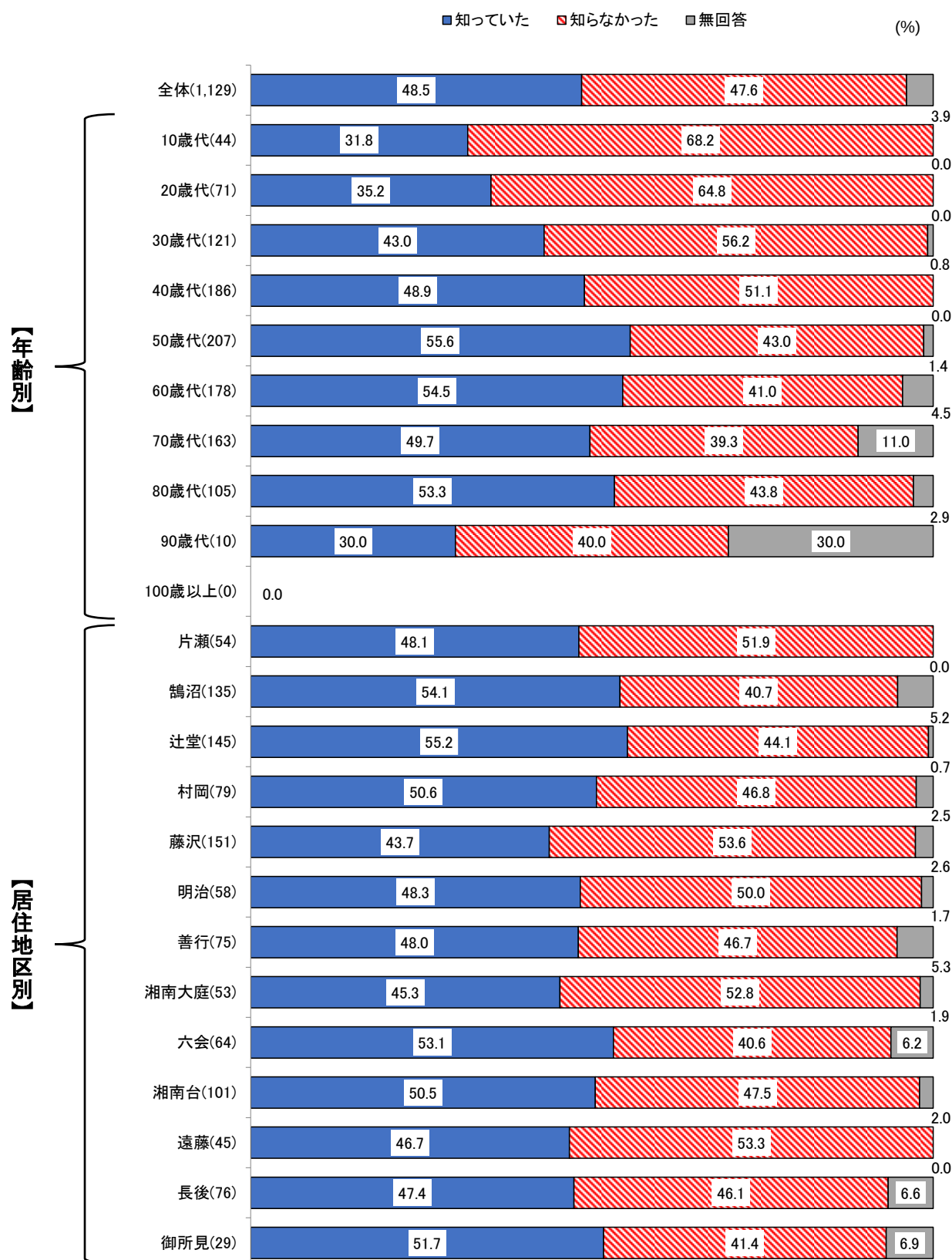
【図表3：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況②】地域団体



「知っていた」の割合を年齢別にみると、80歳代（74.3%）と50歳代（70.5%）が7割以上となっている。

居住地区別では、片瀬（70.4%）で「知っていた」割合が最も多く、次いで、御所見（69.0%）、湘南大庭（66.0%）、明治（65.5%）等で「知っていた」割合が高くなっている。

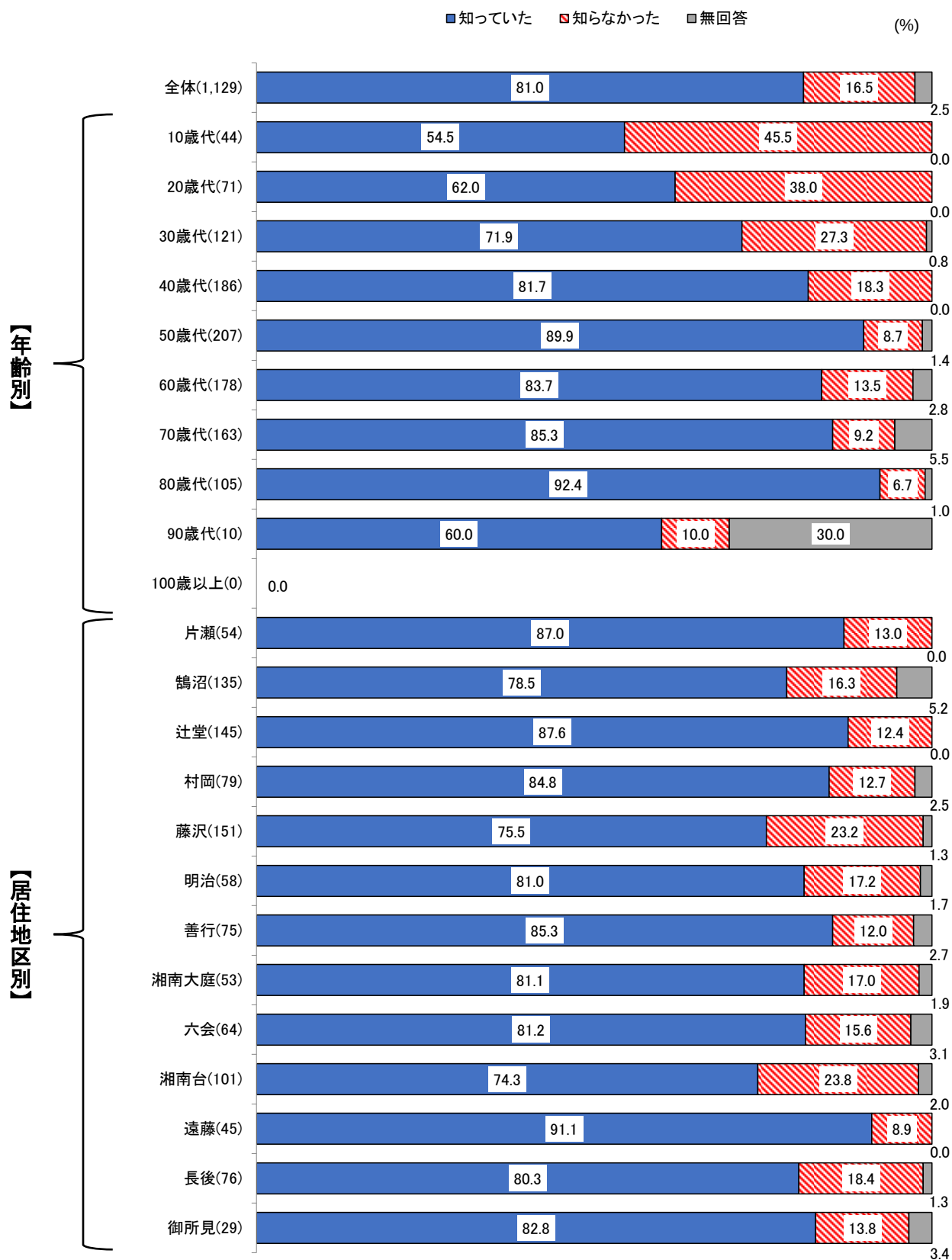
【図表4：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況③】市民活動団体（NPOを含む）



「知っていた」の割合を年齢別にみると、50歳代（55.6%）と60歳代（54.5%）、80歳代（53.3%）で5割を超えている。

居住地区別では、辻堂（55.2%）、鵜沼（54.1%）、六会（53.1%）の順で「知っていた」割合が高くなっている。

【図表5：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況④】 公民館などのサークルや講座



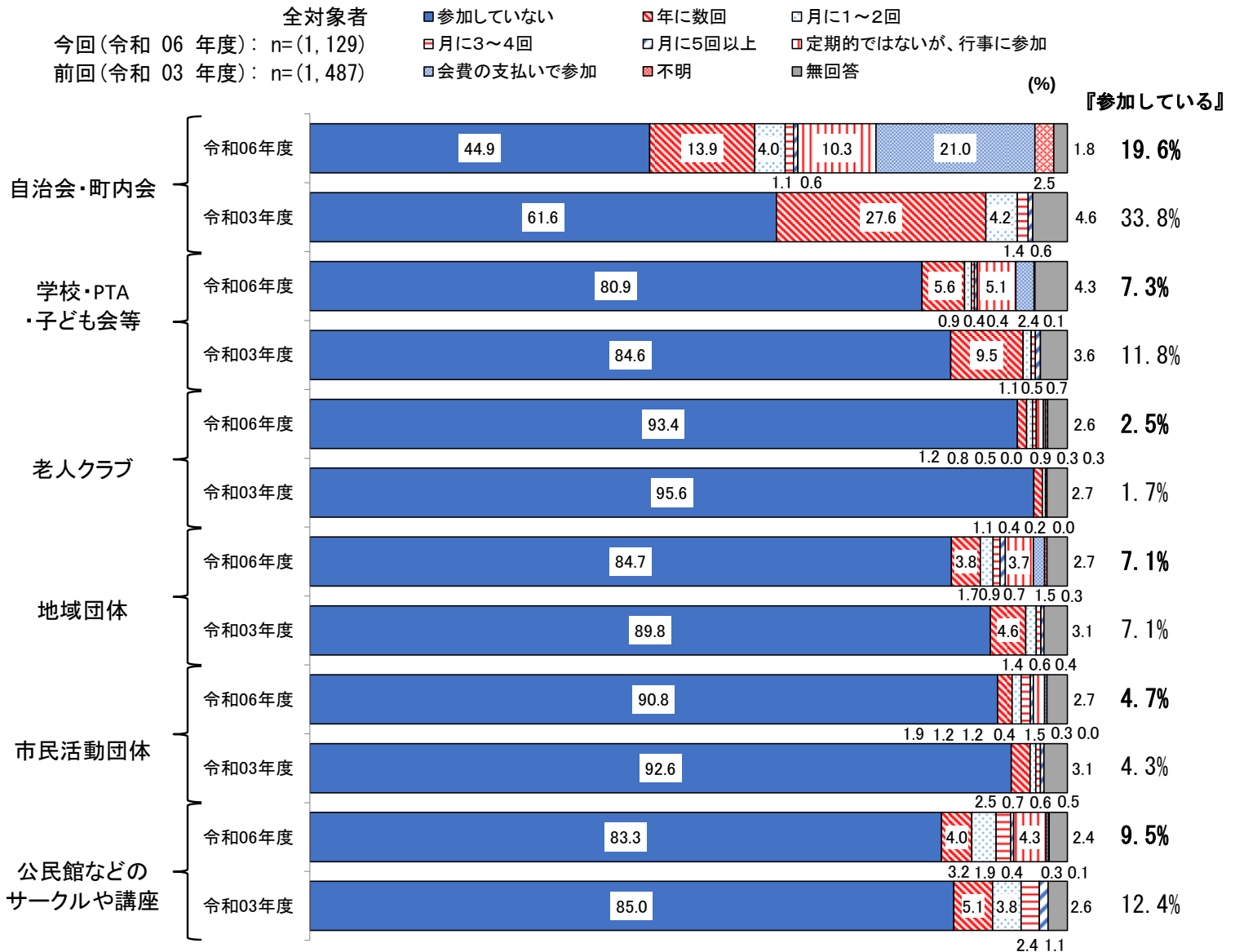
「知っていた」の割合を年齢別にみると、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向ではあるが、最も「知っていた」割合が高い年齢は80歳代(92.4%)及び50歳代(89.9%)となっている。

居住地区別では、遠藤(91.1%)、辻堂(87.6%)、片瀬(87.0%)、善行(85.3%)などで「知っていた」割合が高くなっている。

## (2) 地域活動への参加の頻度と参加理由

問1-2 あなたの地域活動への参加の頻度をお選びください。(いずれか一つに○)  
また参加の理由についてお選びください。(あてはまるものすべてに○)

【図表6：地域活動への参加の頻度】



※「定期的ではないが、行事に参加」「会費の支払いで参加」は今回より新設。

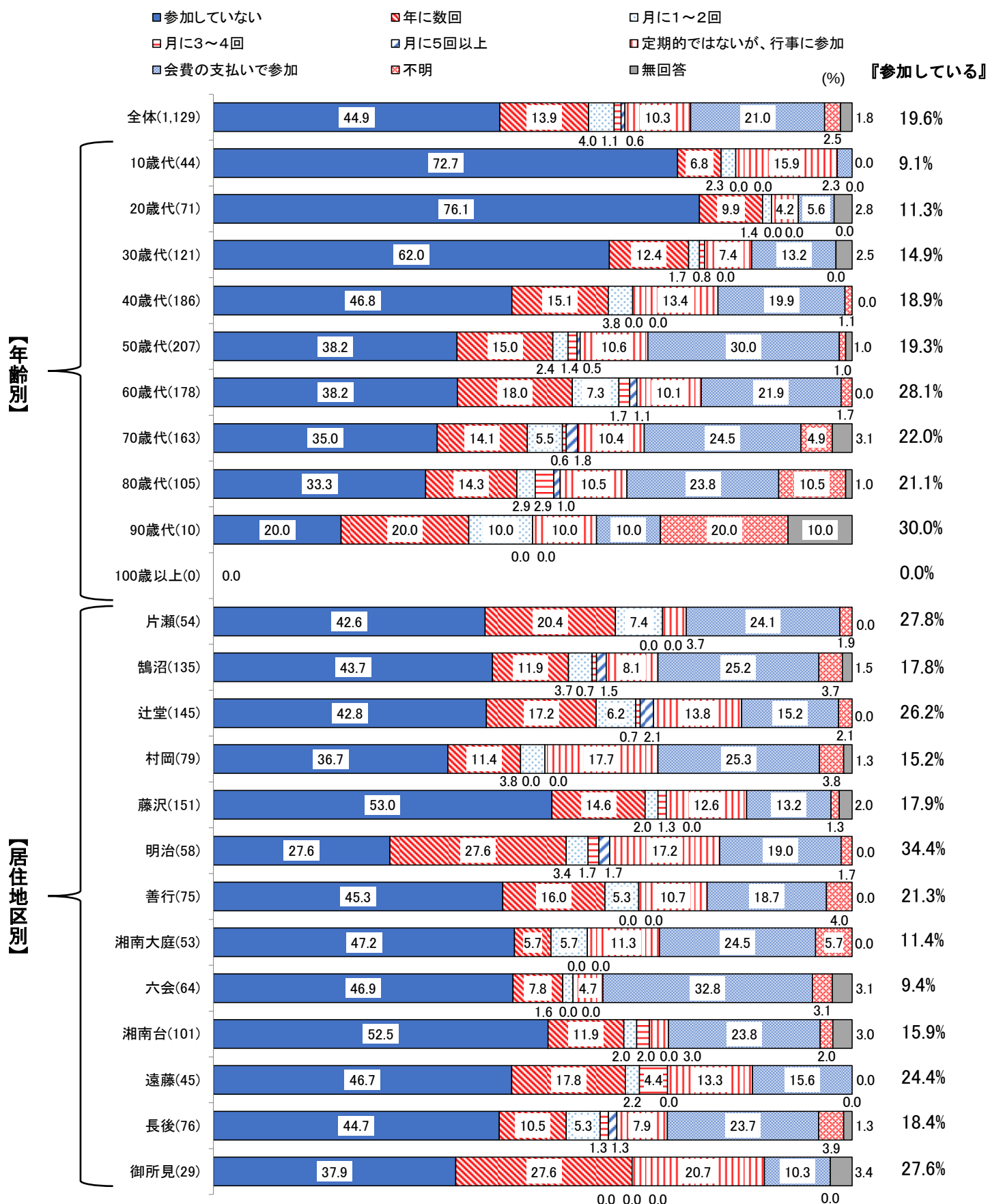
※『参加している』の数値は「年に数回」「月に1～2回」「月に3～4回」「月に5回以上」の合計値である。

地域活動への参加状況について、「月に5回以上」「月に3～4回」「月に1～2回」「年に数回」を合わせた『参加している』割合は「自治会・町内会」が19.6%で最も高く、「参加していない」は44.9%と前回調査を下回っている。

それ以外の活動については「参加していない」割合は8割以上となっており、「老人クラブ」(93.4%)、次いで「市民活動団体」(90.8%)、「地域団体」(84.7%)、「公民館などのサークルや講座」(83.3%)、「学校・PTA・子ども会等」(80.9%)の順となっている。

前回調査(令和3年度)と比較し、『参加している』の割合は減少または微増傾向である。

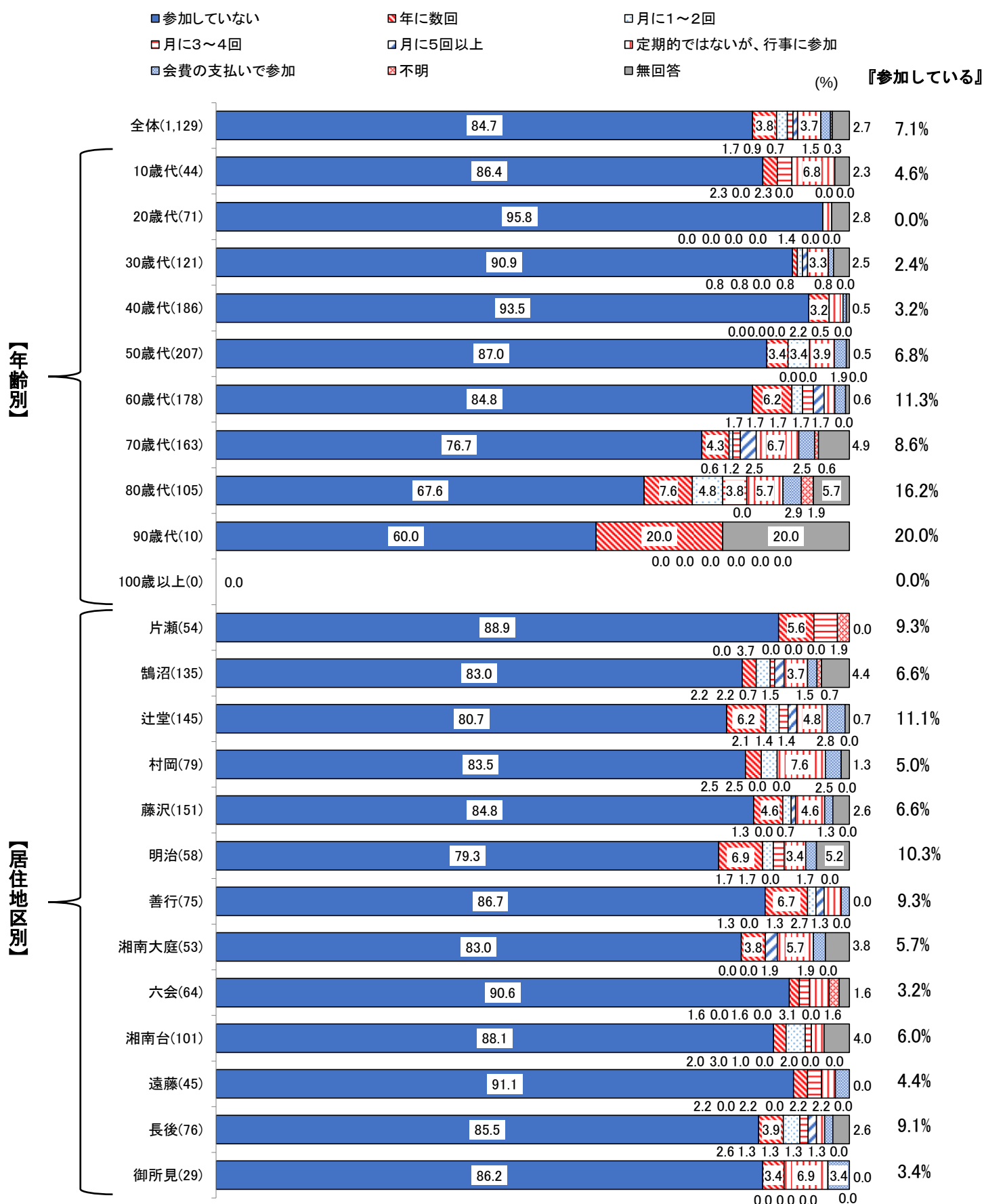
【図表7：年齢別・居住地区別／参加の頻度①】 自治会・町内会



『参加している』割合を年齢別にみると、90歳代（30.0%）や60歳代（28.1%）で割合が高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代（76.1%）や10歳代（72.7%）で高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、明治（34.4%）、片瀬（27.8%）などで高い一方、「参加していない」割合は、藤沢（53.0%）や湘南台（52.5%）などで高くなっている。

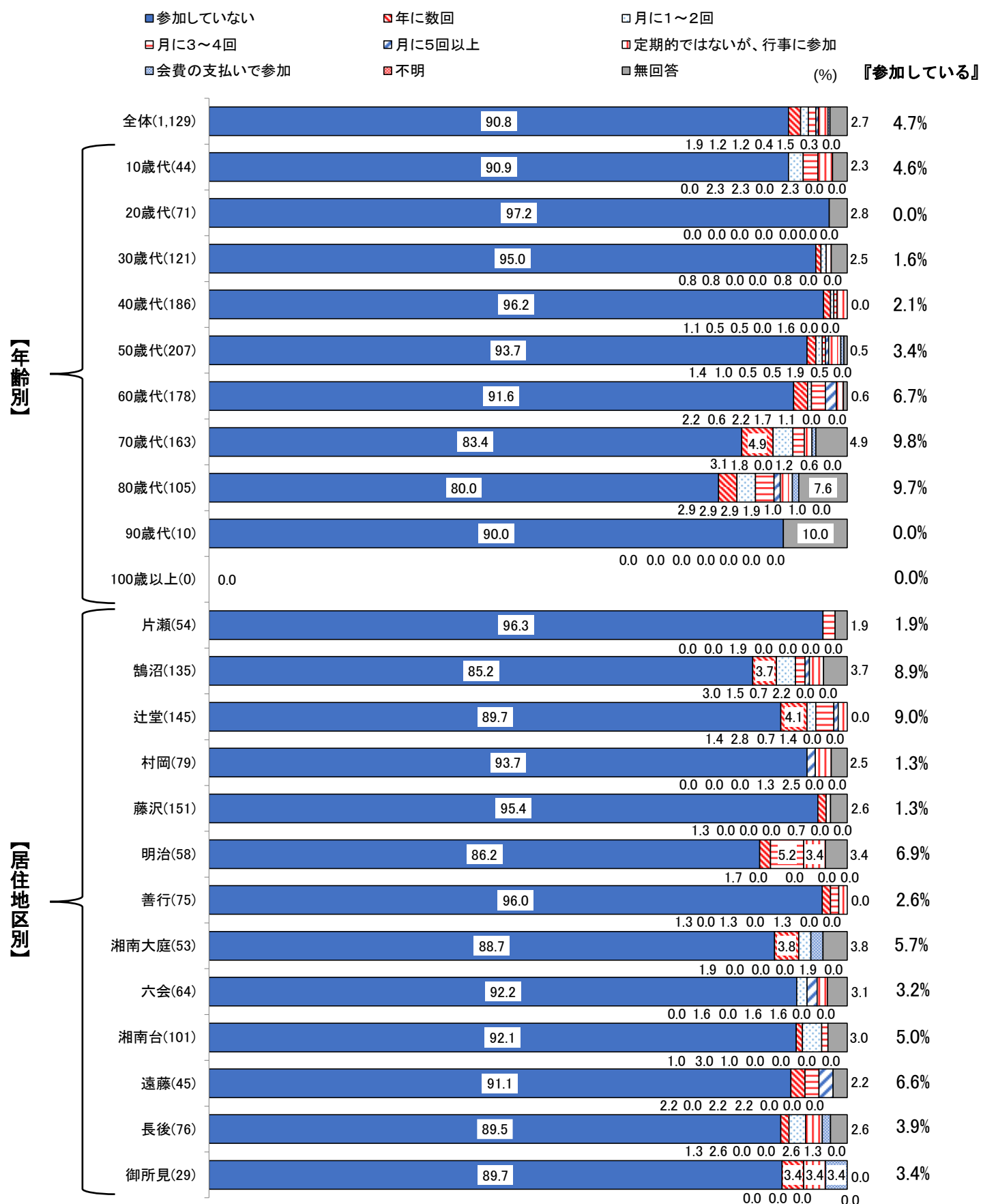
【図表8：年齢別・居住地区別／参加の頻度②】地域団体



『参加している』割合を年齢別にみると、90歳代が20.0%と高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代が95.8%と非常に高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、辻堂(11.1%)が高い一方、「参加していない」割合は、遠藤(91.1%)、六会(90.6%)、片瀬(88.9%)などで高くなっている。

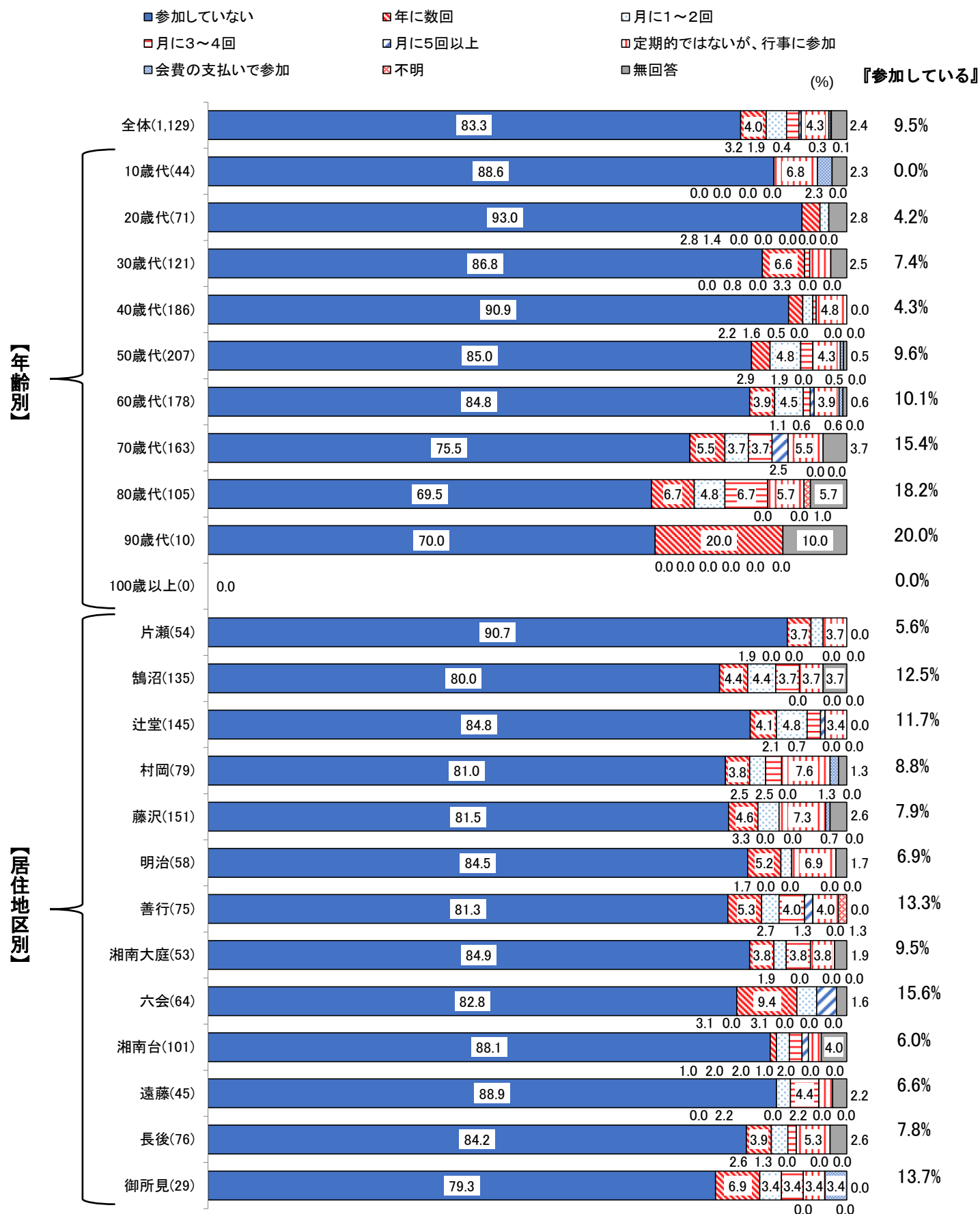
【図表9：年齢別・居住地区別／参加の頻度③】 市民活動団体（NPO含む）



『参加している』割合を年齢別にみると、70歳代（9.8%）や80歳代（9.7%）で高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代（97.2%）、40歳代（96.2%）で高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、辻堂（9.0%）、鶴沼（8.9%）などで高くなっている。

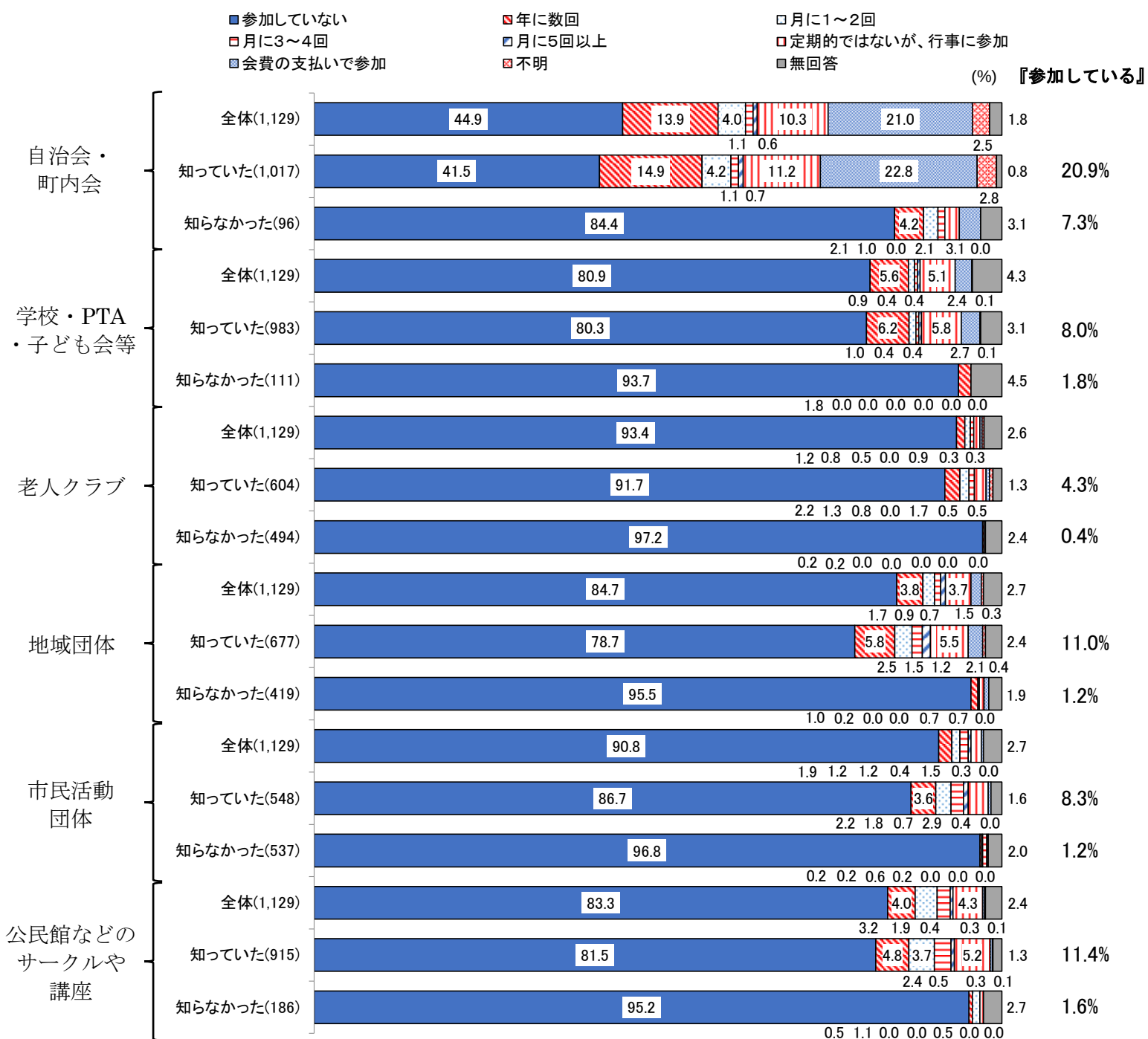
【図表10：年齢別・居住地区別／参加の頻度④】公民館などのサークルや講座



『参加している』割合を年齢別にみると、90歳代（20.0%）で高くなっている一方、「参加していない」割合は、20歳代（93.0%）や40歳代（90.9%）で高くなっている。

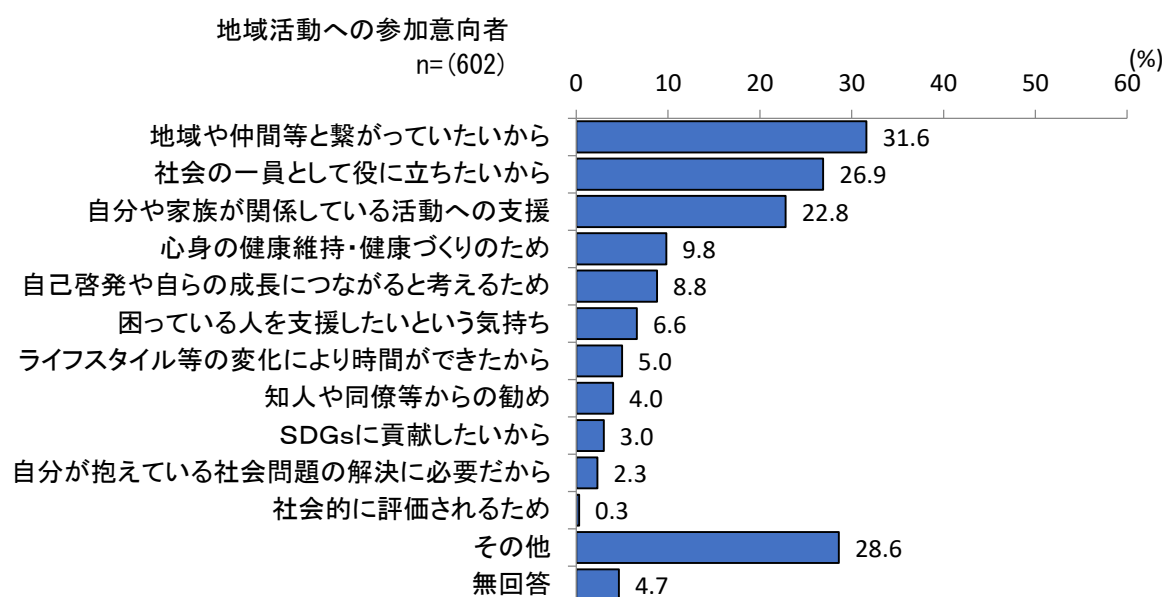
居住地区別に『参加している』割合をみると、六会（15.6%）や御所見（13.7%）などで高い一方、「参加していない」割合は、片瀬（90.7%）や遠藤（88.9%）、湘南台（88.1%）などで高くなっている。

【図表 1 1 : 地域活動の周知状況別／参加の頻度】



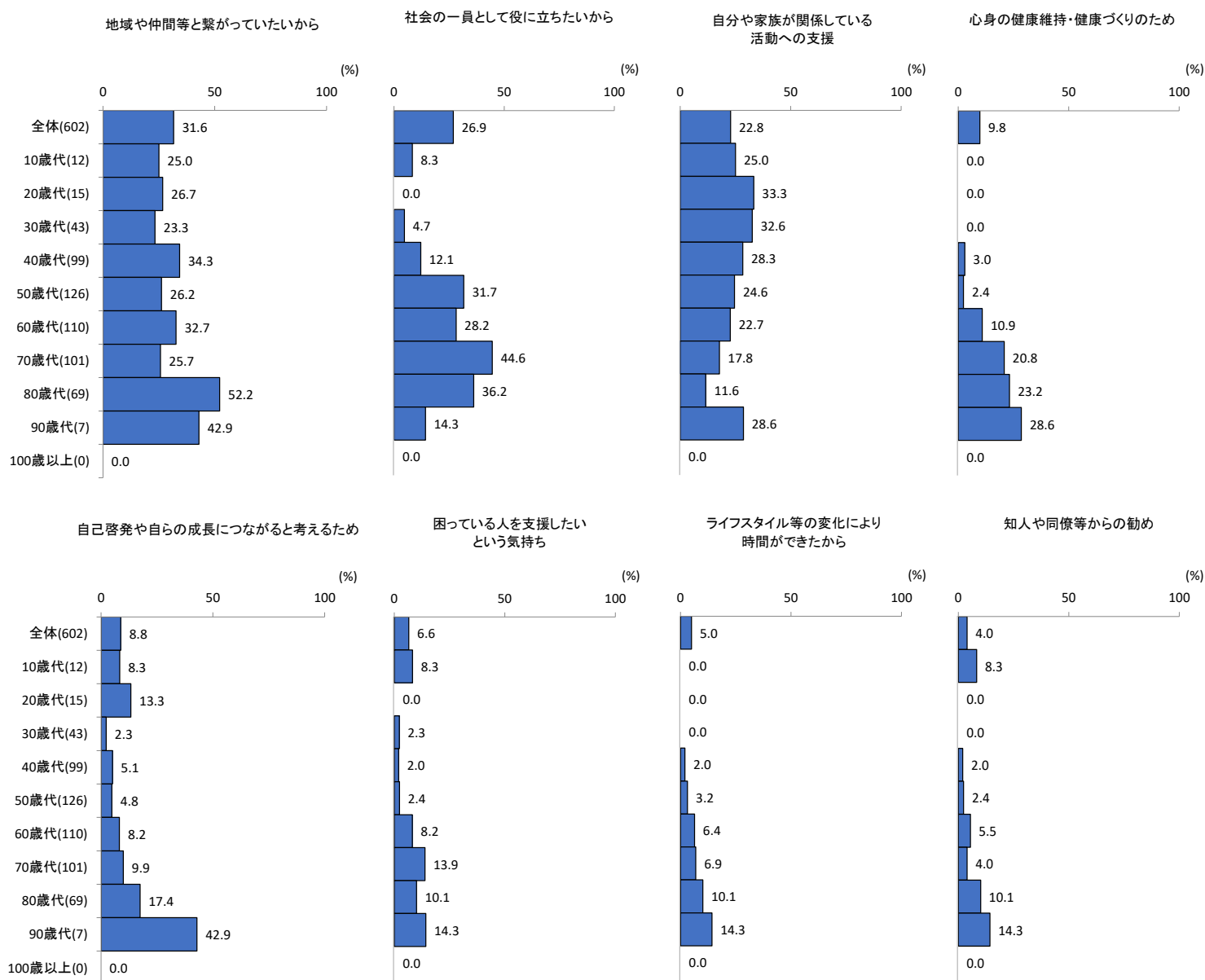
地域活動の周知状況別でみると、「自治会・町内会」を「知っていた」で『参加している』割合は 20.9%、「学校・PTA・子ども会等」を「知っていた」で『参加している』割合は 8.0%、「老人クラブ」を「知っていた」で『参加している』割合は 4.3%、「地域団体」を「知っていた」で『参加している』割合は 11.0%、「市民活動団体（NPOを含む）」を「知っていた」で『参加している』割合は 8.3%、「公民館などのサークルや講座」を「知っていた」で『参加している』割合は 11.4%となっている。

【図表12：地域活動の参加の理由①】自治会・町内会

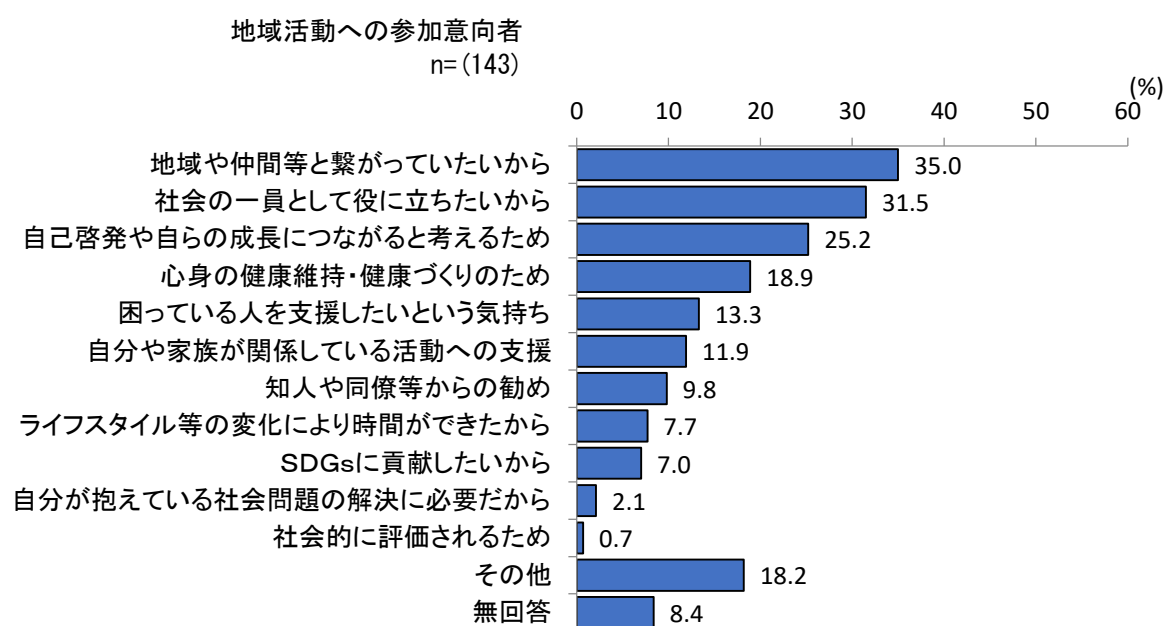


自治会・町内会への参加理由については、「地域や仲間等と繋がっていたいから」が 31.6%と最も高く、次いで、「社会の一員として役に立ちたいから」（26.9%）、「自分や家族が関係している活動への支援」（22.8%）の順となっている。

【図表13：年齢別／参加の理由①】自治会・町内会 上位8項目

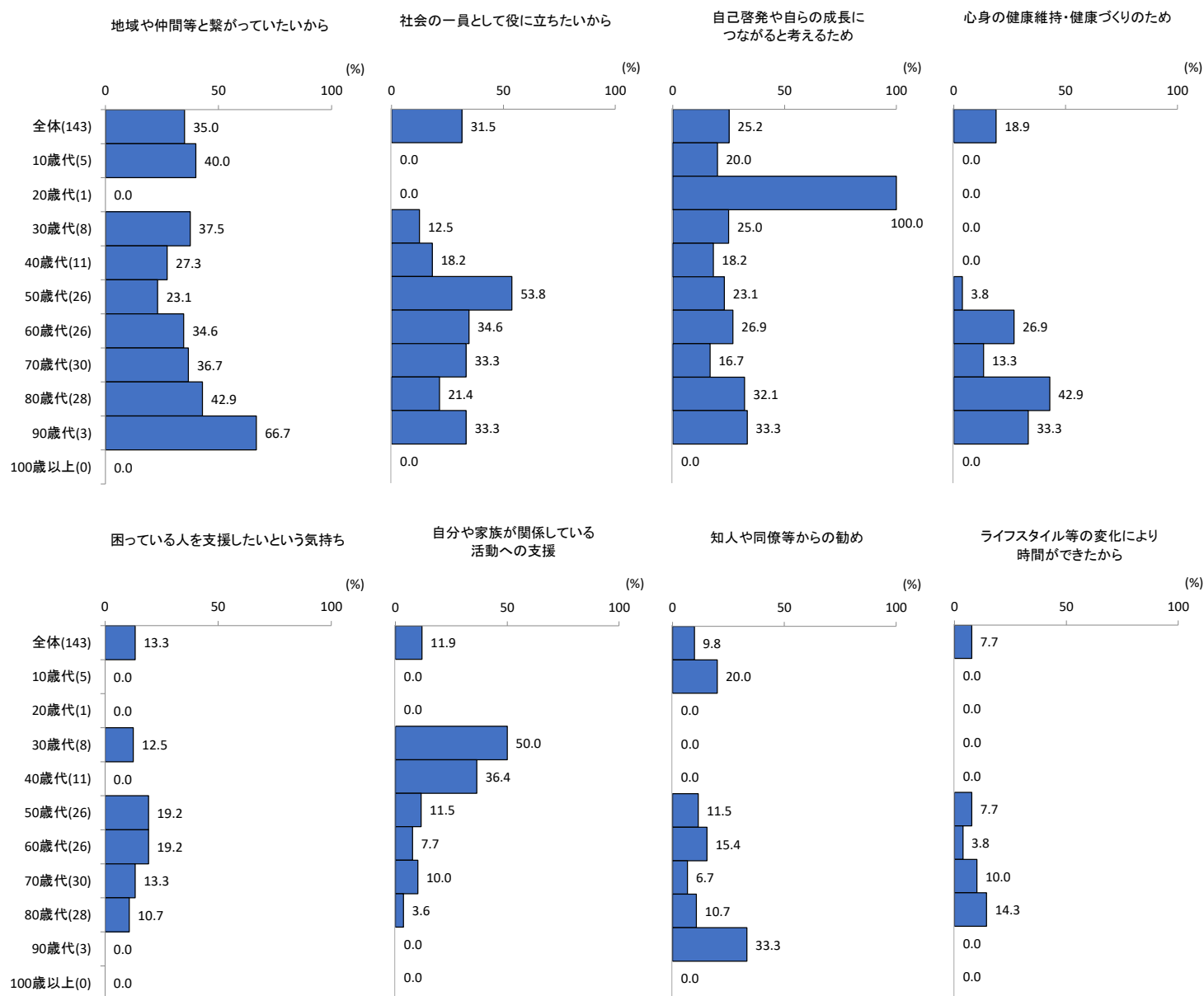


「地域や仲間等と繋がっていたいから」を年齢別でみると、80 歳代が 52.2%と最も高くなっている。  
「社会の一員として役に立ちたいから」は、70 歳代（44.6%）や 80 歳代（36.2%）が他の年代に比べて割合が高くなっている。

【図表14：地域活動の参加の理由②】**地域団体**

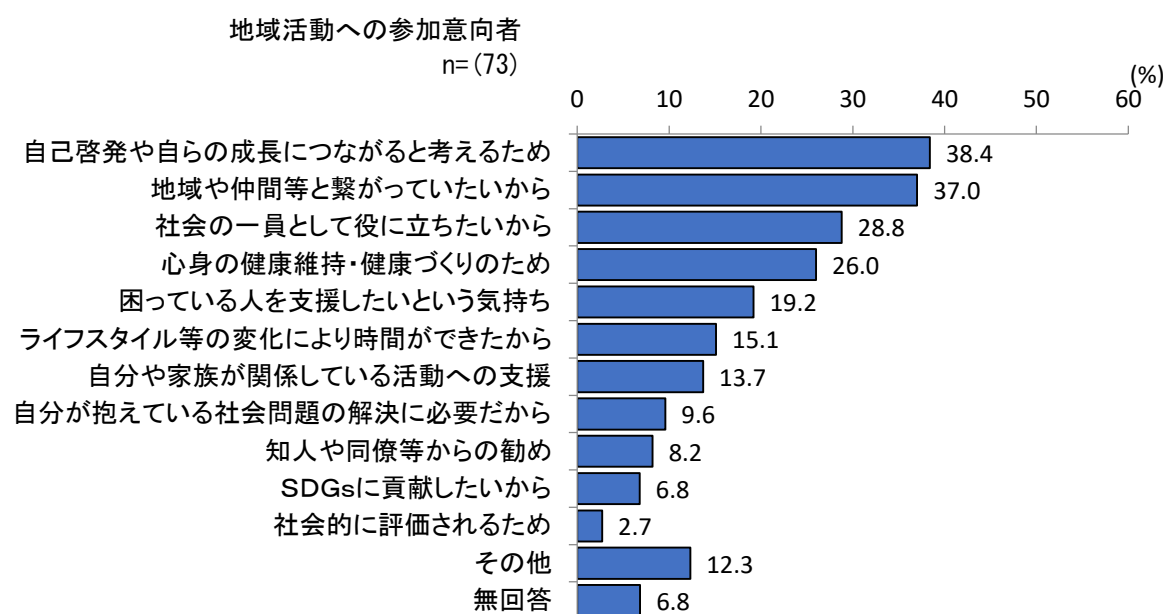
地域団体への参加理由については、「地域や仲間等と繋がっていたいから」が 35.0%と最も高く、次いで、「社会の一員として役に立ちたいから」(31.5%)、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(25.2%)の順となっている。

【図表15：年齢別／参加の理由②】**地域団体** 上位8項目



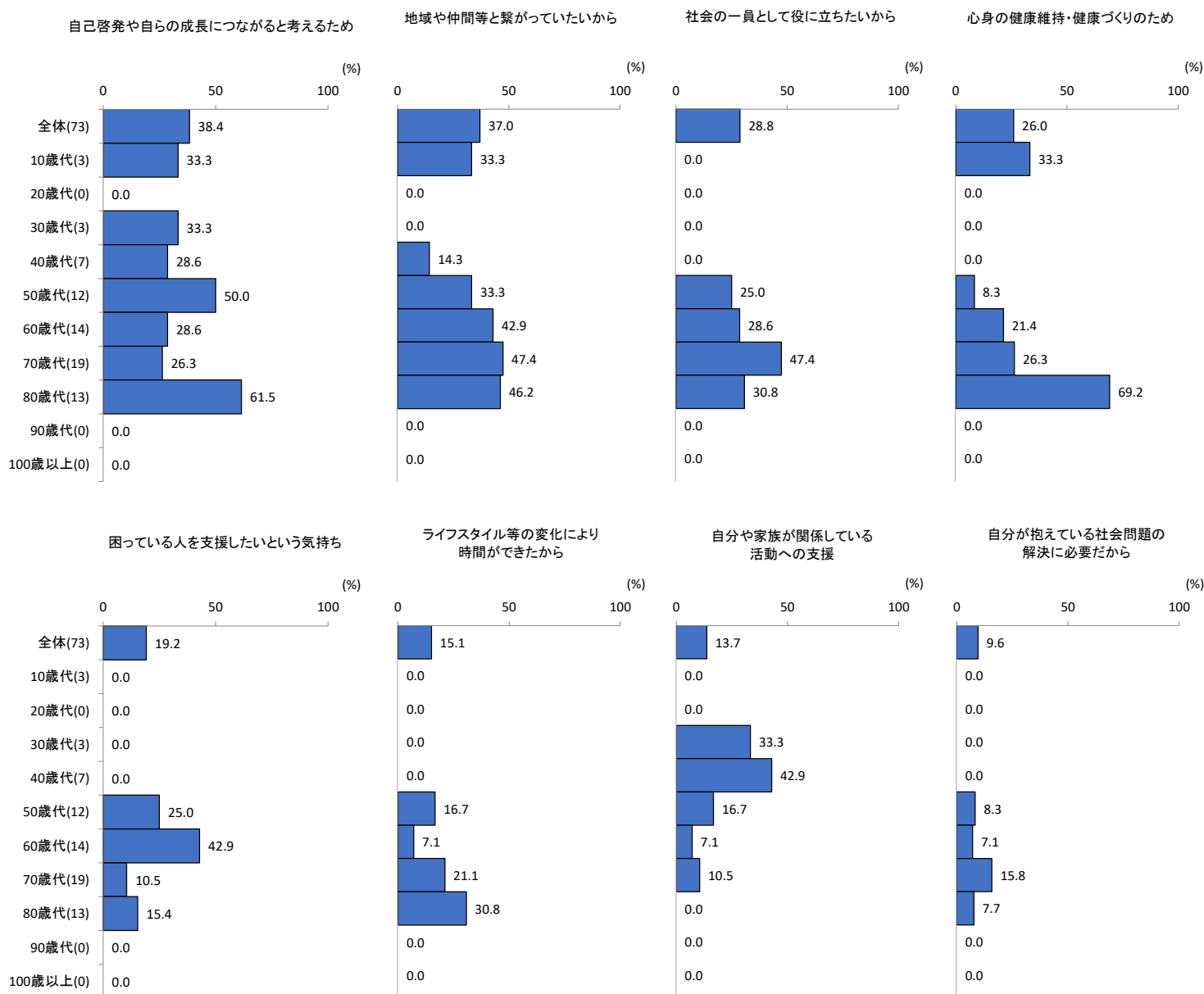
年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

【図表16：地域活動の参加の理由③】 市民活動団体（NPOを含む）



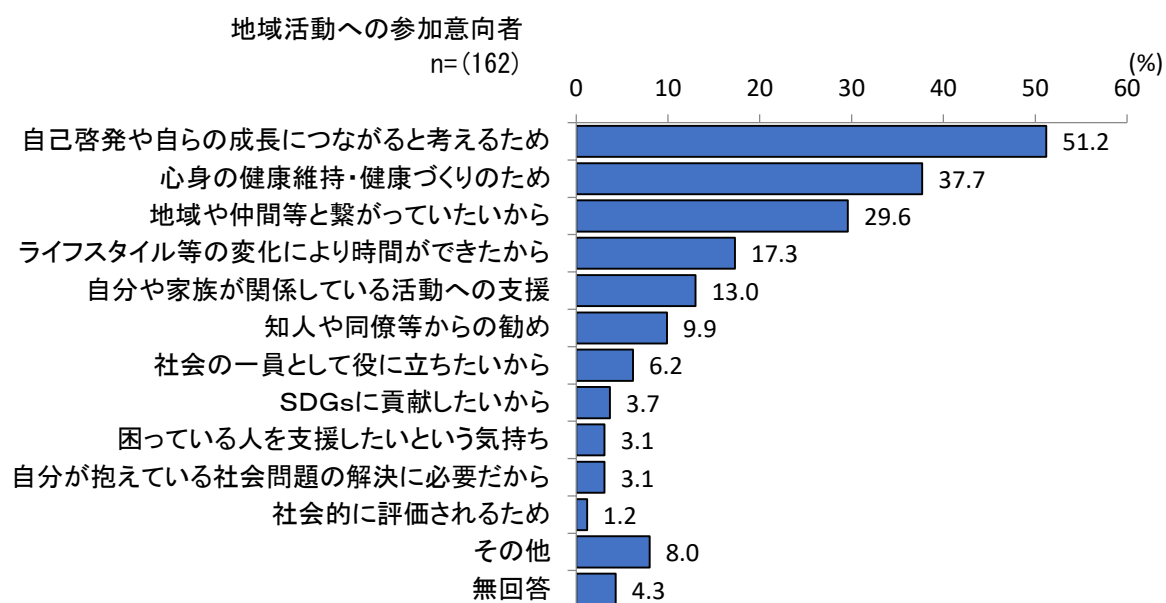
市民活動団体（NPOを含む）への参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が 38.4%と最も高く、次いで、「地域や仲間等と繋がっていたいから」（37.0%）、「社会の一員として役に立ちたいから」（28.8%）の順となっている。

【図表17：年齢別／参加の理由③】市民活動団体（NPOを含む） 上位8項目



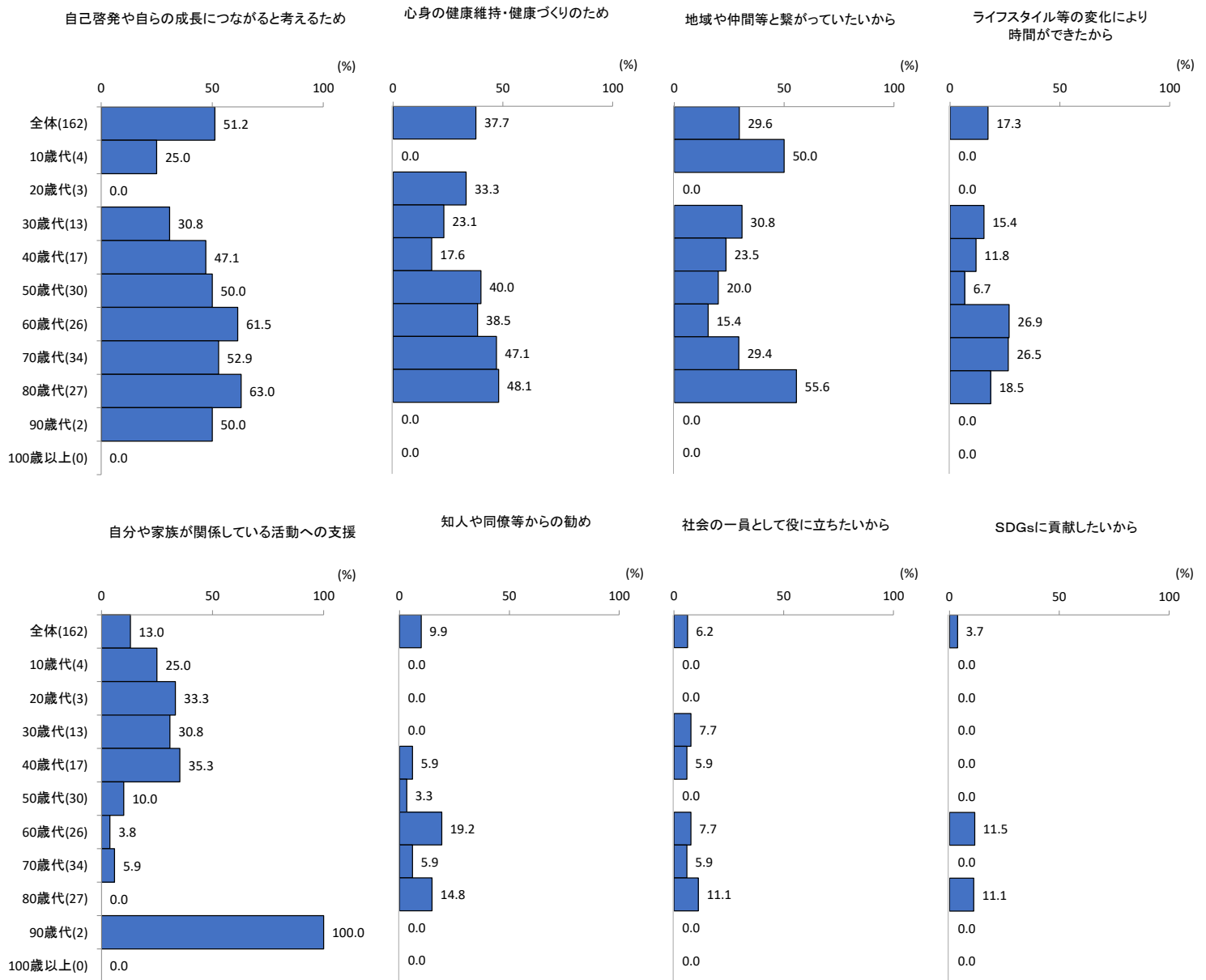
年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

【図表18：地域活動の参加の理由④】 公民館などのサークルや講座



公民館などのサークルや講座への参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が 51.2%と最も高く、次いで、「心身の健康維持・健康づくりのため」（37.7%）、「地域や仲間等と繋がっていたいから」（29.6%）の順となっている。

【図表19：地域活動の参加の理由④】 **公民館などのサークルや講座** 上位8項目



年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

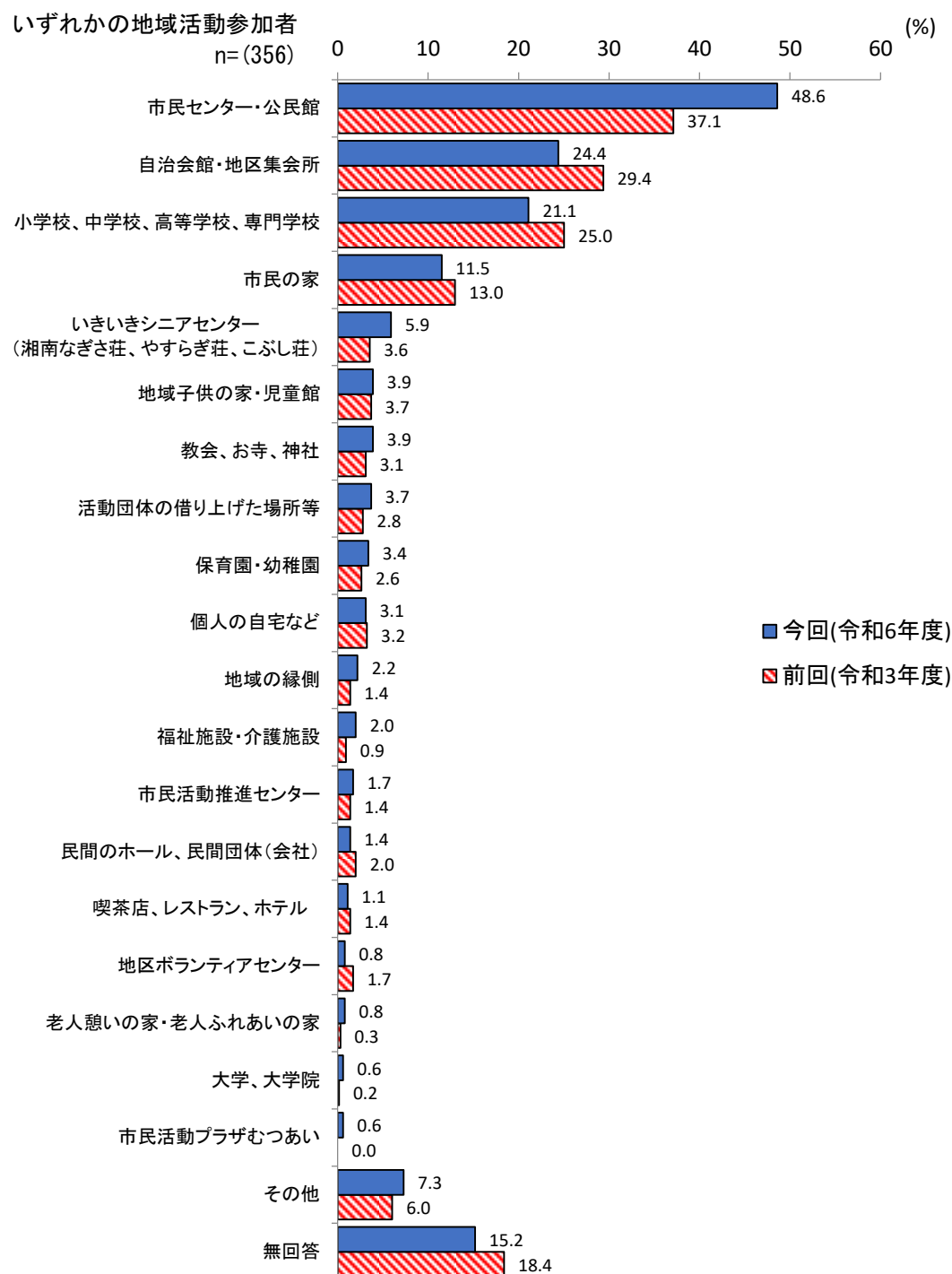
## (3) 地域活動を行う場として利用している施設

【問1-2、「①参加の頻度」で2～5に○を一つでもつけた方にお聞きします】

問1-3 あなたが地域活動を行う場として利用している施設（場所）はどこですか。

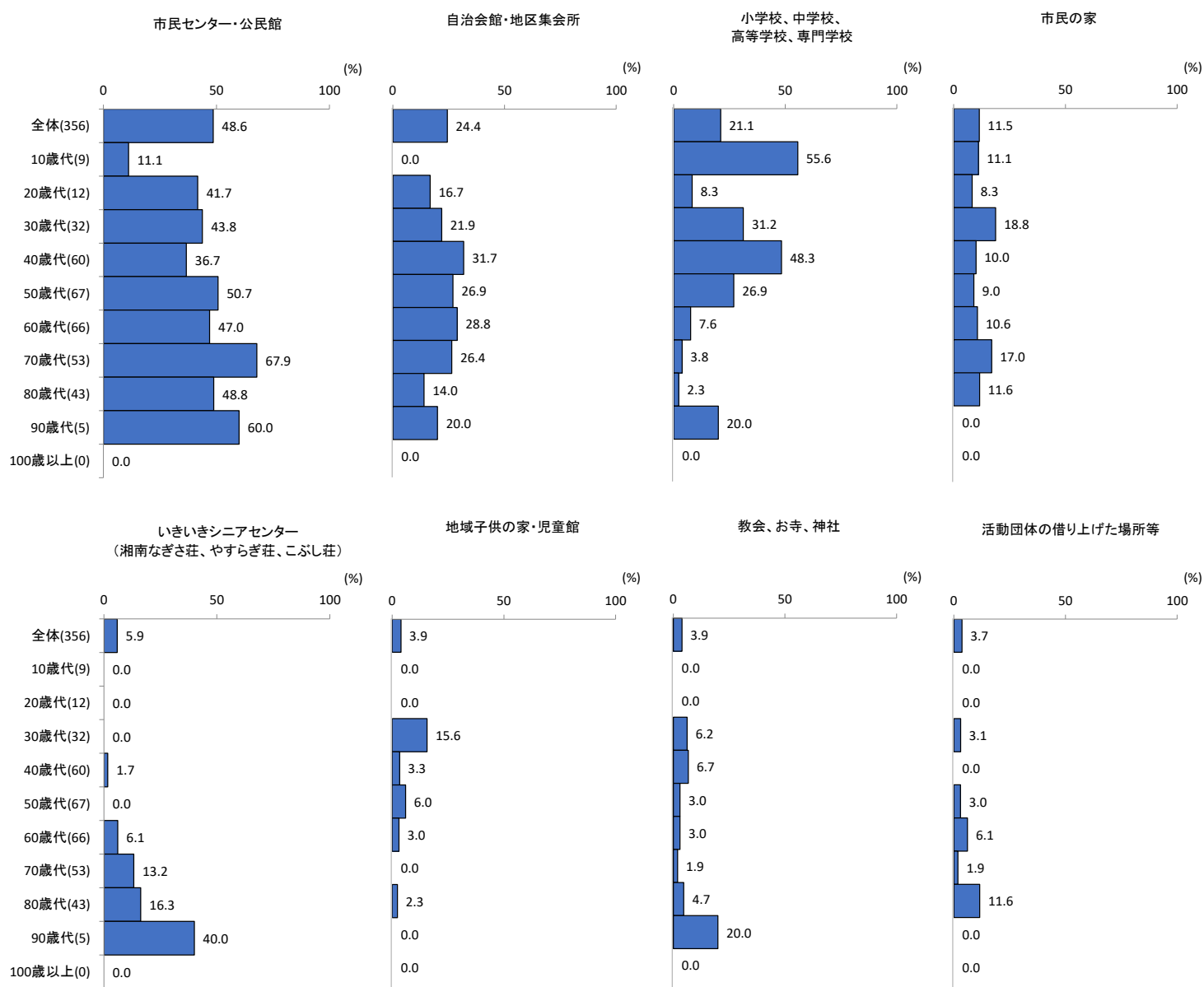
(あてはまるものすべてに○)

【図表20：地域活動を行う場として利用している施設】



地域活動を行う場としては、「市民センター・公民館」を利用している割合が 48.6%と最も高く、次いで「自治会館・地区集会所」(24.4%)、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」(21.1%)、「市民の家」(11.5%)の順となっている。また、上位4項目は前回調査と変動は無いが、「市民センター・公民館」以外は数値としては減少傾向にある。

【図表21：年齢別／地域活動を行う場として利用している施設】上位8項目



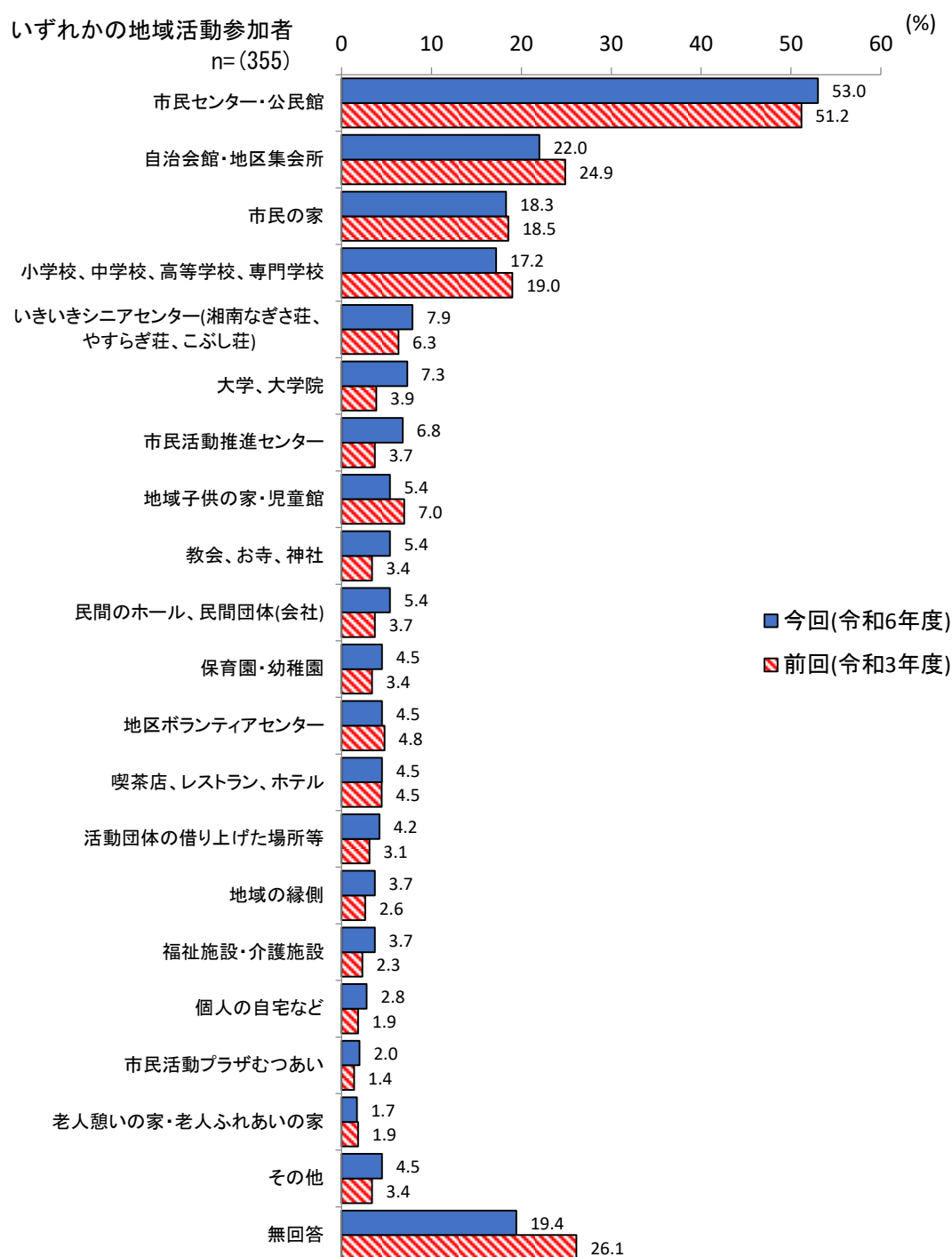
「市民センター・公民館」の利用割合を年齢別でみると、70 歳代（67.9%）や 90 歳代（60.0%）が高い。「自治会館・地区集会所」は、40 歳代（31.7%）や 60 歳代（28.8%）の割合が高く、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」は、10 歳代の利用割合が 55.6%と高くなっている。

## (4) 地域活動を行う場として今後利用したい施設

【問1-2、「①参加の頻度」で2～5に一つでも○をつけた方にお聞きします】

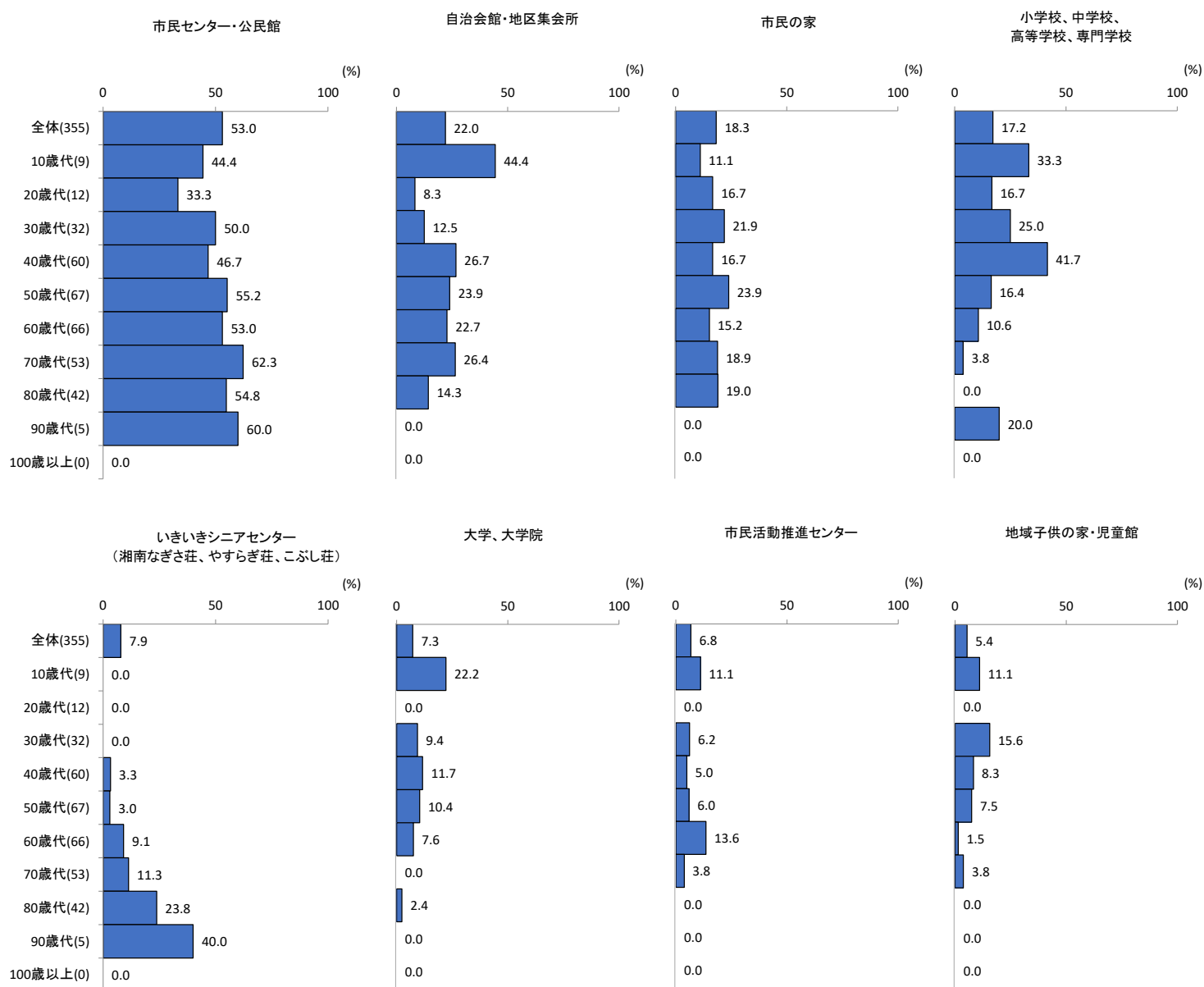
問1-4 あなたが地域活動を行う場として今後利用したい施設（場所）はどこですか。  
（あてはまるものすべてに○）

【図表2-2：地域活動を行う場として今後利用したい施設】



地域活動を行う場として今後利用したい施設については、「市民センター・公民館」が 53.0%と最も高く、次いで「自治会館・地区集会所」（22.0%）、「市民の家」（18.3%）、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」（17.2%）の順となっている。

【図表23：年齢別／地域活動を行う場として今後利用したい施設】上位8項目

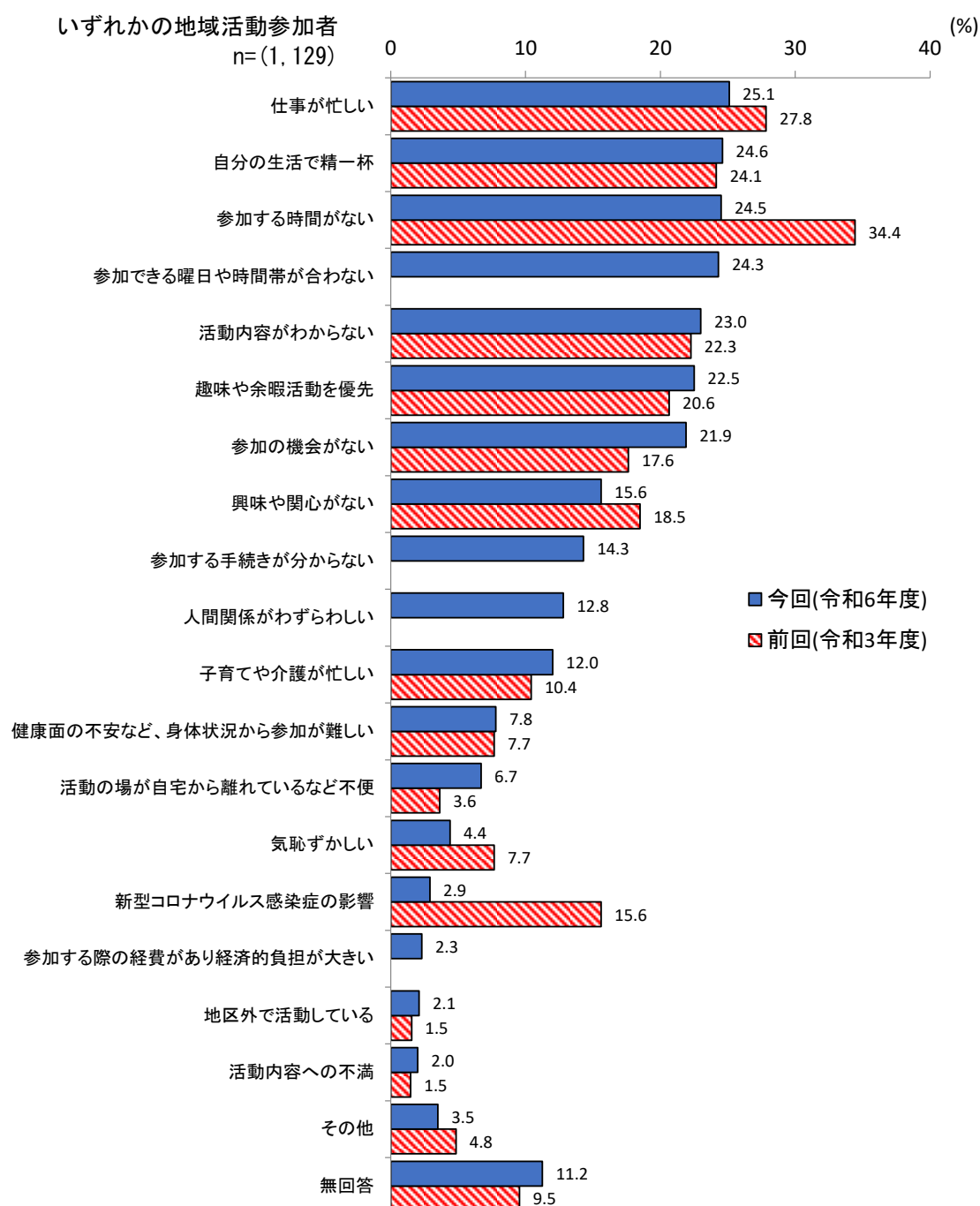


「市民センター・公民館」を年齢別でみると、70 歳代（62.3%）が最も高い。「自治会館・地区集会所」は、10 歳代（44.4%）の割合が最も高く、「市民の家」は、50 歳代（23.9%）が高くなっている。

## (5) 地域活動に参加することに妨げとなること

問1-5 地域活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

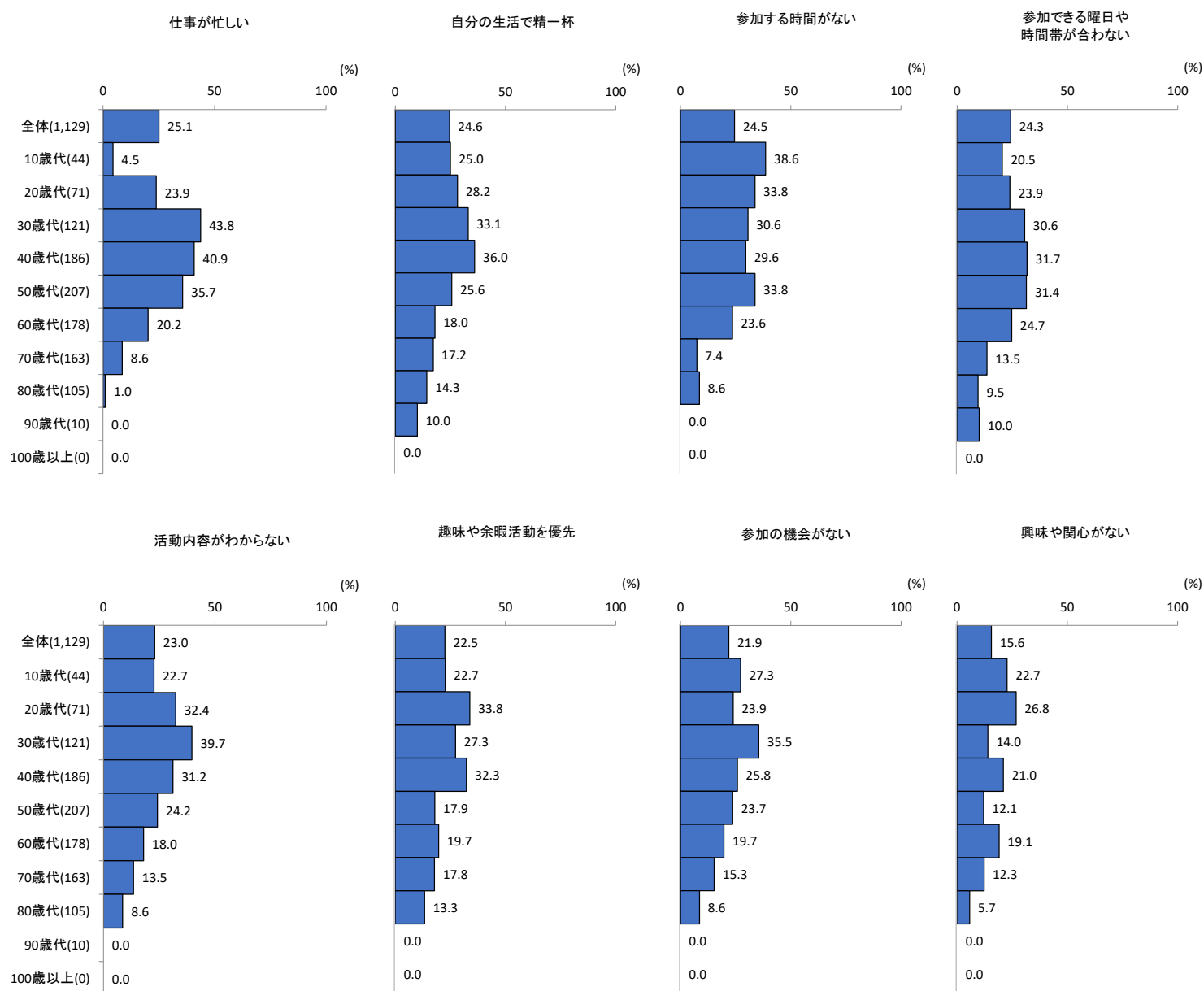
【図表2-4：地域活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】



※「参加できる曜日や時間帯が合わない」「参加する手続きが分からない」「人間関係がわずらわしい」「参加する際の経費があり経済的負担が大きい」は今回より新設。

地域活動に参加することに妨げとなることについては、「仕事が忙しい」が25.1%と最も高く、次いで「自分の生活で精一杯」(24.6%)、「参加する時間がない」(24.5%)、「参加できる曜日や時間帯が合わない」(24.3%)、「活動内容がわからない」(23.0%)の順となっている。

【図表25：年齢別／地域活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】上位8項目



「仕事が忙しい」では30歳代が43.8%と最も高く、次いで40歳代が40.9%となっている。「自分の生活で精一杯」は、40歳代が36.0%で最も高く、次いで30歳代が33.1%となっている。

【図表26：参加頻度「参加していない」別／地域活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】上位5項目

| 参加頻度<br>「参加していない」          | 第1位                 | 第2位                                 | 第3位                | 第4位                                 | 第5位                       |
|----------------------------|---------------------|-------------------------------------|--------------------|-------------------------------------|---------------------------|
| 自治会・町内会<br>(n=507)         | 活動内容がわからない<br>27.6% | 参加の機会がない<br>26.6%                   | 自分の生活で精一杯<br>26.4% | 仕事が忙しい<br>26.2%                     | 趣味や余暇活動を優先<br>25.4%       |
| 学校・PTA・子ども会等<br>(n=913)    | 自分の生活で精一杯<br>24.9%  | * 趣味や余暇活動を優先<br>* 仕事が忙しい<br>24.3%   |                    | 参加する時間がない<br>23.9%                  | 活動内容がわからない<br>23.8%       |
| 老人クラブ<br>(n=1055)          | 仕事が忙しい<br>26.2%     | * 参加する時間がない<br>* 自分の生活で精一杯<br>25.9% |                    | 参加できる曜日や時間帯が合わない<br>24.7%           | 活動内容がわからない<br>24.1%       |
| 地域団体<br>(n=956)            | 自分の生活で精一杯<br>26.8%  | 仕事が忙しい<br>26.7%                     | 参加する時間がない<br>26.6% | 活動内容がわからない<br>24.9%                 | 趣味や余暇活動を優先<br>24.8%       |
| 市民活動団体（NPOを含む）<br>(n=1025) | 仕事が忙しい<br>27.0%     | 自分の生活で精一杯<br>26.2%                  | 参加する時間がない<br>25.8% | 活動内容がわからない<br>24.6%                 | 参加できる曜日や時間帯が合わない<br>24.0% |
| 公民館などのサークルや講座<br>(n=941)   | 自分の生活で精一杯<br>27.4%  | 仕事が忙しい<br>27.3%                     | 参加する時間がない<br>26.8% | * 活動内容がわからない<br>* 参加の機会がない<br>24.2% |                           |

※同率の項目には「\*」印をつけています

参加頻度「参加していない」別でみると、割合が最も高くなったのは、「自治会・町内会」は「活動内容がわからない」（27.6%）、「学校・PTA・子ども会等」は「自分の生活で精一杯」（24.9%）、「老人クラブ」は「仕事が忙しい」（26.2%）、「地域団体」は「自分の生活で精一杯」（26.8%）、「市民活動団体（NPOを含む）」は「仕事が忙しい」（27.0%）、「公民館などのサークルや講座」は「自分の生活で精一杯」（27.4%）となっている。

【図表27：参加頻度「自治会・町内会に参加していない」年齢別／  
地域活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】上位5項目

|                | 第1位                                 | 第2位                                                     | 第3位                                                     | 第4位                                  | 第5位                                    |
|----------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|
| 10歳代<br>(n=32) | 参加する時間がない<br>34.4%                  | 興味や関心がない<br>31.3%                                       | * 参加する手続きが分からない<br>* 趣味や余暇活動を優先<br>* 自分の生活で精一杯<br>28.1% |                                      |                                        |
| 20歳代<br>(n=54) | 活動内容がわからない<br>37.0%                 | * 趣味や余暇活動を優先<br>* 参加する時間がない<br>35.2%                    |                                                         | 興味や関心がない<br>29.6%                    | * 参加する手続きが分からない<br>* 参加の機会がない<br>27.8% |
| 30歳代<br>(n=75) | 仕事が忙しい<br>42.7%                     | 参加の機会がない<br>40.0%                                       | 活動内容がわからない<br>36.0%                                     | 自分の生活で精一杯<br>34.7%                   | * 趣味や余暇活動を優先<br>* 参加する時間がない<br>30.7%   |
| 40歳代<br>(n=87) | 仕事が忙しい<br>47.1%                     | 自分の生活で精一杯<br>36.8%                                      | 活動内容がわからない<br>34.5%                                     | 趣味や余暇活動を優先<br>29.9%                  | 参加の機会がない<br>28.7%                      |
| 50歳代<br>(n=79) | 仕事が忙しい<br>32.9%                     | 参加する時間がない<br>29.1%                                      | 参加の機会がない<br>27.8%                                       | * 活動内容がわからない<br>* 自分の生活で精一杯<br>25.3% |                                        |
| 60歳代<br>(n=68) | * 活動内容がわからない<br>* 興味や関心がない<br>25.0% |                                                         | * 趣味や余暇活動を優先<br>* 参加の機会がない<br>22.1%                     |                                      | * 参加する時間がない<br>* 仕事が忙しい<br>20.6%       |
| 70歳代<br>(n=57) | 趣味や余暇活動を優先<br>21.1%                 | 参加の機会がない<br>19.3%                                       | 自分の生活で精一杯<br>17.5%                                      | 興味や関心がない<br>15.8%                    | 活動内容がわからない<br>14.0%                    |
| 80歳代<br>(n=35) | 健康面の不安など、身体状況から参加が難しい<br>37.1%      | * 参加する手続きが分からない<br>* 趣味や余暇活動を優先<br>* 自分の生活で精一杯<br>11.4% |                                                         |                                      | * 活動内容がわからない<br>* 参加の機会がない<br>8.6%     |

※同率の項目には「\*」印をつけています

※「90歳代」は回答者数が2件のため、表からは省略しています

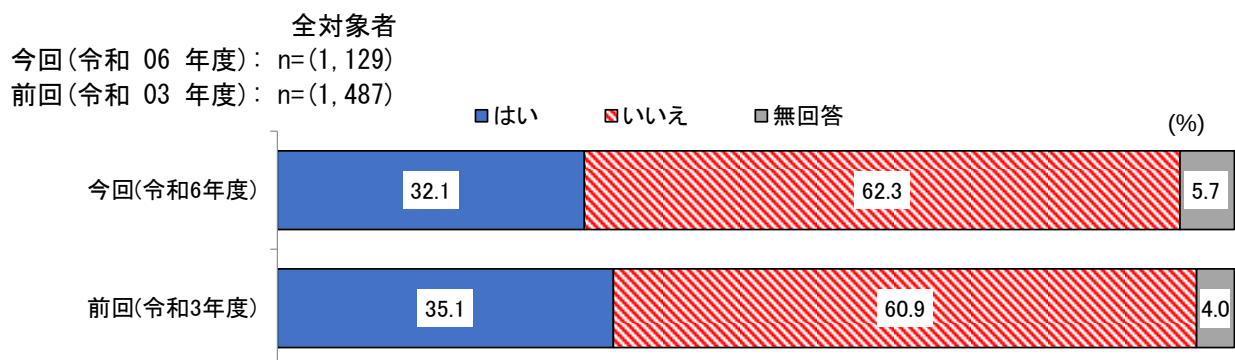
参加頻度「自治会・町内会に参加していない」年齢別でみると、割合が最も高くなったのは、10歳代では「参加する時間がない」、20歳代では「活動内容がわからない」、30～50歳代では「仕事が忙しい」、60歳代では「活動内容がわからない」と「興味や関心がない」、70歳代では「趣味や余暇活動を優先」、80歳代では「健康面の不安など、身体状況から参加が難しい」となっている。

### 3. 市民活動について

#### (1) 市民活動への参加意向

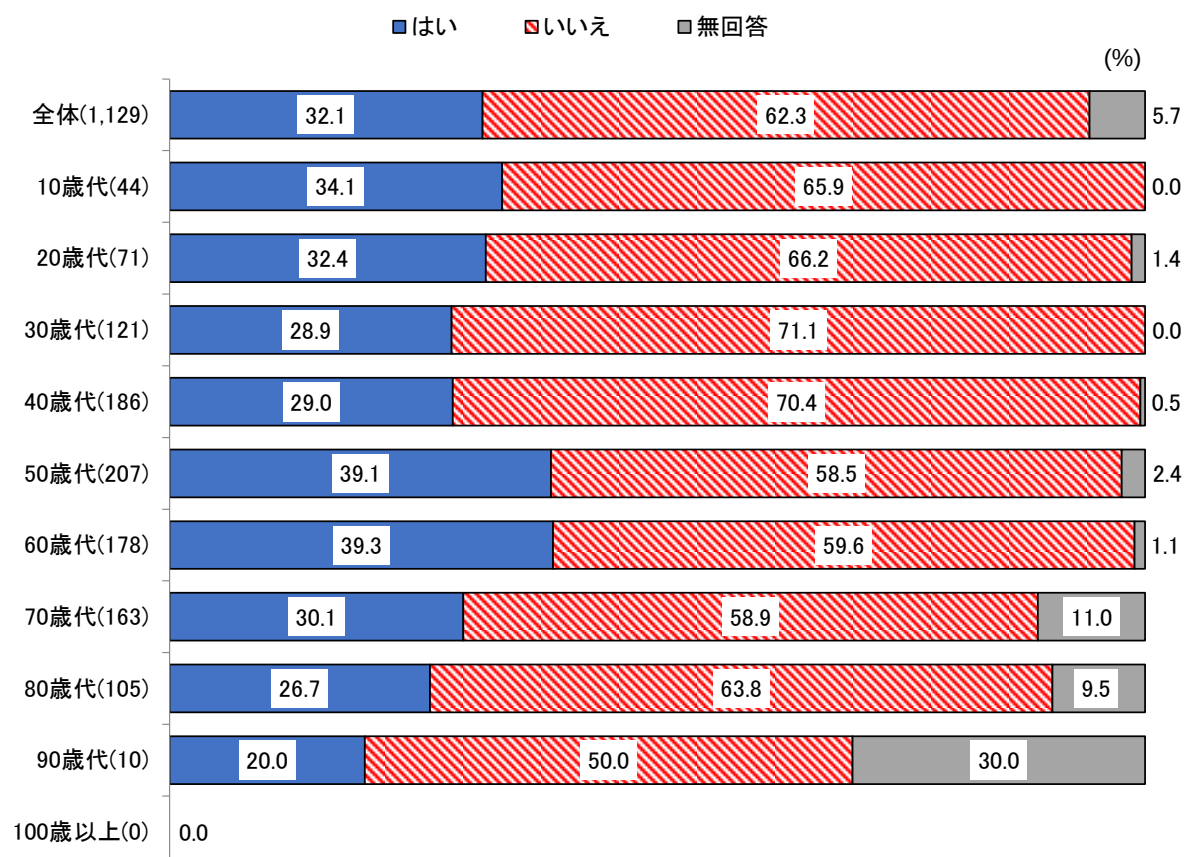
問2-1 今後、市民活動（市民活動団体（NPOを含む）の活動）に参加したいですか。  
（いずれか一つに○）

【図表28：市民活動への参加意向】



市民活動への参加意向については、「はい」が32.1%と、前回調査（令和3年度）の35.1%より低くなっている。

【図表29：年齢別／市民活動への参加意向】



年齢別にみると、60歳代で「はい」の割合が39.3%と最も高く、「いいえ」の割合は30歳代が71.1%で最高値となっている。

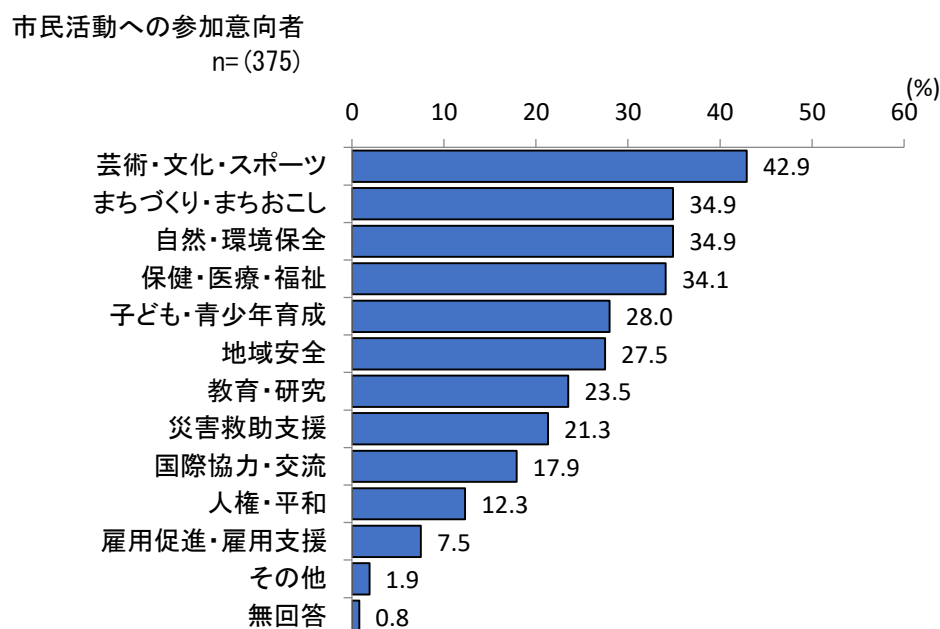
## (2) 参加したい市民活動の分野

【問2-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問2-2 次のうち、参加したい市民活動の分野をお選びください。

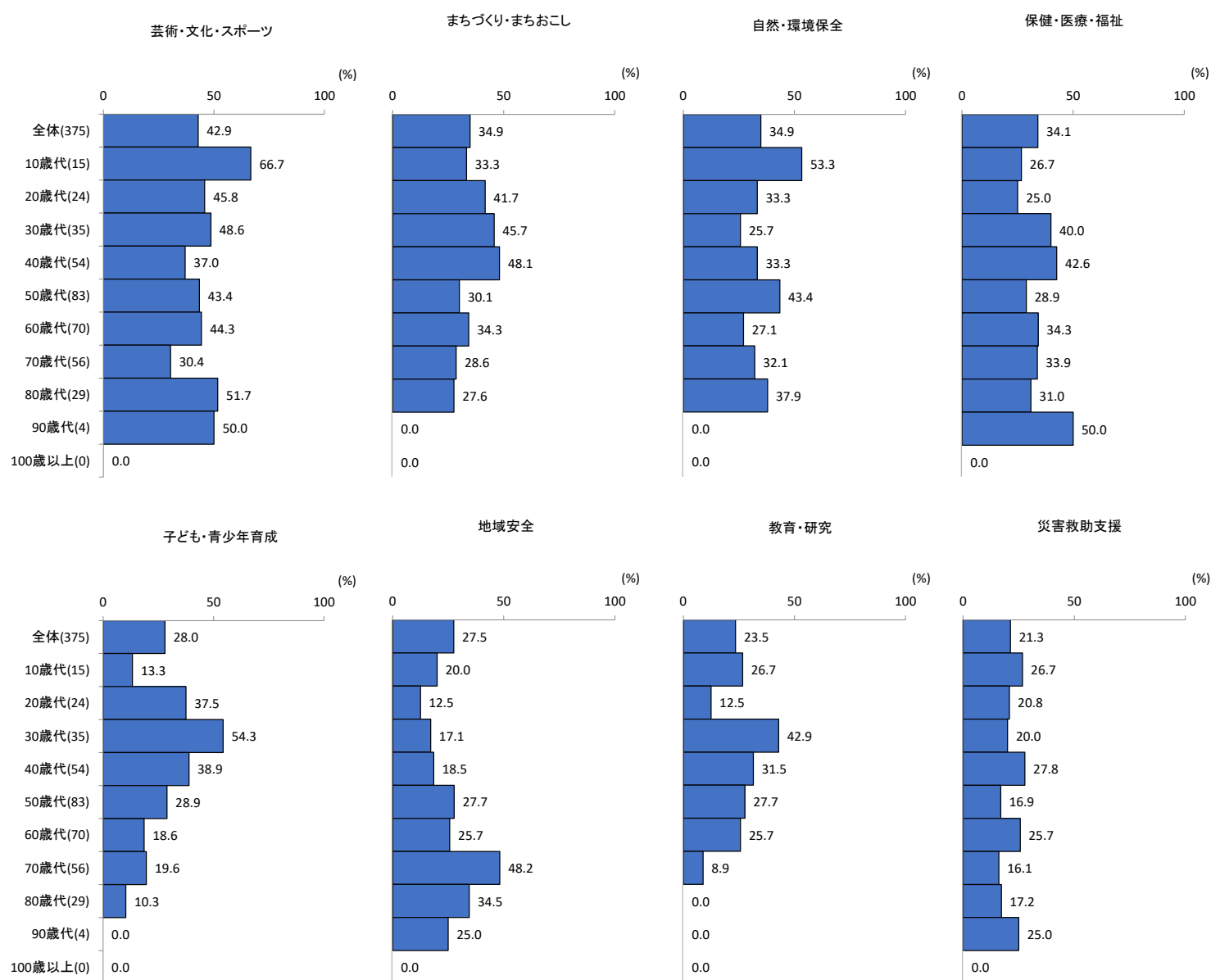
(あてはまるものすべてに○)

【図表30：参加したい市民活動の分野】



参加したい市民活動については、「芸術・文化・スポーツ」が42.9%と最も高く、次いで、「まちづくり・まちおこし」(34.9%)、「自然・環境保全」(34.9%)、「保健・医療・福祉」(34.1%)、「子ども・青少年育成」(28.0%)の順となっている。

【図表31：年齢別／参加したい市民活動の分野】上位8項目



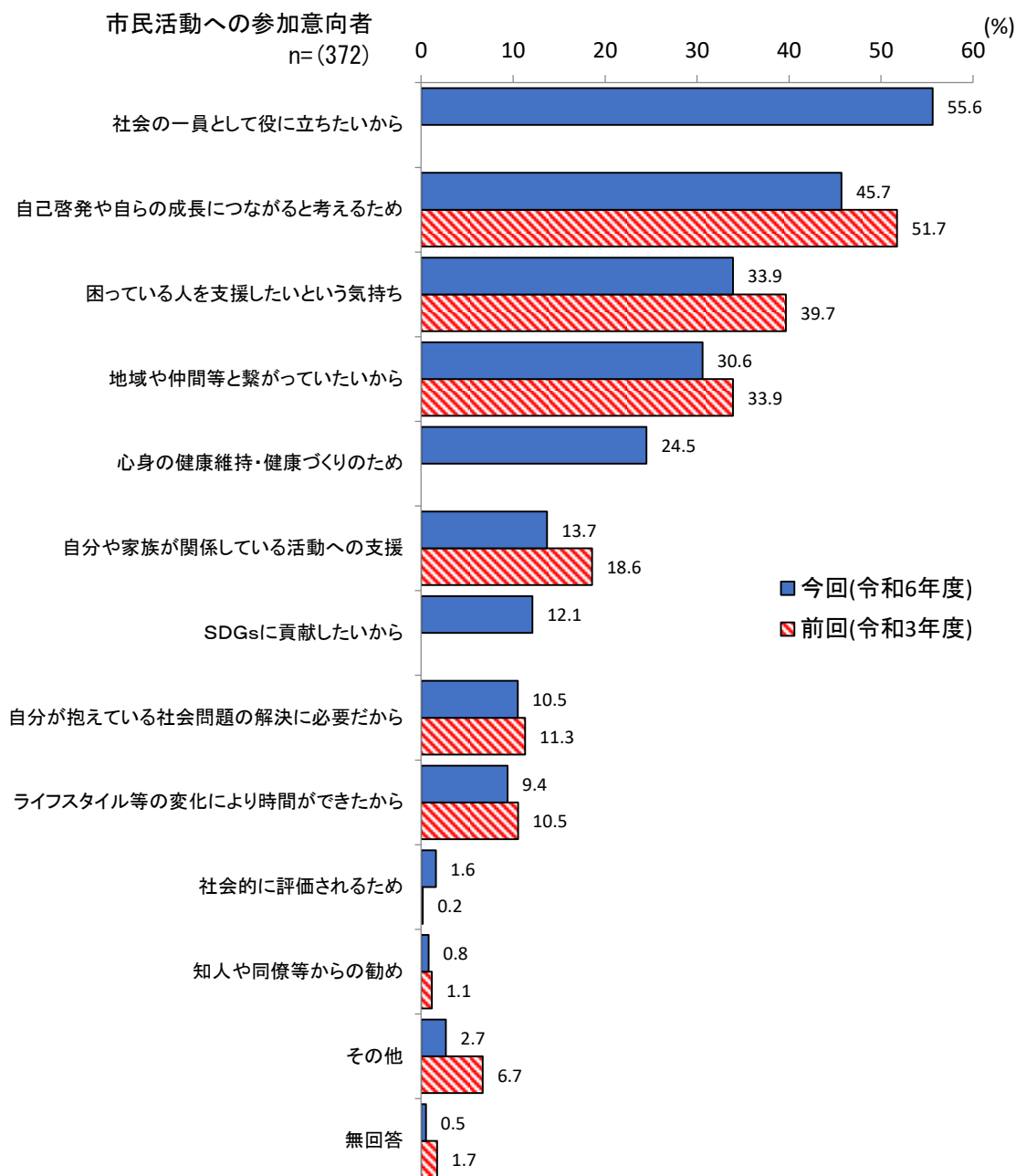
「芸術・文化・スポーツ」を年齢別でみると、10歳代の割合が66.7%と最も高く、次いで80歳代が51.7%となっている。「まちづくり・まちおこし」は、40歳代の割合が48.1%と最も高く、次いで30歳代が45.7%となっている。

### (3) 市民活動に参加したい理由

【問2-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問2-3 市民活動に参加したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

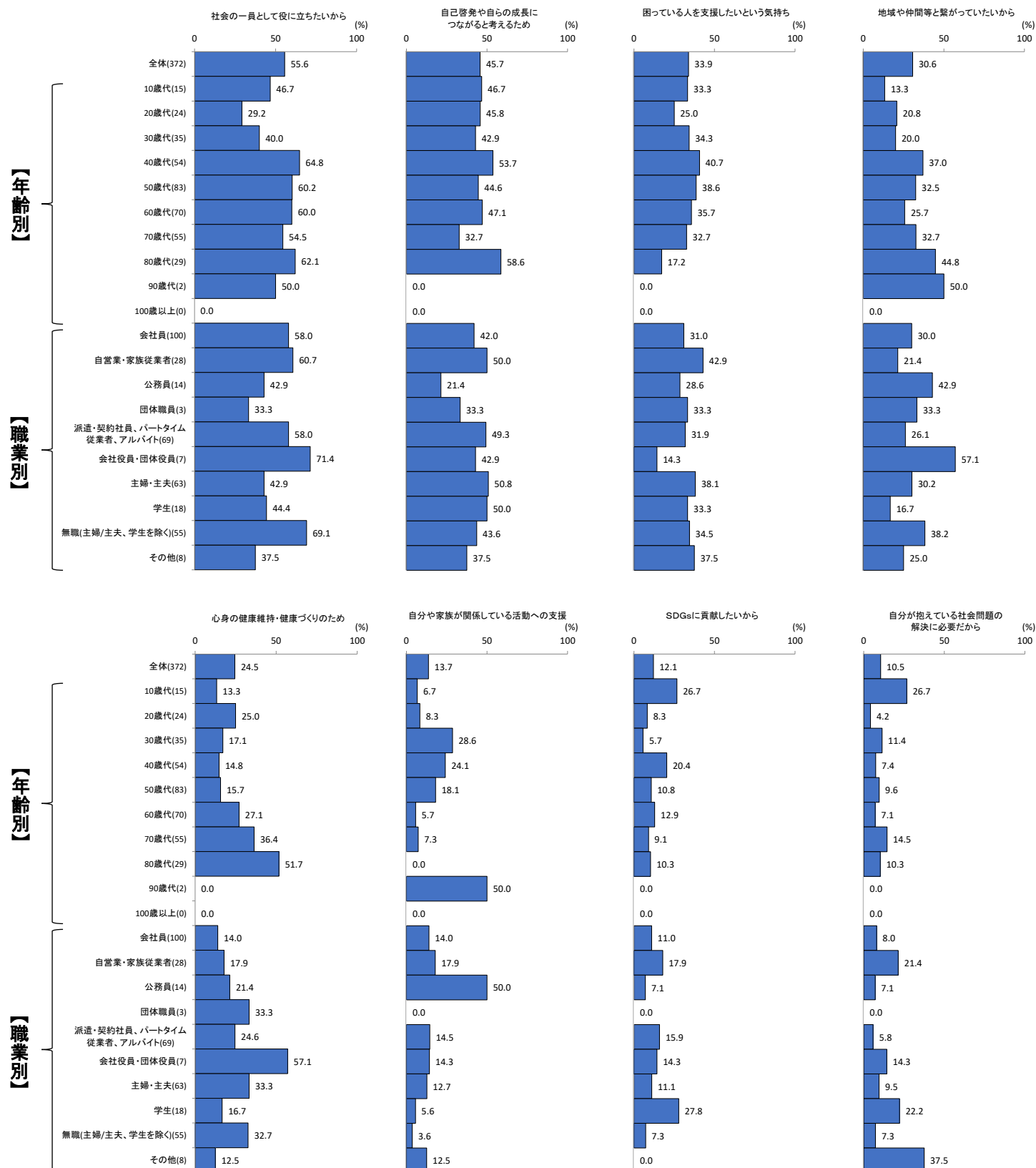
【図表32：市民活動に参加したい理由】



※「社会の一員として役に立ちたいから」「心身の健康維持・健康づくりのため」「SDGsに貢献したいから」は今回より新設。

市民活動に参加したい理由については、「社会の一員として役に立ちたいから」が55.6%と最も高く、次いで、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」（45.7%）、「困っている人を支援したいという気持ち」（33.9%）「地域や仲間等と繋がっていたいから」（30.6%）の順となっている。

【図表33：年齢別・職業別／市民活動に参加したい理由】上位8項目



「社会の一員として役に立ちたいから」を年齢別にみると、40 歳代（64.8%）が最も高く、50 歳代以上も概ね 6 割前後となっている。「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」は、80 歳代（58.6%）が最も高くなっている。

「社会の一員として役に立ちたいから」を職業別に見た場合、会社役員・団体役員（71.4%）が最も高く、次いで、無職(主婦／主夫、学生を除く)が 69.1%となっている。

【図表3-4：市民活動団体への期待の有無別／市民活動に参加したい理由】上位5項目

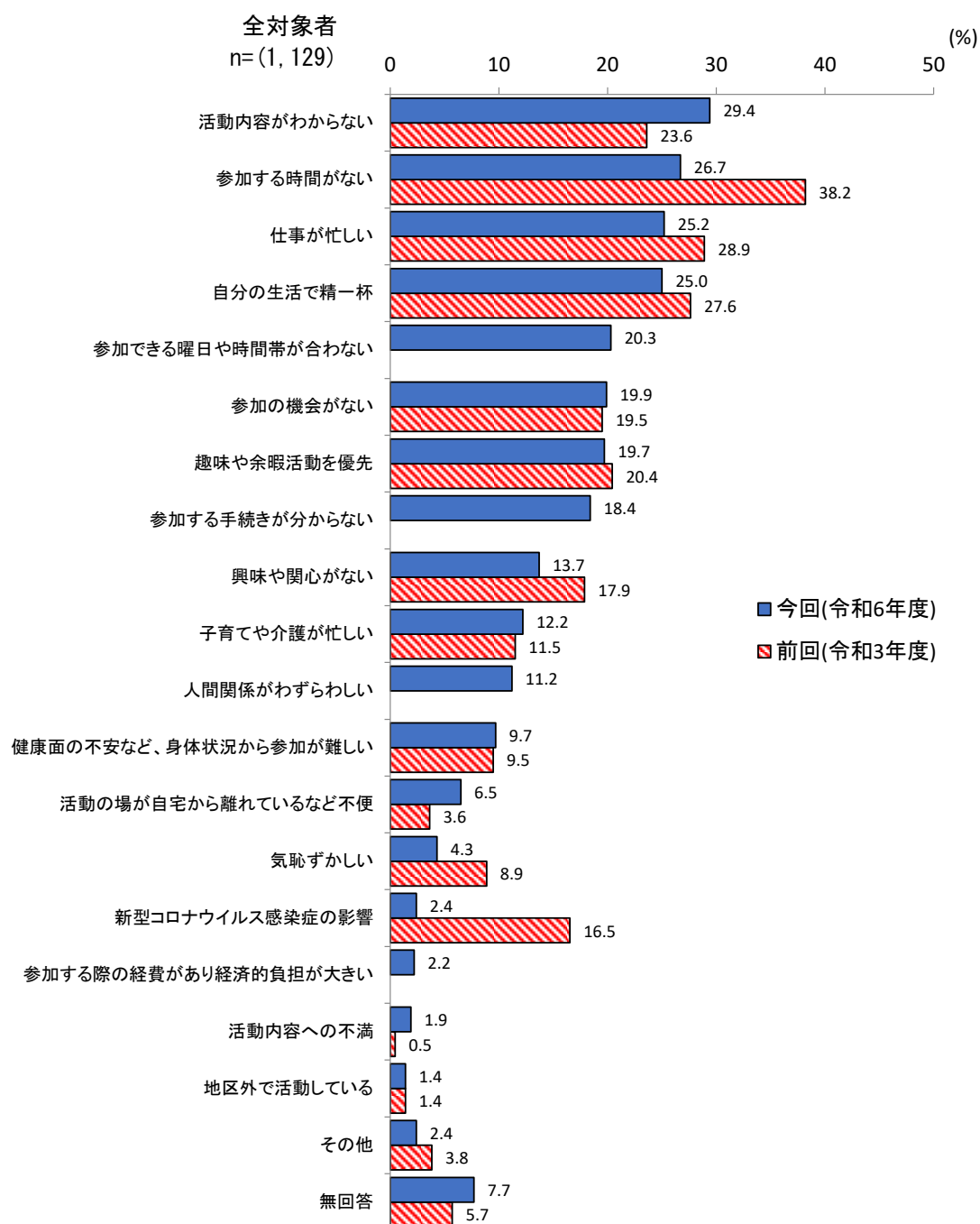
| 市民活動団体への期待の有無  | 第1位                       | 第2位                            | 第3位                         | 第4位                       | 第5位                       |
|----------------|---------------------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| はい<br>(n=221)  | 社会の一員として役に立ちたいから<br>62.9% | 自己啓発や自らの成長につながると考えるため<br>49.3% | 困っている人を支援したいという気持ち<br>37.6% | 地域や仲間等と繋がっていたいから<br>34.8% | 心身の健康維持・健康づくりのため<br>25.3% |
| いいえ<br>(n=140) | 社会の一員として役に立ちたいから<br>44.3% | 自己啓発や自らの成長につながると考えるため<br>40.0% | 困っている人を支援したいという気持ち<br>28.6% | 地域や仲間等と繋がっていたいから<br>23.6% | 心身の健康維持・健康づくりのため<br>22.1% |

市民活動団体への期待の有無別にみると、「はい」「いいえ」共に「社会の一員として役に立ちたいから」が最も割合が高くなっている。「はい」は62.9%、「いいえ」は44.3%となっている。

## (4) 市民活動に参加することに妨げとなること

問2-4 市民活動に参加することに妨げや参加にあたっての不安はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

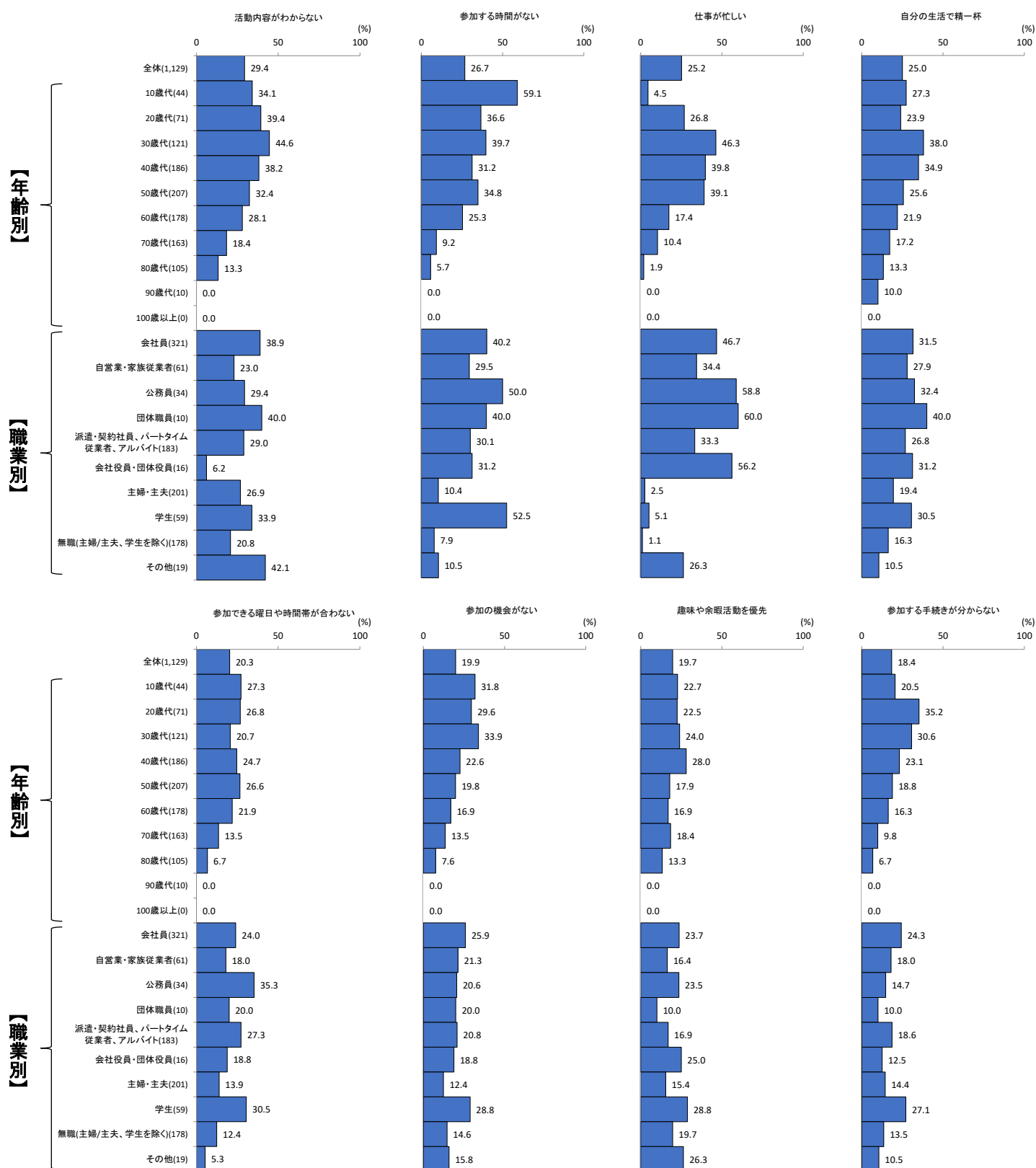
【図表35：市民活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】



※「参加できる曜日や時間帯が合わない」「参加する手続きが分からない」「人間関係がわずらわしい」「参加する際の経費があり経済的負担が大きい」は今回より新設。

市民活動に参加することに妨げとなることについては、「活動内容がわからない」が29.4%と最も高く、次いで、「参加する時間がない」(26.7%)、「仕事が忙しい」(25.2%)、「自分の生活で精一杯」(25.0%)、「参加できる曜日や時間帯が合わない」(20.3%)の順となっている。

【図表36：年齢別・職業別／市民活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】  
上位8項目



「活動内容がわからない」を年齢別にみると、30歳代が44.6%と最も高くなっている。「参加する時間がない」は10歳代が59.1%で、6割近くとなっている。

「活動内容がわからない」を職業別にみると、その他(42.1%)、次いで団体職員(40.0%)の順に割合が高く、「参加する時間がない」では、学生(52.5%)、公務員(50.0%)で5割以上となっている。

【図表37：市民活動参加意向別／市民活動に参加することに妨げや参加にあたっての不安】上位5項目

| 市民活動参加意向       | 第1位                 | 第2位                    | 第3位                                        | 第4位             | 第5位                 |
|----------------|---------------------|------------------------|--------------------------------------------|-----------------|---------------------|
| はい<br>(n=362)  | 活動内容がわからない<br>36.5% | 参加する手続きが分からない<br>30.4% | * 参加できる曜日や時間帯が合わない<br>* 参加する時間がない<br>28.5% |                 | 参加の機会がない<br>27.1%   |
| いいえ<br>(n=703) | 自分の生活で精一杯<br>29.9%  | 参加する時間がない<br>28.3%     | 活動内容がわからない<br>27.9%                        | 仕事が忙しい<br>26.9% | 趣味や余暇活動を優先<br>21.5% |

※同率の項目には「\*」印をつけています

市民活動参加意向別にみると、「はい」は「活動内容がわからない」（36.5%）、「いいえ」は「自分の生活で精一杯」（29.9%）が最も割合が高くなっている。

【図表38：市民活動団体への期待の有無別／市民活動に参加することに妨げや参加にあたっての不安】上位5項目

| 市民活動団体への期待の有無  | 第1位                 | 第2位                | 第3位                | 第4位                       | 第5位                                    |
|----------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------------|----------------------------------------|
| はい<br>(n=348)  | 活動内容がわからない<br>29.9% | 参加する時間がない<br>29.6% | 仕事が忙しい<br>26.1%    | 参加できる曜日や時間帯が合わない<br>25.9% | * 参加する手続きが分からない<br>* 参加の機会がない<br>23.3% |
| いいえ<br>(n=699) | 活動内容がわからない<br>31.8% | 自分の生活で精一杯<br>29.0% | 参加する時間がない<br>27.3% | 仕事が忙しい<br>26.6%           | 趣味や余暇活動を優先<br>22.6%                    |

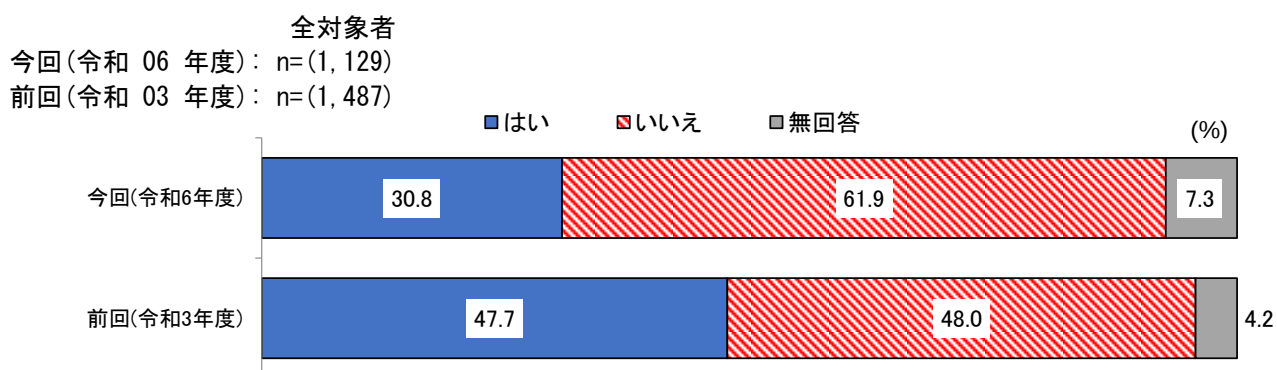
※同率の項目には「\*」印をつけています

市民活動団体への期待の有無別にみると、「はい」「いいえ」共に「活動内容がわからない」が最も割合が高くなっている。「はい」は29.9%、「いいえ」は31.8%となっている。

## (5) 市民活動団体に期待することの有無

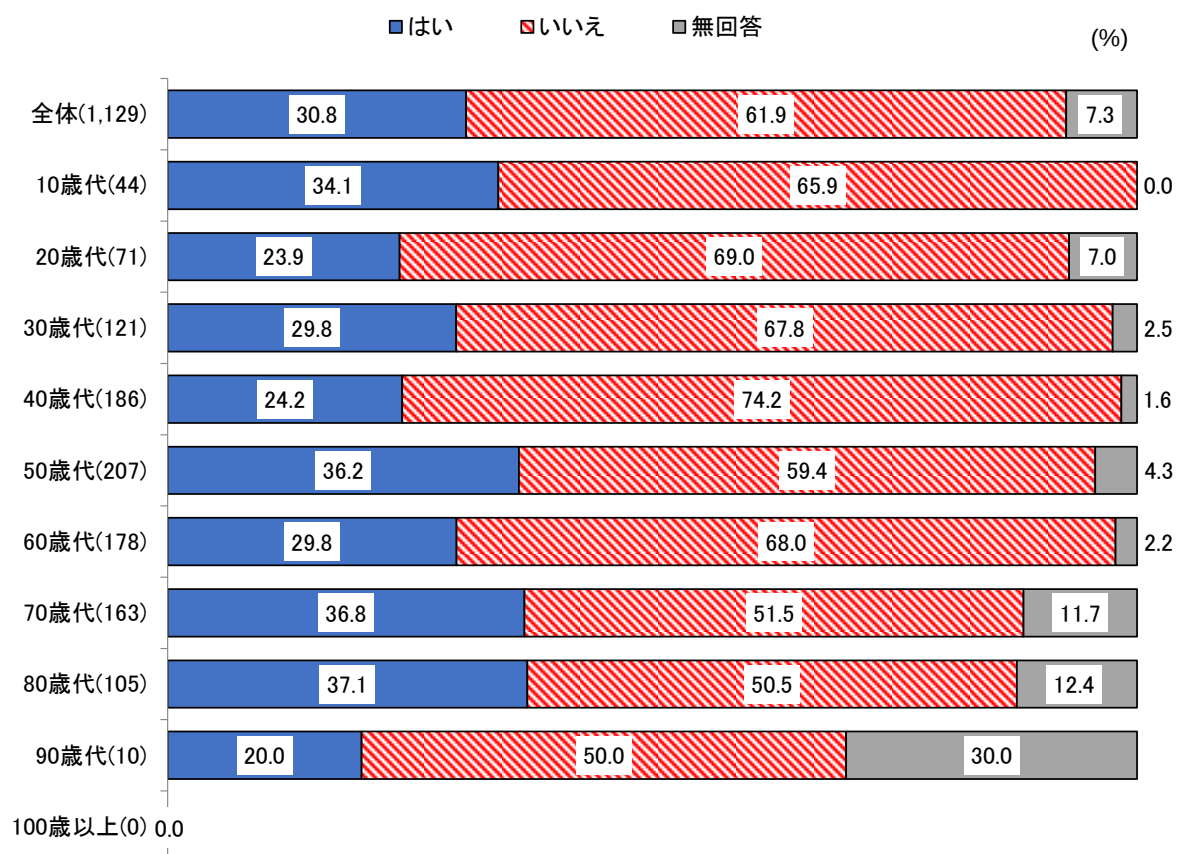
問2-5 あなたは市民活動団体に期待することはありますか。(いずれか一つに○)

【図表39：市民活動団体に期待することの有無】



市民活動団体に期待することの有無については、「はい」が30.8%と、前回調査(令和3年度)の47.7%より低くなっている。

【図表40：年齢別／市民活動団体に期待することの有無】



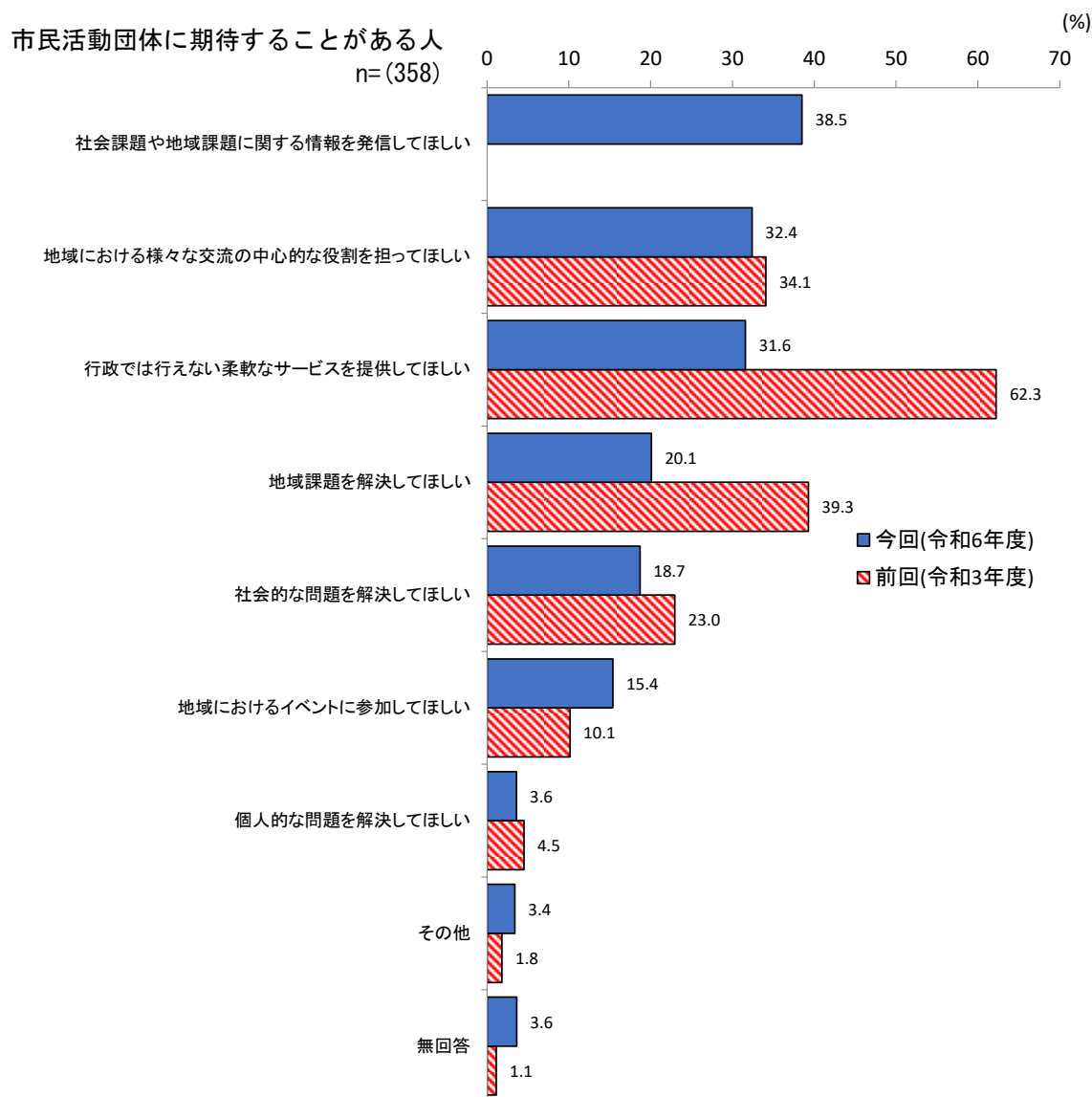
「はい」の割合を年齢別にみると、80歳代(37.1%)と70歳代(36.8%)がほぼ変わらない割合を示している。

## (6) 市民活動団体に期待することの内容

【問2-5で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問2-6 あなたが市民活動団体に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

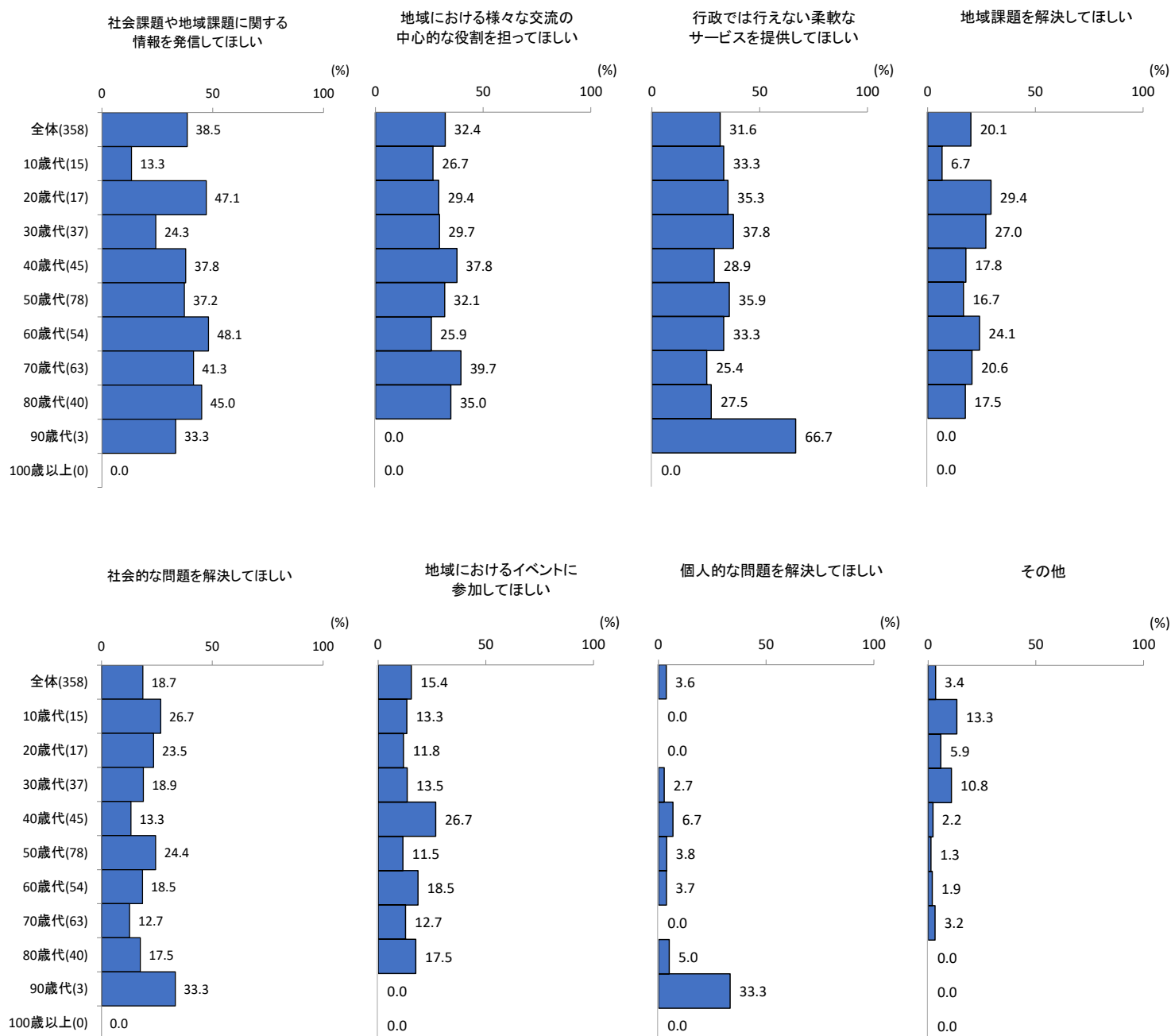
【図表4-1：市民活動団体に期待することの内容】



※「社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい」は今回より新設。

市民活動団体に期待することの内容については、「社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい」が38.5%と最も高く、次いで、「地域における様々な交流の中心的役割を担ってほしい」(32.4%)、「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」(31.6%)の順となっている。

【図表42：年齢別／市民活動団体に期待することの内容】上位8項目



「社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい」を年齢別でみると、60歳代が48.1%と最も高くなっている。「地域における様々な交流の中心的役割を担ってほしい」では、70歳代が39.7%と最も高くなっている。

【図表4-3：市民活動参加意向別／市民活動団体に期待することの内容】上位5項目

| 市民活動参加意向       | 第1位                                                               | 第2位                                | 第3位                              | 第4位                   | 第5位                                               |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------|
| はい<br>(n=221)  | 社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい<br>42.1%                                  | 地域における様々な交流の中心的な役割を担ってほしい<br>32.1% | 行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい<br>30.3% | 地域課題を解決してほしい<br>22.6% | * 社会的な問題を解決してほしい<br>* 地域におけるイベントに参加してほしい<br>19.5% |
| いいえ<br>(n=125) | * 行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい<br>* 地域における様々な交流の中心的な役割を担ってほしい<br>33.6% | 社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい<br>32.8%   | 社会的な問題を解決してほしい<br>18.4%          | 地域課題を解決してほしい<br>16.8% |                                                   |

※同率の項目には「\*」印をつけています

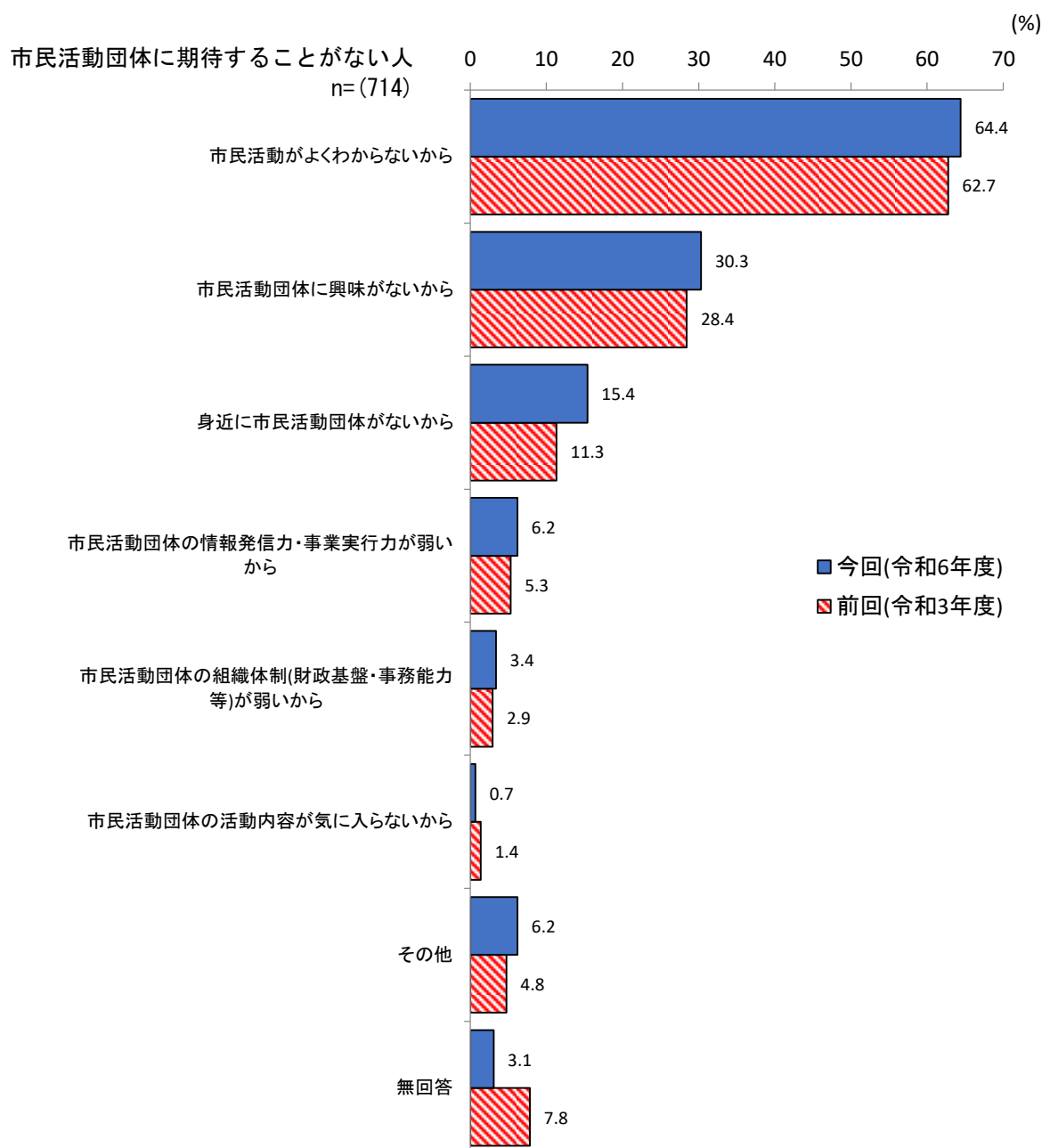
市民活動参加意向別にみると、「はい」は「社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい」(42.1%)が最も割合が高くなっている。「いいえ」は「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」、「地域における様々な交流の中心的な役割を担ってほしい」が33.6%で同率1位となっている。

## (7) 市民活動団体に期待することがない理由

【問2-5で「2. いいえ」に○をつけた方にお聞きします】

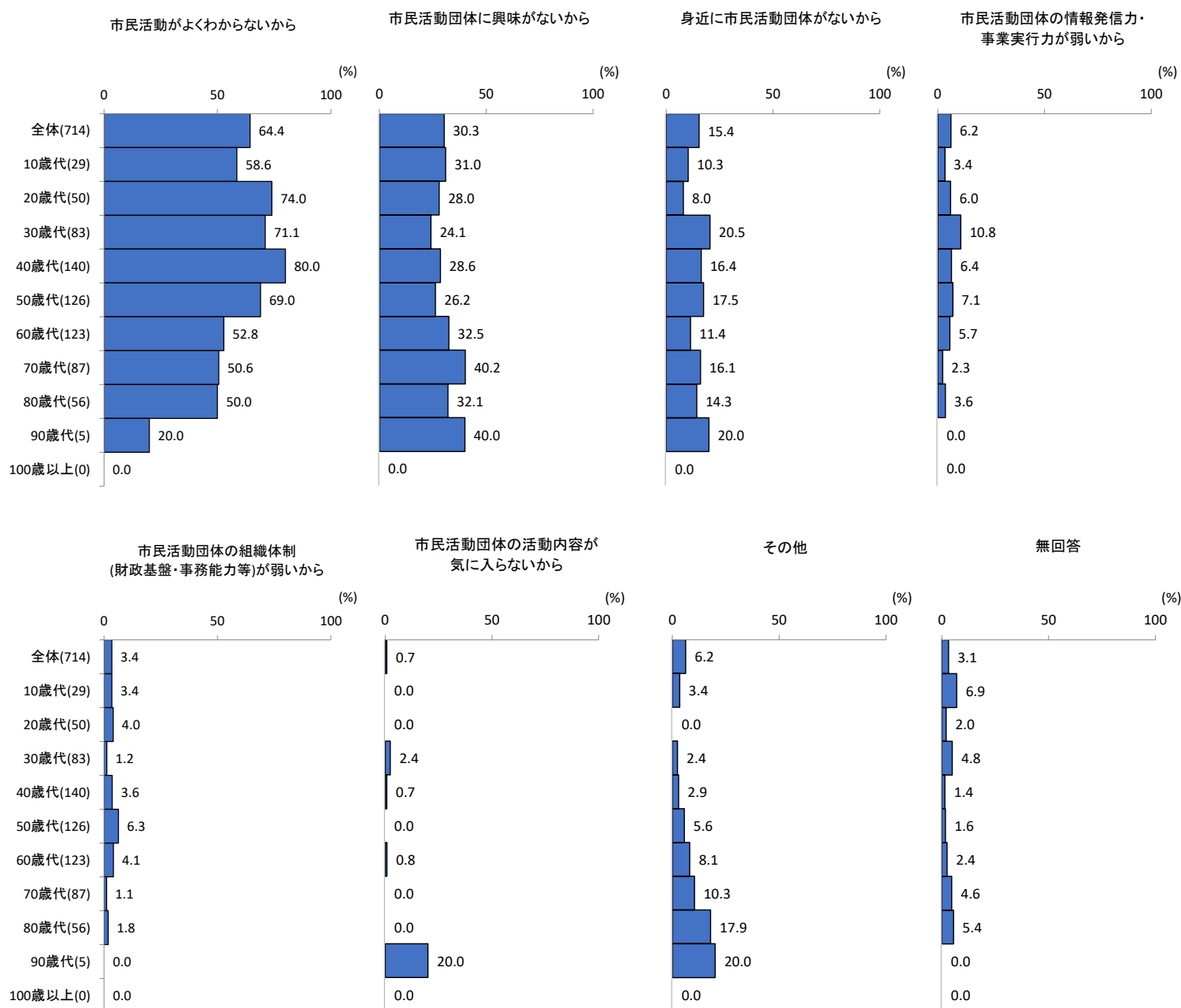
問2-7 あなたが市民活動団体に期待することがないのはなぜですか。  
(あてはまるものすべてに○)

【図表4-4：市民活動団体に期待することがない理由】



市民活動団体に期待することがない理由については、「市民活動がよくわからないから」が64.4%と最も高く、次いで、「市民活動団体に興味がないから」(30.3%)、「身近に市民活動団体がないから」(15.4%)の順となっている。

【図表4-5：年齢別／市民活動団体に期待することがない理由】上位8項目



「市民活動がよくわからないから」を年齢別でみると、40歳代が80.0%と最も高くなっている。「市民活動団体に興味がないから」では、70歳代(40.2%)、90歳代(40.0%)の順で高くなっている。

【図表4-6：市民活動参加意向別／市民活動団体に期待することがない理由】上位5項目

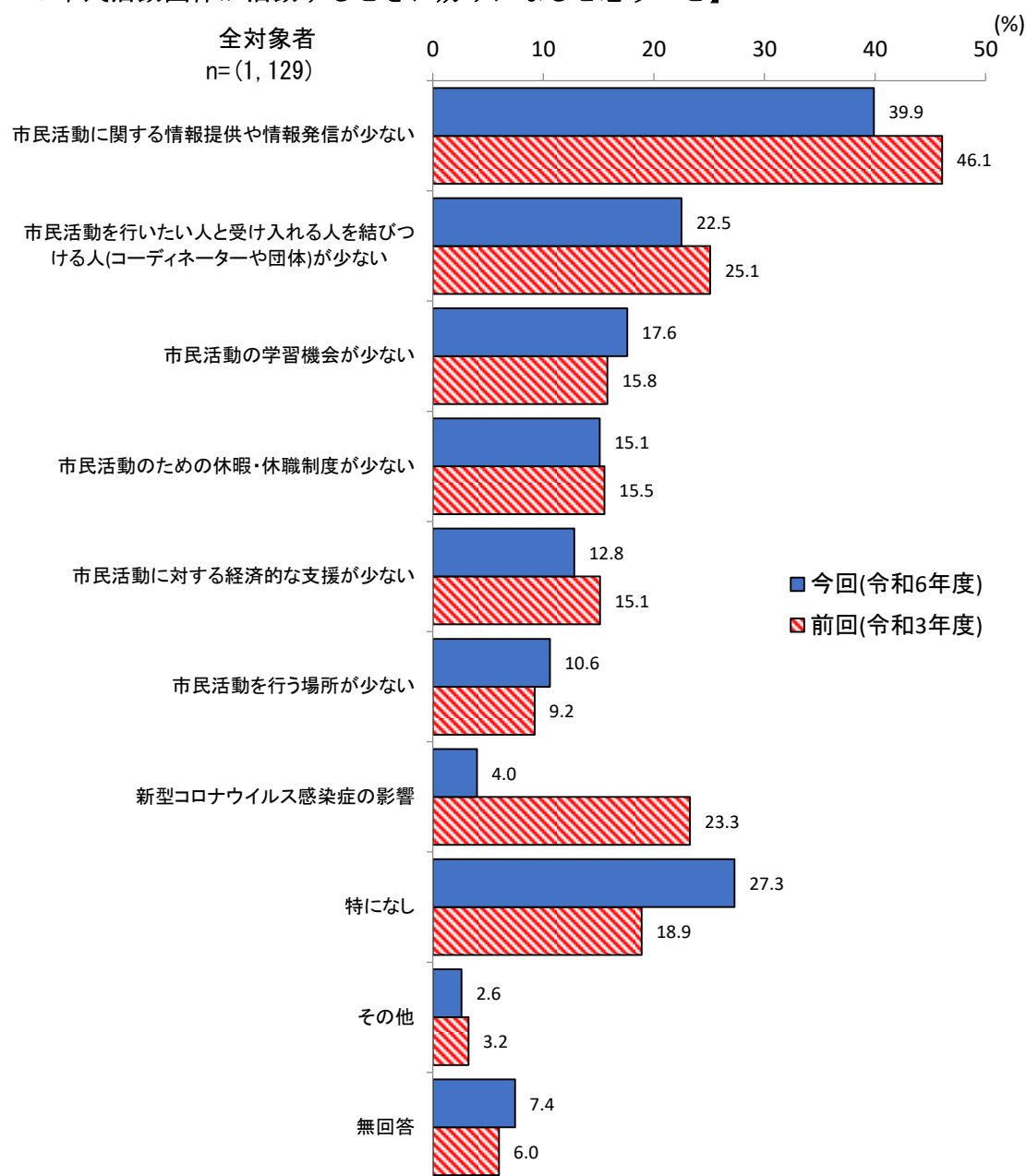
| 市民活動<br>参加意向       | 第1位                         | 第2位                              | 第3位                                          | 第4位                            | 第5位                                         |
|--------------------|-----------------------------|----------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------|
| はい<br><br>(n=138)  | 市民活動がよくわからないから<br><br>73.2% | 身近に市民活動<br>団体がいないから<br><br>21.0% | 市民活動団体の<br>情報発信力・事業<br>実行力が弱いから<br><br>12.3% | 市民活動団体に<br>興味がないから<br><br>7.2% | その他<br><br>5.8%                             |
| いいえ<br><br>(n=561) | 市民活動がよくわからないから<br><br>62.6% | 市民活動団体に<br>興味がないから<br><br>35.7%  | 身近に市民活動<br>団体がいないから<br><br>14.4%             | その他<br><br>6.4%                | 市民活動団体の<br>情報発信力・事業<br>実行力が弱いから<br><br>4.8% |

市民活動参加意向別にみると、「はい」「いいえ」共に「市民活動がよくわからないから」が最も割合が高くなっている。「はい」は73.2%、「いいえ」は62.6%となっている。

## (8) 市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと

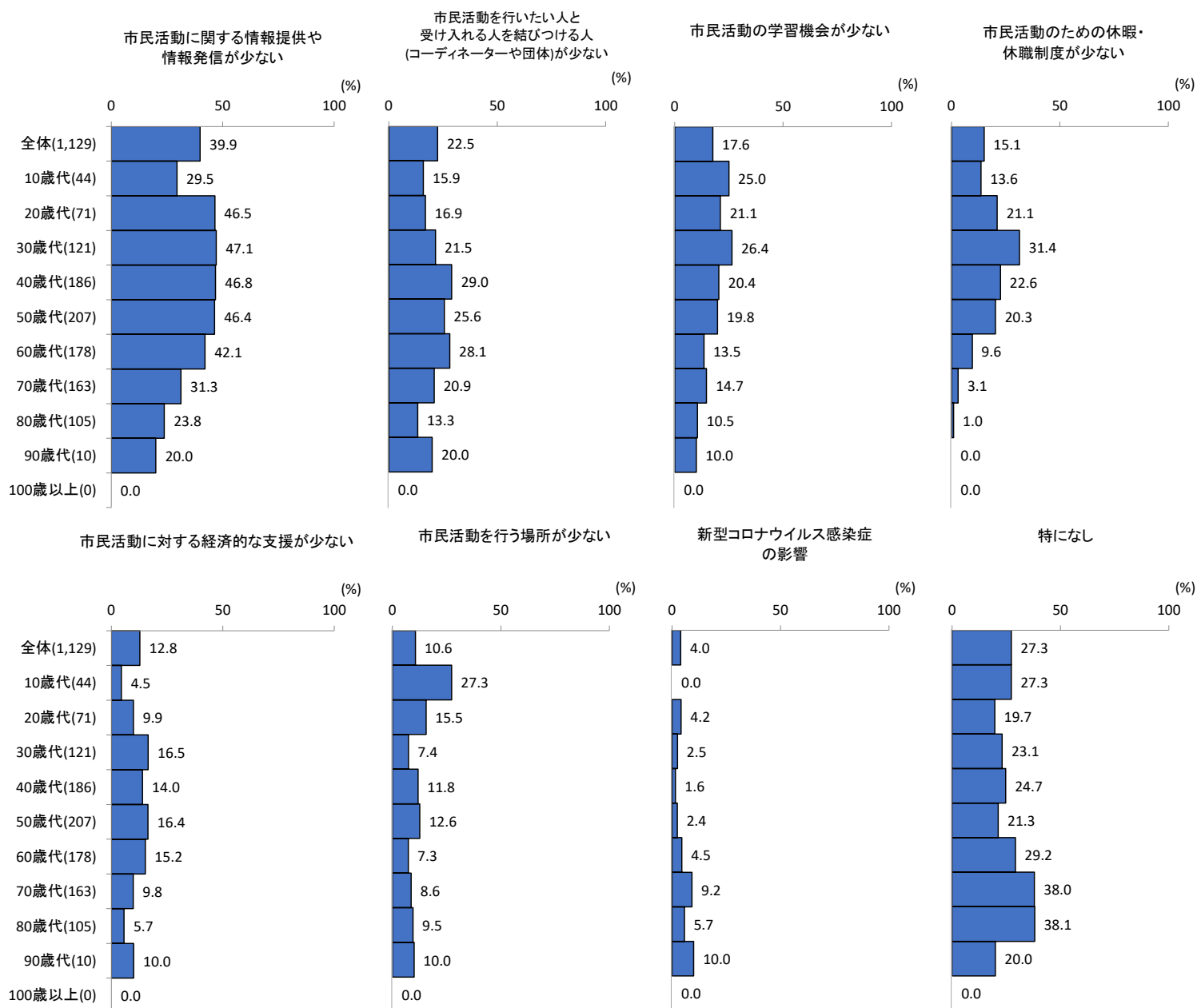
問2-8 市民活動団体が活動するときに、妨げになると思うことはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

【図表4-7：市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと】



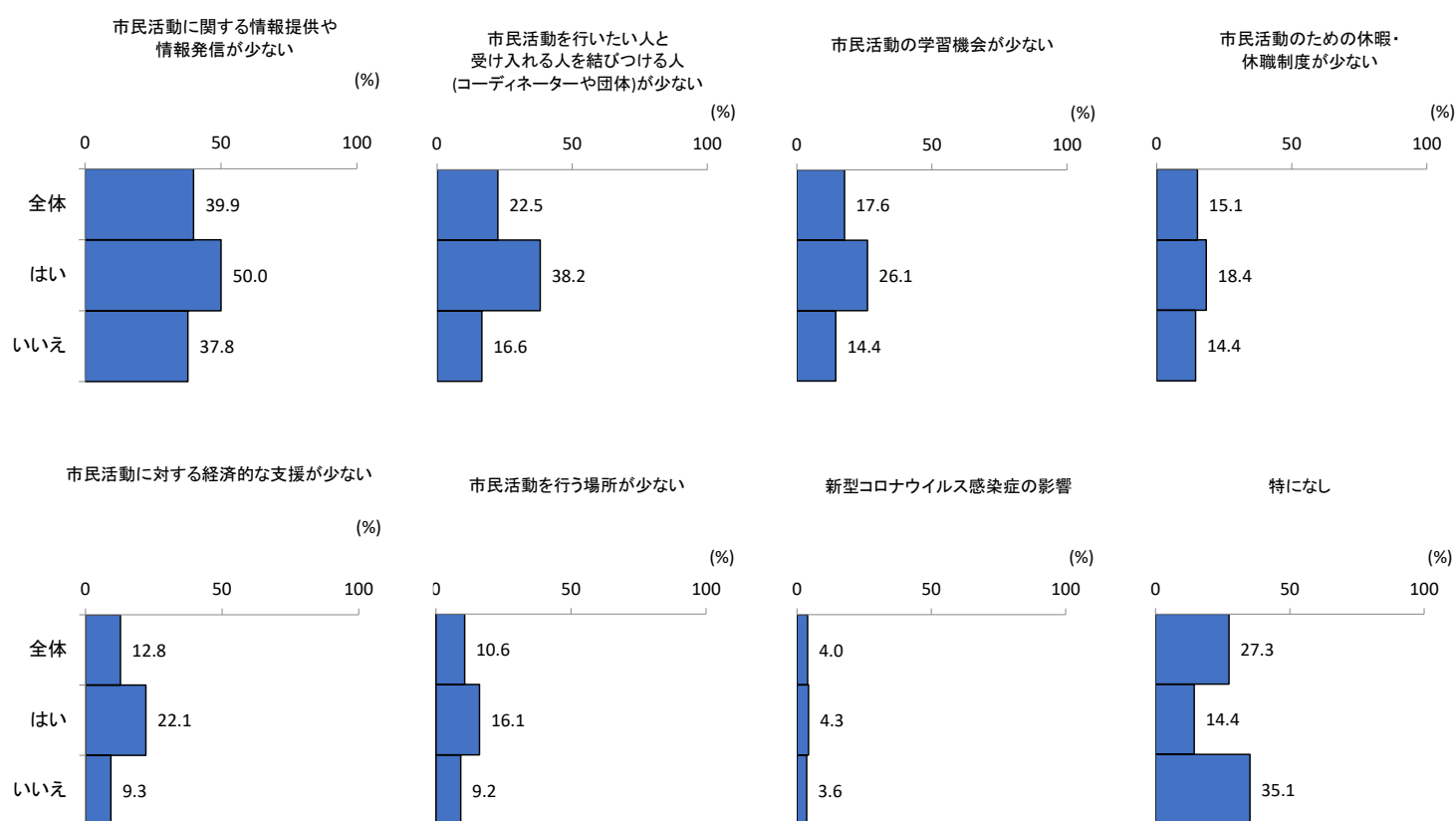
市民活動団体が活動するときに妨げになると思うことについては、「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」が39.9%と最も高く、次いで、「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」(22.5%)、「市民活動の学習機会が少ない」(17.6%)の順となっている。

【図表48：年齢別／市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」を年齢別でみると、20～60 歳代で 4 割以上となっており、30 歳代が 47.1%と最も高くなっている。「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」は、40 歳代が 29.0%と最も高くなっている。

【図表49：市民活動団体に期待することの有無別／市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと】  
上位8項目

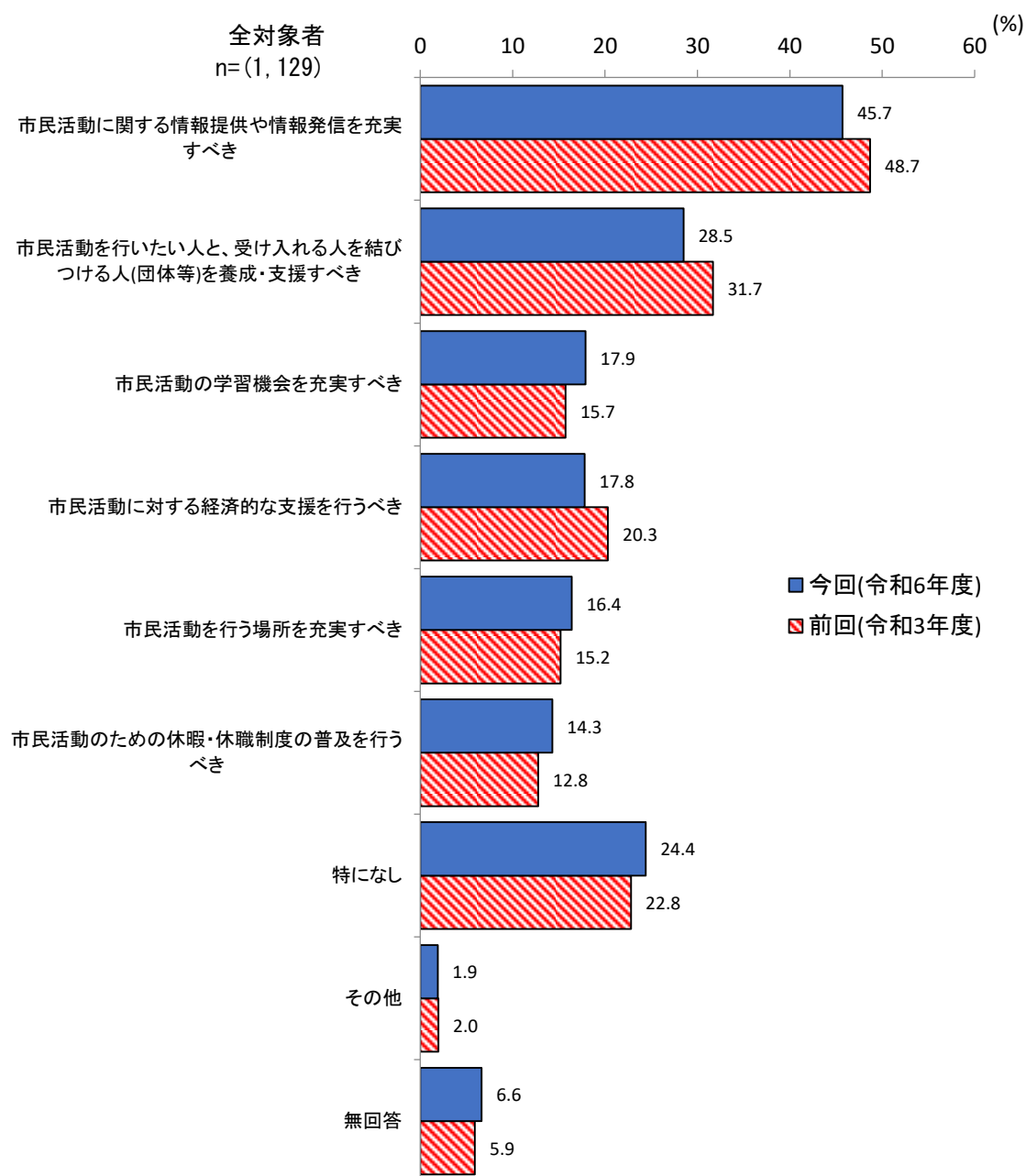


「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」を市民活動に期待することの有無(「はい」/「いいえ」)別にみると、「はい」50.0%、「いいえ」37.8%で、「はい」の方が「いいえ」より12.2ポイント高くなっている。「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」は、「はい」38.2%、「いいえ」16.6%で、「はい」の方が「いいえ」より21.6ポイント高くなっている。

# (9) 市民活動について市に望むこと

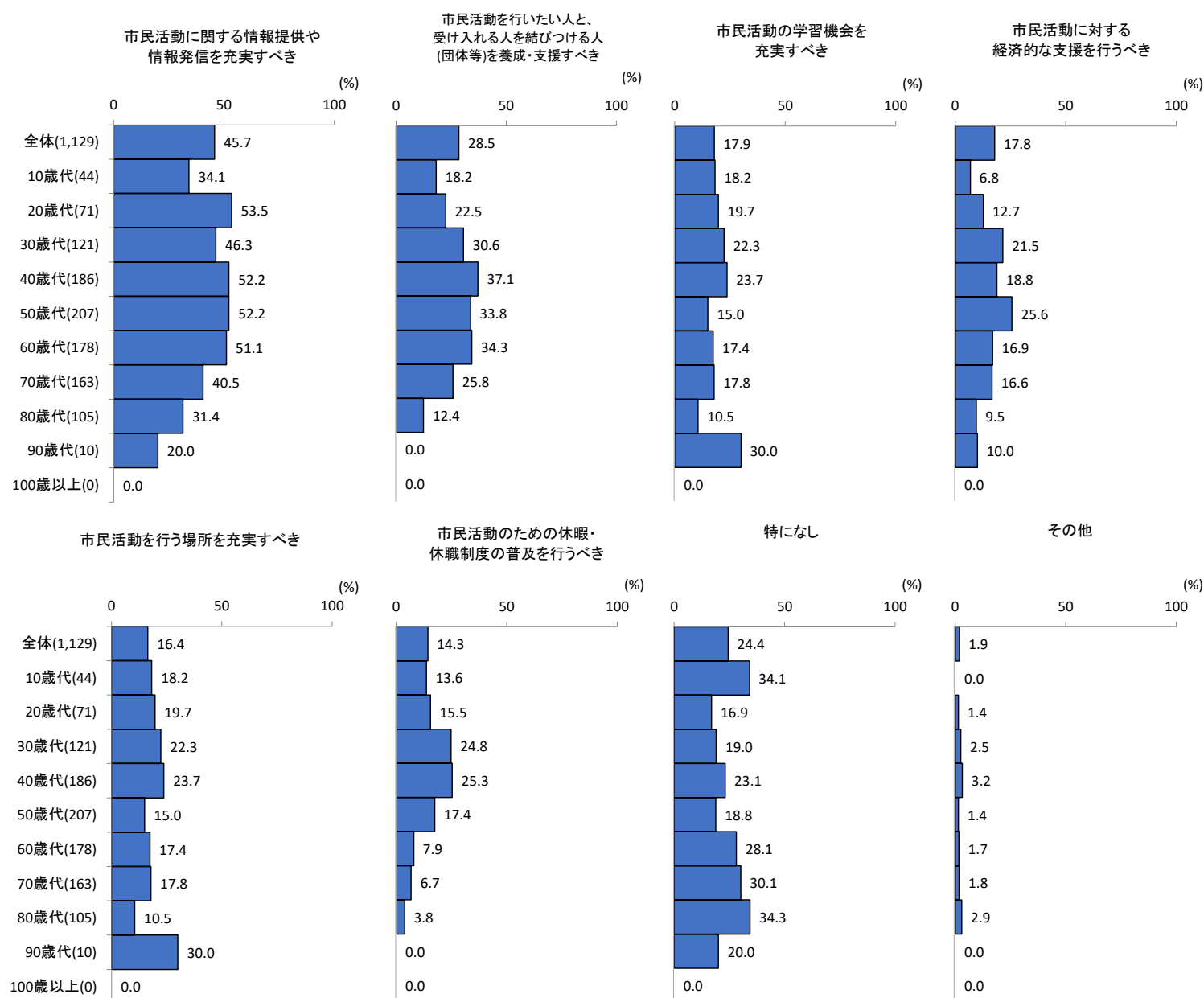
問2-9 市民活動について、市にどのようなことを望みますか。  
(あてはまるものすべてに○)

【図表50：市民活動について市に望むこと】



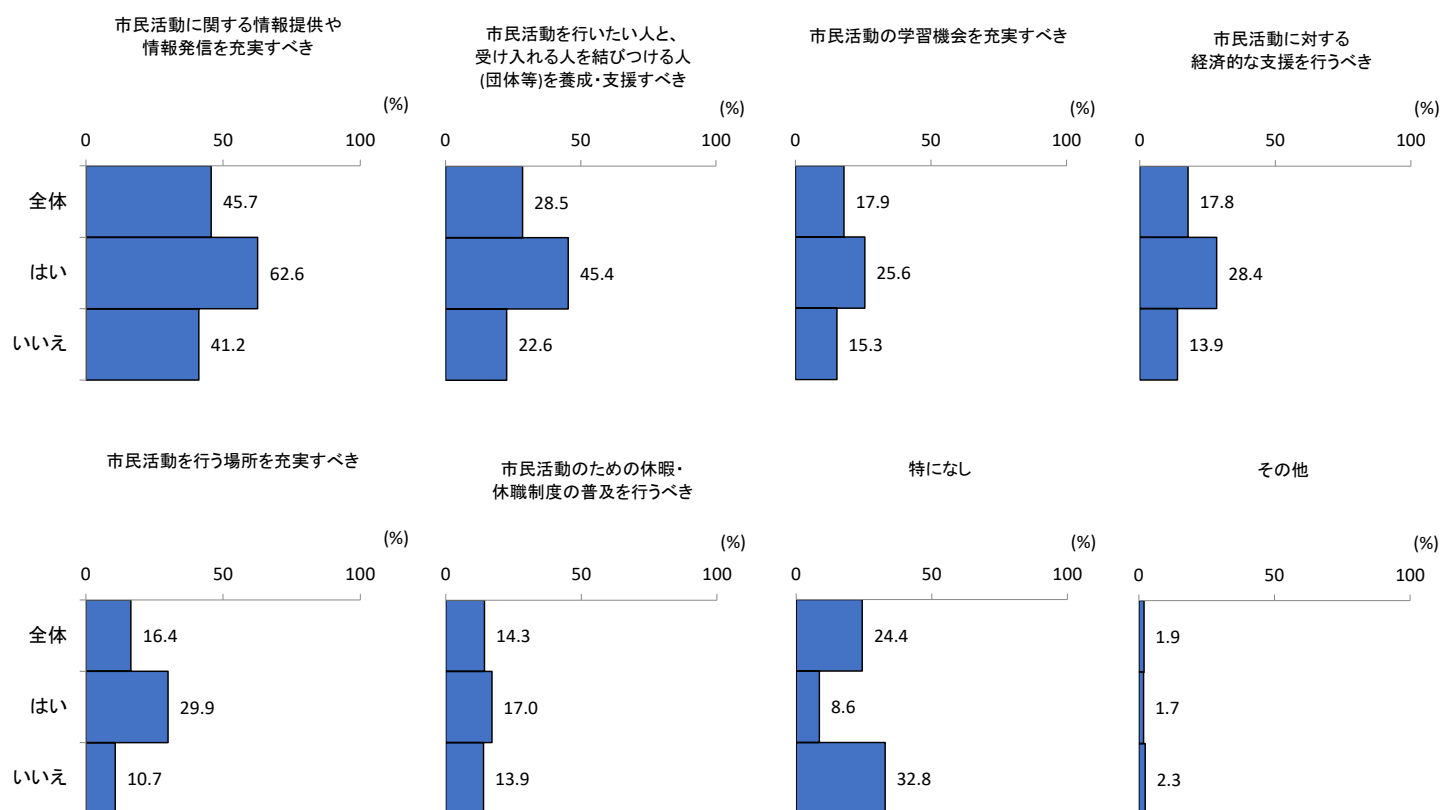
市民活動について市に望むことについては、「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が45.7%と最も高い割合となっている。次いで、「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」(28.5%)、「市民活動の学習機会を充実すべき」(17.9%)の順となっている。

【図表5-1：年齢別／市民活動について市に望むこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を年齢別でみると、20～60 歳代で 5 割前後となっており、20 歳代が 53.5%と最も高くなっている。「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、40 歳代が 37.1%と一番高くなっている。

【図表52：市民活動団体に期待することの有無別／市民活動について市に望むこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を市民活動に期待することの有無(「はい」/「いいえ」)別にみると、「はい」62.6%、「いいえ」41.2%で、「はい」の方が「いいえ」より21.4ポイント高くなっている。「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、「はい」45.4%、「いいえ」22.6%で、「はい」の方が「いいえ」より22.8ポイント高くなっている。

【図表5-3：市民活動参加意向別／市民活動について市に望むこと】上位5項目

| 市民活動参加意向       | 第1位                              | 第2位                                              | 第3位                                              | 第4位                          | 第5位                              |
|----------------|----------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| はい<br>(n=362)  | 市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき<br>67.1% | 市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき<br>44.8% | 市民活動を行う場所を充実すべき<br>29.0%                         | 市民活動に対する経済的な支援を行うべき<br>26.8% | 市民活動の学習機会を充実すべき<br>24.9%         |
| いいえ<br>(n=703) | 市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき<br>37.4% | 特になし<br>33.9%                                    | 市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき<br>21.9% | 市民活動の学習機会を充実すべき<br>15.2%     | 市民活動のための休暇・休職制度の普及を行うべき<br>14.9% |

市民活動参加意向別にみると、「はい」「いいえ」共に「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が最も割合が高くなっている。「はい」は 67.1%、「いいえ」は 37.4%となっている。

【図表5-4：市民活動団体への期待の有無別／市民活動について市に望むこと】上位5項目

| 市民活動団体への期待の有無  | 第1位                              | 第2位                                              | 第3位                                              | 第4位                          | 第5位                                                         |
|----------------|----------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| はい<br>(n=348)  | 市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき<br>62.6% | 市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき<br>45.4% | 市民活動を行う場所を充実すべき<br>29.9%                         | 市民活動に対する経済的な支援を行うべき<br>28.4% | 市民活動の学習機会を充実すべき<br>25.6%                                    |
| いいえ<br>(n=699) | 市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき<br>41.2% | 特になし<br>32.8%                                    | 市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき<br>22.6% | 市民活動の学習機会を充実すべき<br>15.3%     | * 市民活動のための休暇・休職制度の普及を行うべき<br>* 市民活動に対する経済的な支援を行うべき<br>13.9% |

※同率の項目には「\*」印をつけています

市民活動団体への期待の有無別にみると、「はい」「いいえ」共に「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が最も割合が高くなっている。「はい」は 62.6%、「いいえ」は 41.2%となっている。

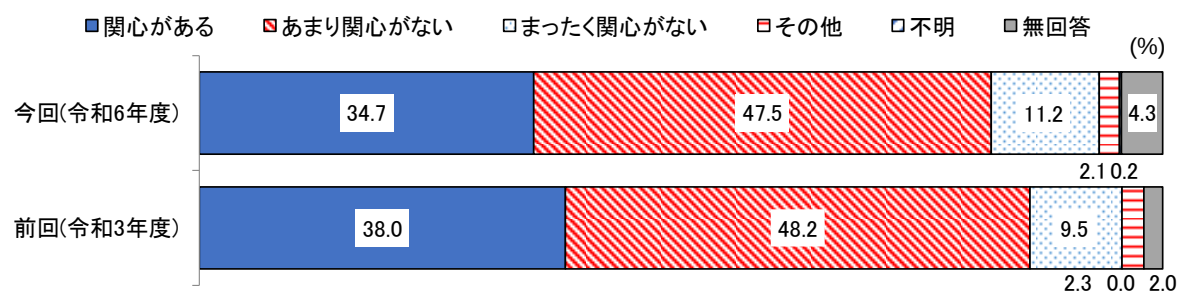
## 4. ボランティア活動について

### (1) ボランティア活動への関心の有無

問3-1 あなたはボランティア活動に関心がありますか。(いずれか一つに○)

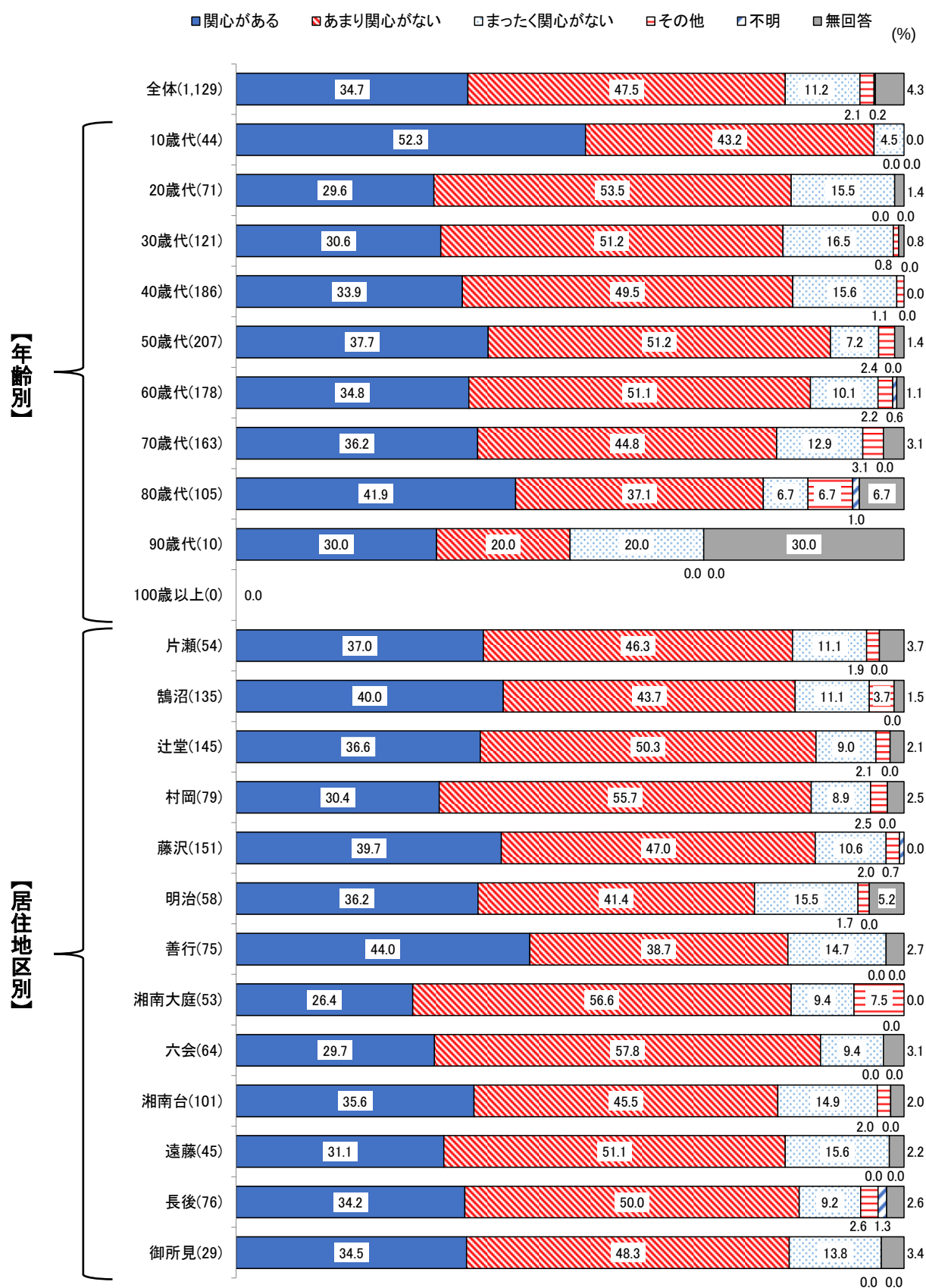
【図表5-5：ボランティア活動への関心の有無】

全対象者  
 今回(令和06年度)：n=(1,129)  
 前回(令和03年度)：n=(1,487)



ボランティア活動への関心の有無については、「関心がある」が 34.7%、「あまり関心がない」が 47.5%、「まったく関心がない」が 11.2%となっている。

【図表 5 6 : 年齢別・居住地区別／ボランティア活動への関心の有無】

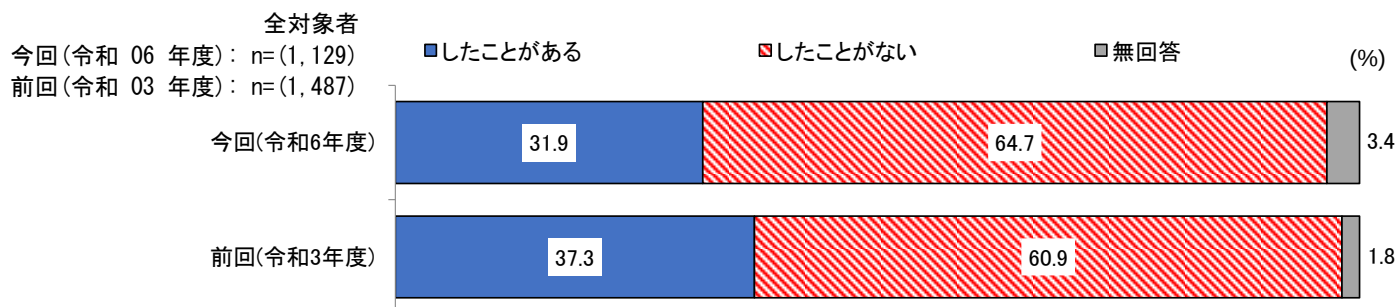


「関心がある」の割合を年齢別にみると、10歳代が52.3%、次いで80歳代(41.9%)となっている。居住地区別では、善行(44.0%)、鶴沼(40.0%)で「関心がある」割合が4割以上となっている。

## (2) ボランティア活動の経験

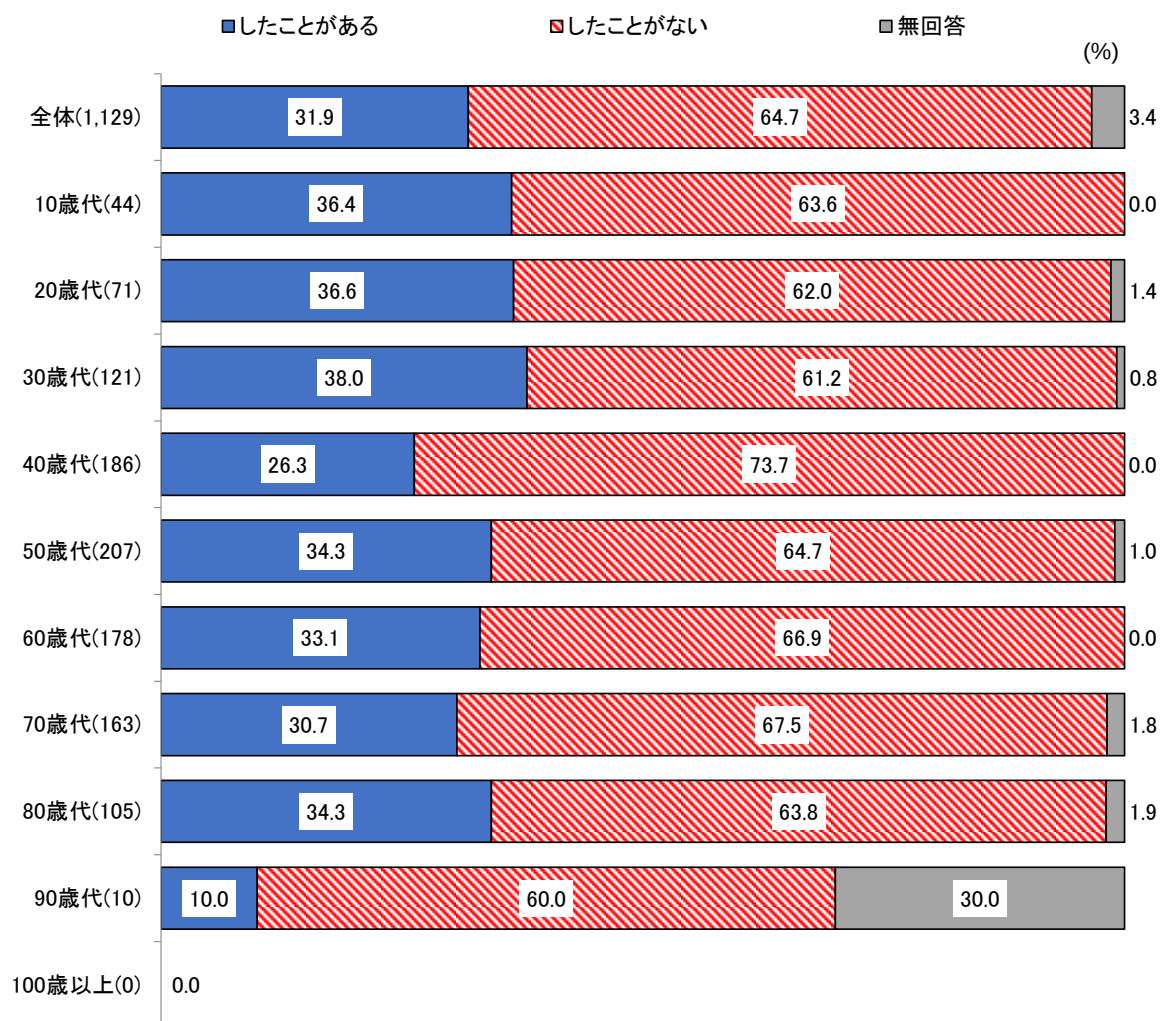
問3-2 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(いずれか一つに○)

【図表57：ボランティア活動の経験】



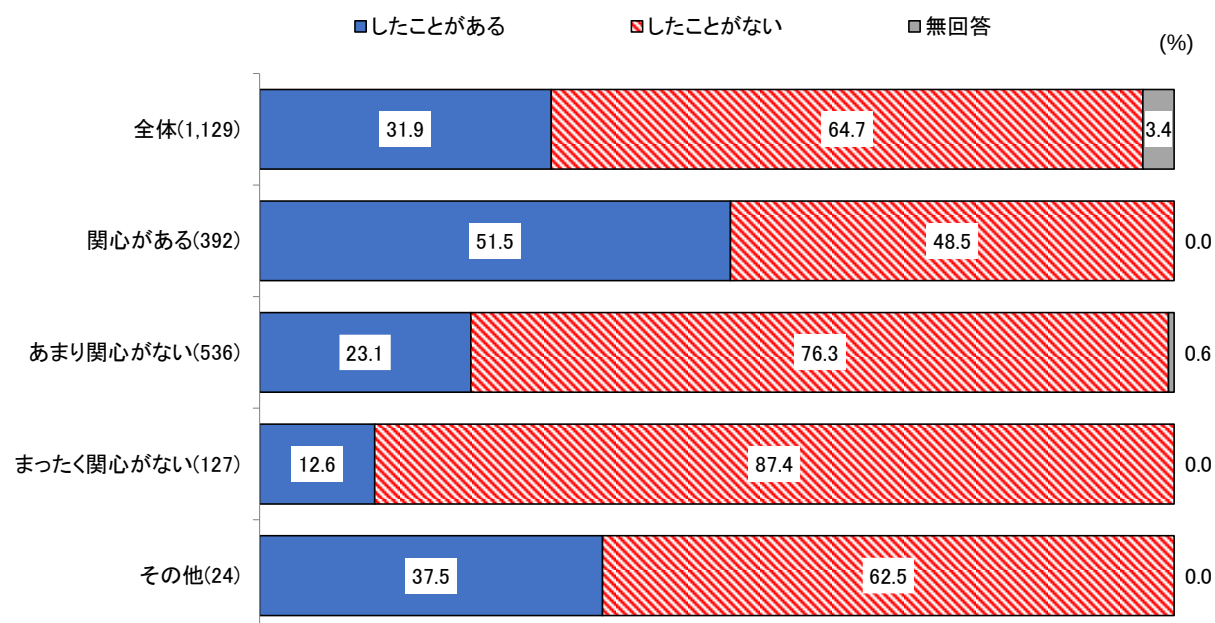
ボランティア活動の経験については、「したことがある」が31.9%、「したことがない」が64.7%となっている。

【図表58：年齢別／ボランティア活動の経験】



ボランティア活動を「したことがある」割合を年齢別にみると、30歳代が38.0%と最も高く、次いで、20歳代(36.6%)、10歳代(36.4%)の順となっている。

【図表59：ボランティア活動への関心の有無別／ボランティア活動の経験】



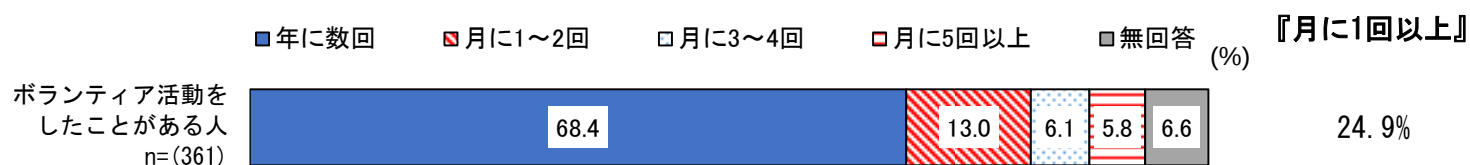
ボランティア活動への関心の有無別にみると、「関心がある」でボランティア活動を「したことがある」のは 51.5%、「あまり関心がない」では 23.1%、「まったく関心がない」では 12.6%となっている。

### (3) ボランティア活動への参加の頻度

【問3-2で「1. したことがある」に○をつけた方にお聞きします】

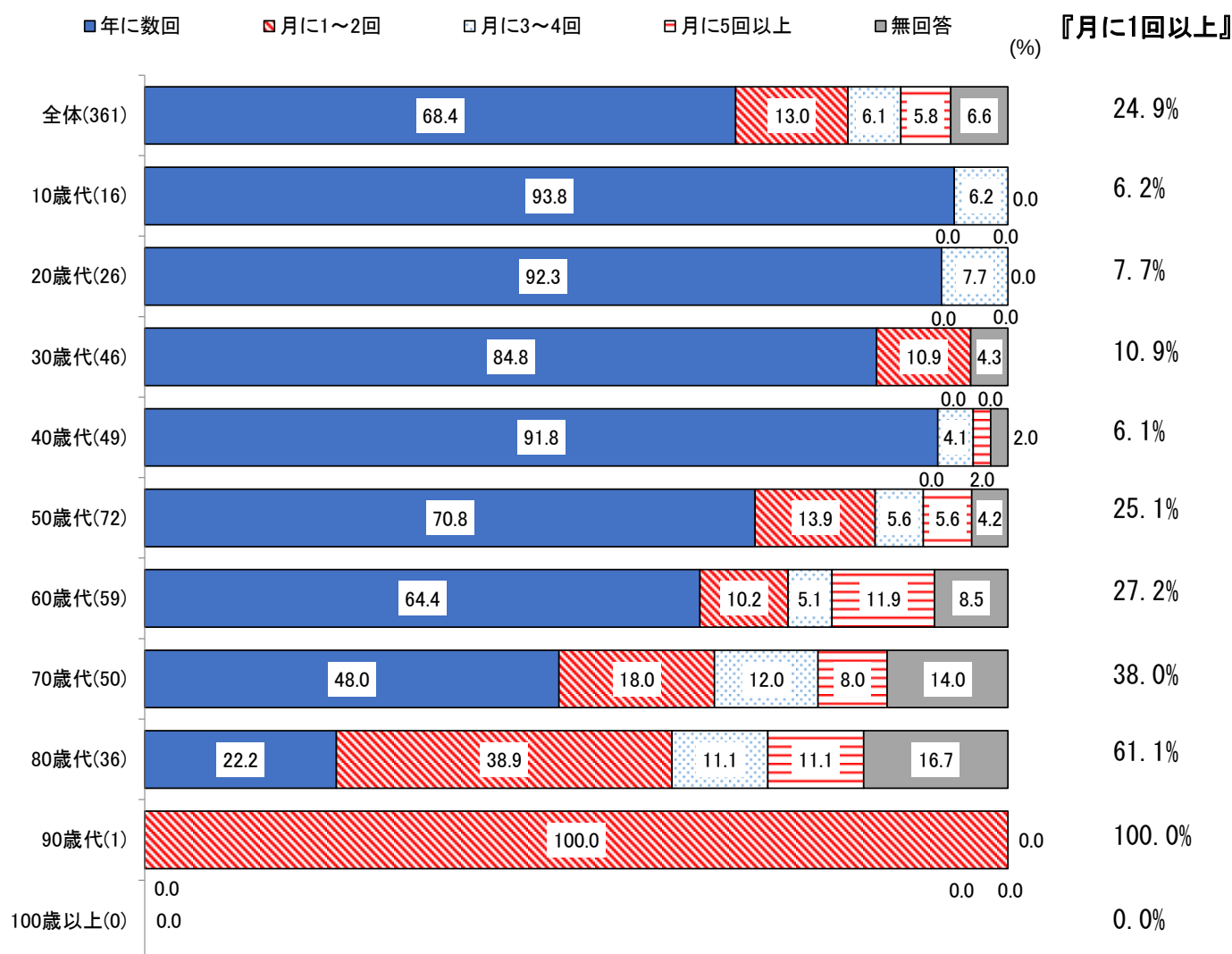
問3-3 あなたのボランティア活動への参加の頻度をお選びください。(いずれか一つに○)

【図表60：ボランティア活動への参加の頻度】



ボランティア活動への参加の頻度については、「年に数回」が68.4%と最も高く、「月に1～2回」が13.0%、「月に3～4回」が6.1%、「月に5回以上」が5.8%となっている。

【図表61：年齢別／ボランティア活動への参加の頻度】



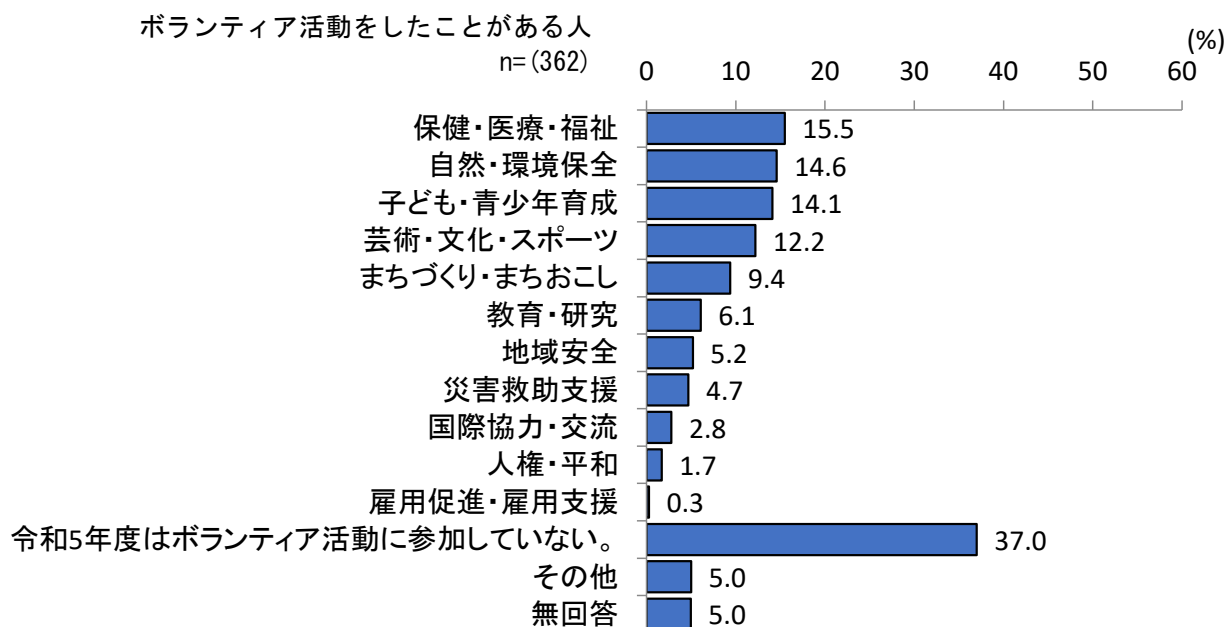
年齢別にみると、年代が上がるにつれボランティア活動への参加頻度が高まる傾向がみられ、80歳代では61.1%が『月に1回以上』参加している。

## (4) 令和5年度中に参加したことがあるボランティア活動

【問3-2で「1. したことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問3-4 あなたは令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）にどのような分野のボランティア活動に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

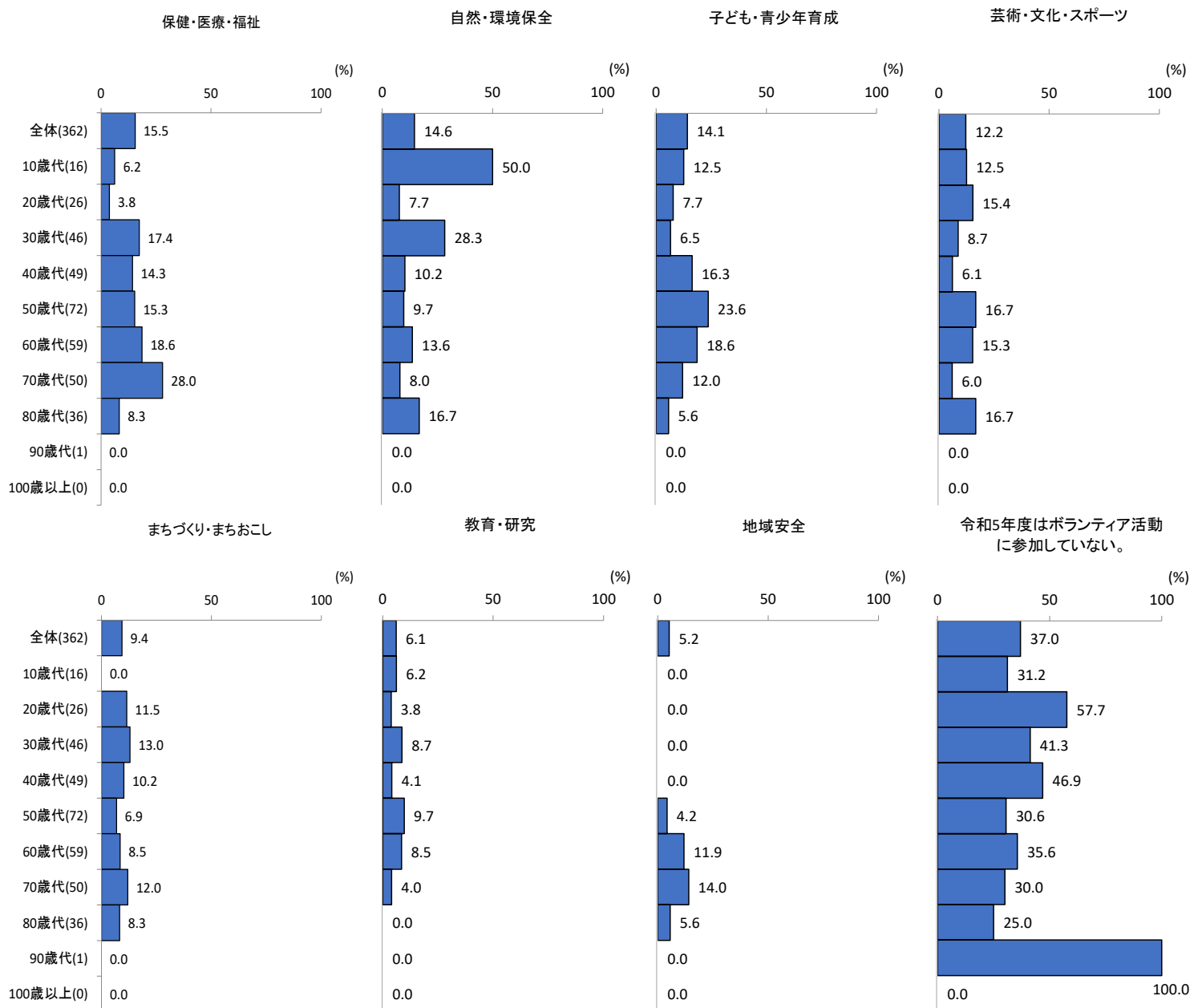
【図表6-2：令和5年度中に参加したことがあるボランティア活動】



令和5年度中に参加したことがあるボランティア活動については、「保健・医療・福祉」が15.5%と最も高く、次いで「自然・環境保全」（14.6%）、「子ども・青少年育成」（14.1%）「芸術・文化・スポーツ」（12.2%）、の順となっている。

なお、「令和5年度はボランティア活動に参加していない」人は37.0%となっている。

【図表63：年齢別／令和5年度中に参加したことがあるボランティア活動】上位8項目



年齢別にみると、「保健・医療・福祉」は70歳代（28.0%）、「自然・環境保全」では10歳代（50.0%）などで割合が高くなっている。一方、「令和5年度はボランティア活動に参加していない」割合は、20歳代（57.7%）や40歳代（46.9%）などで高くなっている。

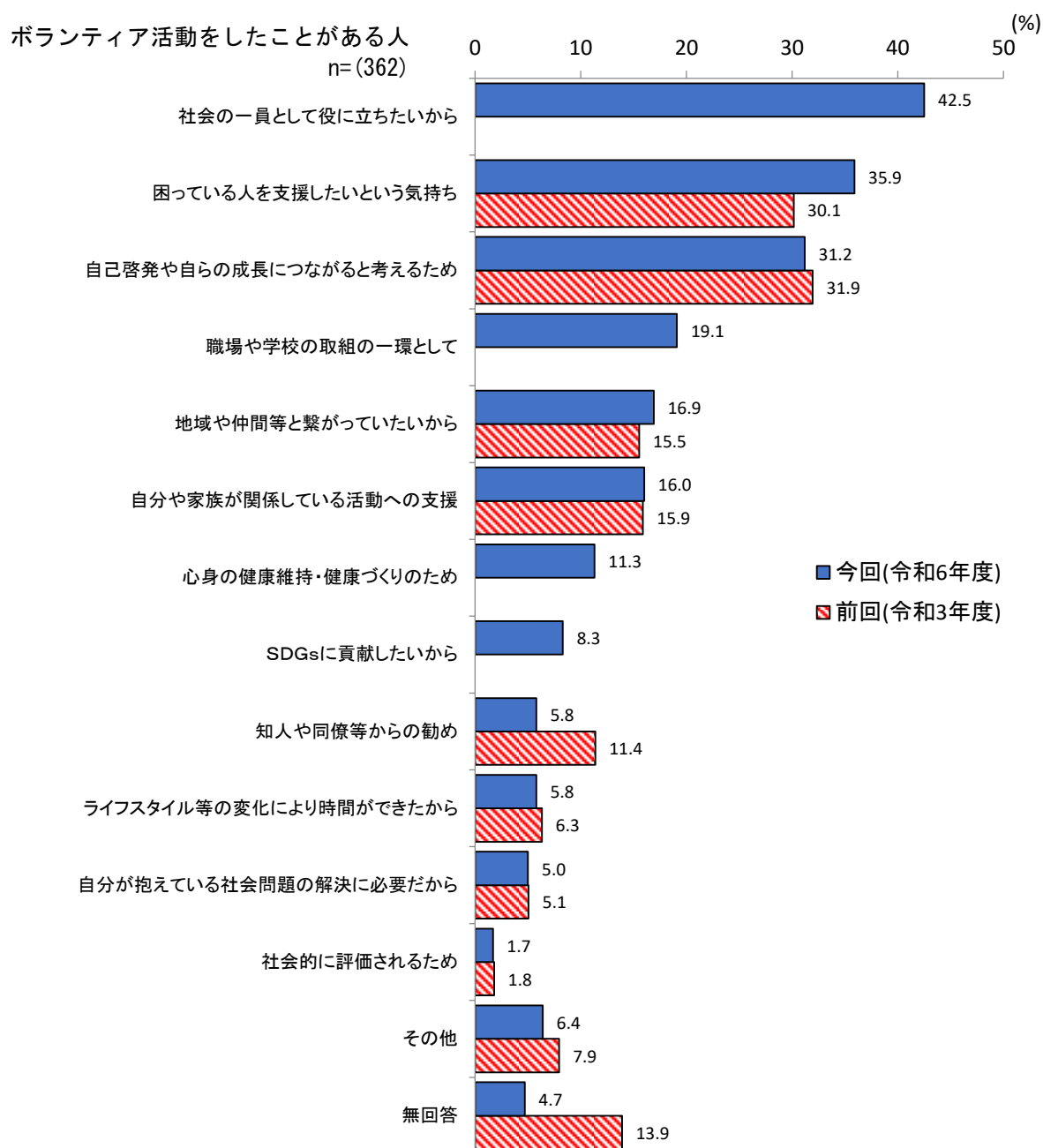
## (5) ボランティア活動に参加する理由

【問3-2で「1. したことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問3-5 あなたにとって、ボランティア活動に参加する理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

【図表6-4：ボランティア活動に参加する理由】

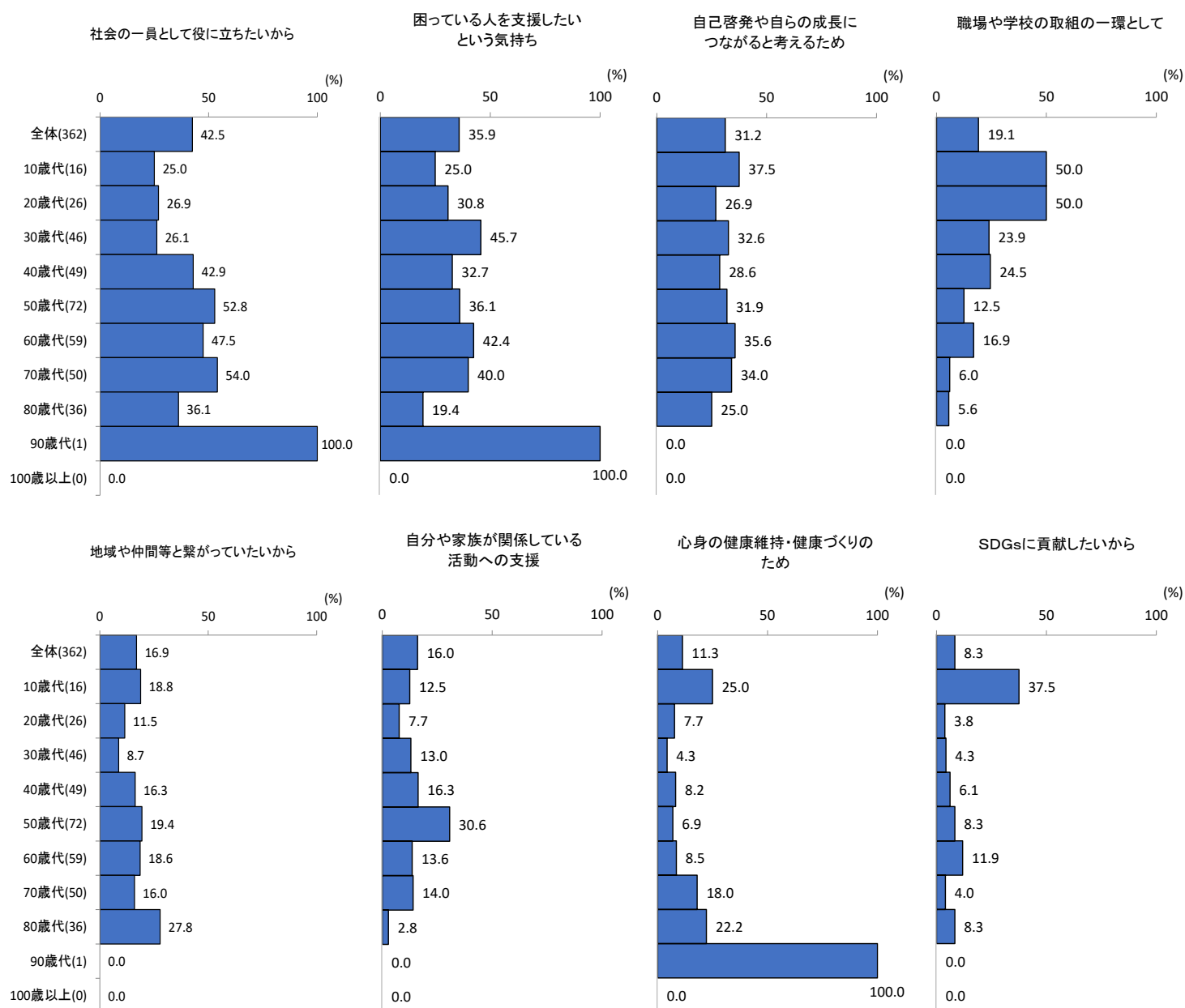


※「社会の一員として役に立ちたいから」「職場や学校の取組の一環として」

「心身の健康維持・健康づくりのため」「SDGsに貢献したいから」は今回より新設。

ボランティア活動に参加する理由については、「社会の一員として役に立ちたいから」が42.5%と最も高く、次いで、「困っている人を支援したいという気持ち」(35.9%)、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(31.2%)の順となっている。

【図表65：年齢別／ボランティア活動に参加する理由】上位8項目

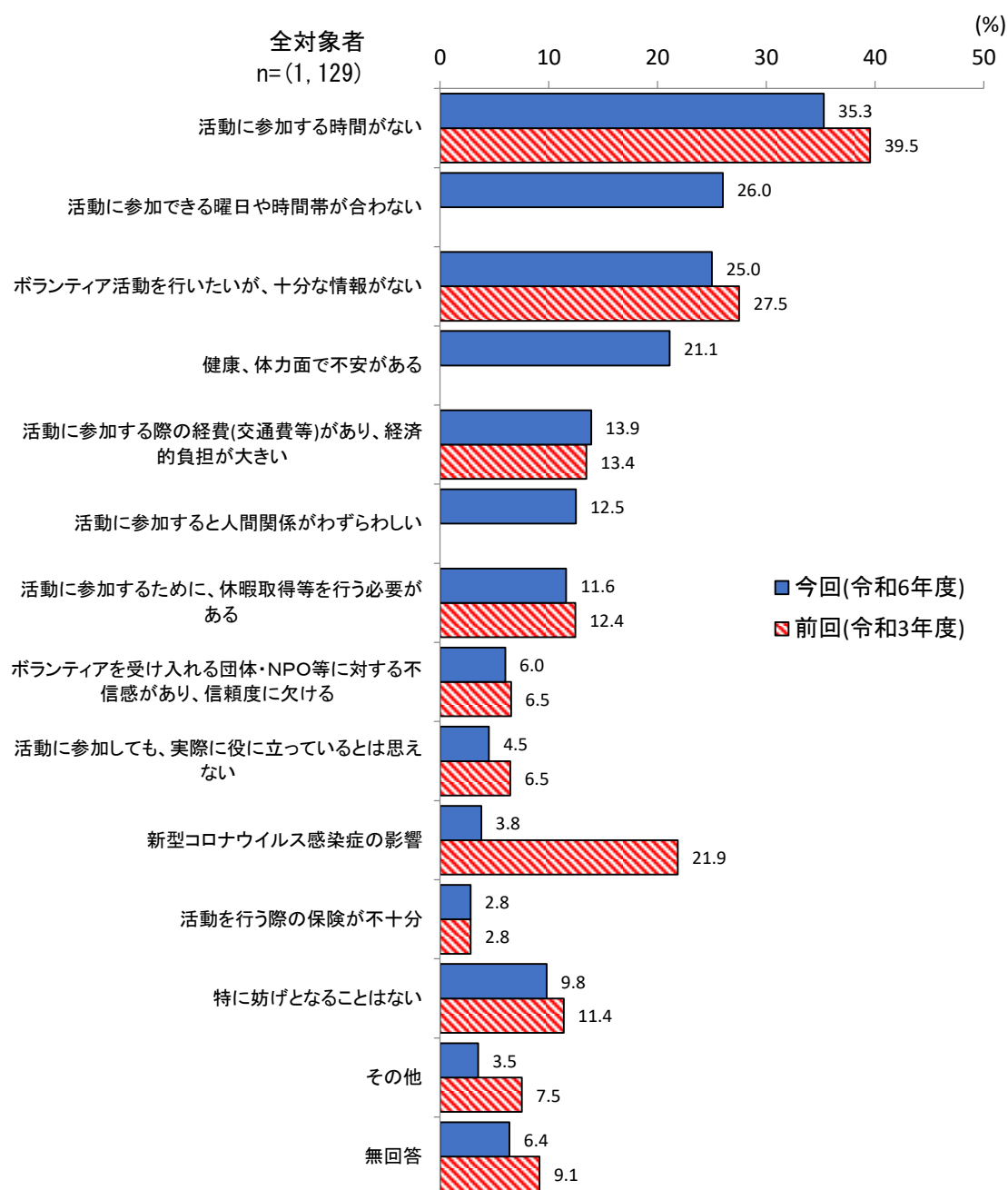


「社会の一員として役に立ちたいから」を年齢別でみると、70 歳代（54.0%）、50 歳代（52.8%）などで高くなっている。また、「困っている人を支援したいという気持ち」は、30 歳代（45.7%）や 60 歳代（42.4%）で高く、「自己啓発や自らの成長につながると思うため」は、10 歳代（37.5%）や 60 歳代（35.6%）などで高くなっている。

## (6) ボランティア活動に参加することに妨げとなること

問3-6 ボランティア活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安はありますか。（あてはまるものすべてに○）

【図表6-6：ボランティア活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】

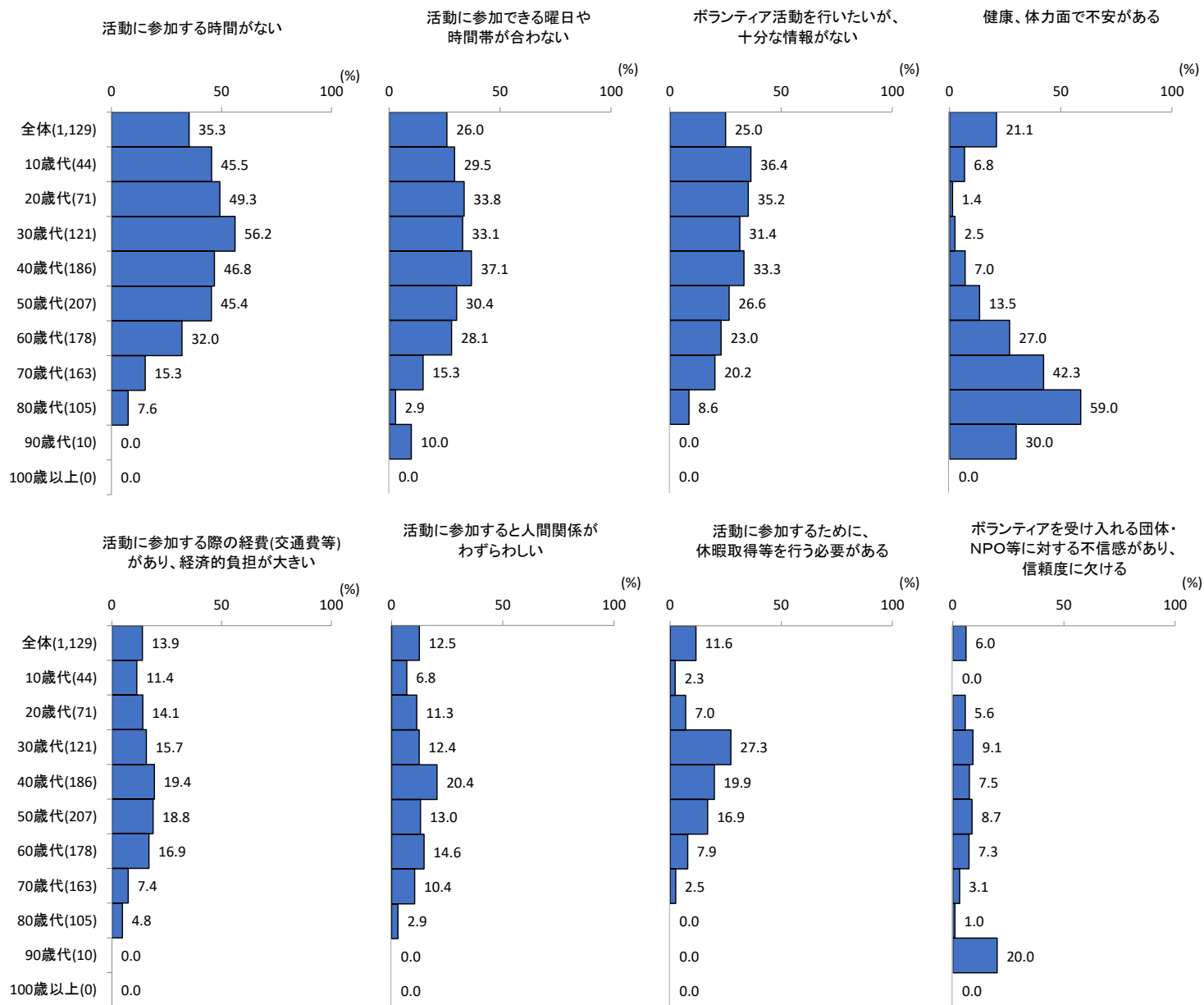


※「活動に参加できる曜日や時間帯が合わない」「健康、体力面で不安がある」

「活動に参加すると人間関係がわずらわしい」は今回より新設。

ボランティア活動に参加することに妨げとなることについては、「活動に参加する時間がない」が35.3%と最も高く、次いで、「活動に参加できる曜日や時間帯が合わない」(26.0%)、「ボランティア活動を行いたい、十分な情報がない」(25.0%)の順となっている。

【図表67：年齢別／ボランティア活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】  
上位8項目



「活動に参加する時間がない」を年齢別でみると、10～50 歳代で 5 割前後となっており、30 歳代が 56.2%と最も高くなっている。「活動に参加できる曜日や時間帯が合わない」は、10～60 歳代で 3 割前後となっており、40 歳代が 37.1%と最も高い。「ボランティア活動を行いたい、十分な情報がない」は、10 歳代が 36.4%と最も高くなっている。

【図表68：ボランティア活動への関心・ボランティア活動経験別／

ボランティア活動に参加することに妨げとなることや参加にあたっての不安】上位5項目

| ボランティア活動への関心 | ボランティア活動経験         | 第1位                              | 第2位                              | 第3位                                     | 第4位                                                                                                    | 第5位                                     |
|--------------|--------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 関心がある        | したことがある<br>(n=202) | 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>37.1%     | ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない<br>32.7% | 活動に参加する時間がない<br>29.7%                   | 健康、体力面で不安がある<br>18.8%                                                                                  | 活動に参加する際の経費(交通費等)があり、経済的負担が大きい<br>17.8% |
|              | したことがない<br>(n=190) | ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない<br>59.5% | 活動に参加する時間がない<br>35.3%            | 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>29.5%            | 健康、体力面で不安がある<br>18.4%                                                                                  | 活動に参加するために、休暇取得等を行う必要がある<br>15.3%       |
| あまり関心がない     | したことがある<br>(n=124) | 活動に参加する時間がない<br>39.5%            | 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>37.1%     | ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない<br>17.7%        | 健康、体力面で不安がある<br>16.1%                                                                                  | 活動に参加するために、休暇取得等を行う必要がある<br>15.3%       |
|              | したことがない<br>(n=409) | 活動に参加する時間がない<br>42.1%            | 健康、体力面で不安がある<br>22.5%            | 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>22.2%            | ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない<br>17.8%                                                                       | 活動に参加すると人間関係がわずらわしい<br>15.2%            |
| まったく関心がない    | したことがある<br>(n=16)  | 活動に参加する時間がない<br>31.3%            | 特に妨げとなることはない<br>25.0%            | 活動に参加する際の経費(交通費等)があり、経済的負担が大きい<br>18.8% | * ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない<br>* 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>* 健康、体力面で不安がある<br>* 活動に参加すると人間関係がわずらわしい<br>12.5% |                                         |
|              | したことがない<br>(n=111) | 活動に参加する時間がない<br>30.6%            | 健康、体力面で不安がある<br>29.7%            | 活動に参加すると人間関係がわずらわしい<br>25.2%            | 活動に参加する際の経費(交通費等)があり、経済的負担が大きい<br>15.3%                                                                | 活動に参加できる曜日や時間帯が合わない<br>13.5%            |

※同率の項目には「\*」印をつけています

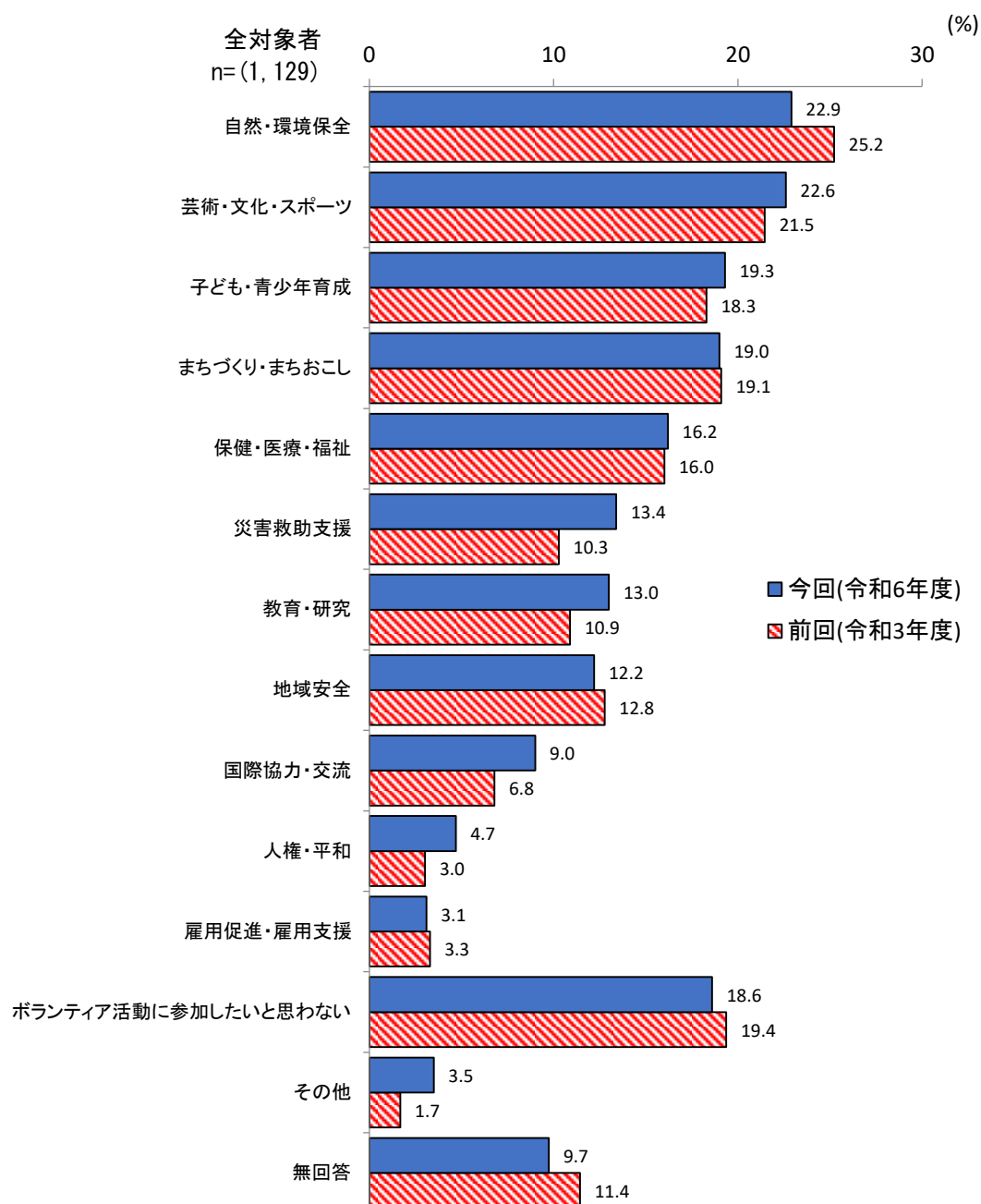
ボランティア活動への関心・ボランティア活動経験別でみると、「関心がある」で「したことがある」は「活動に参加できる曜日や時間帯が合わない」(37.1%)、「したことがない」は「ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない」(59.5%)が最も割合が高くなっている。

「あまり関心がない」、「まったく関心がない」では、「したことがある」「したことがない」共に、「活動に参加する時間がない」が1位となっている。

(7) 今後参加したいボランティア活動の分野

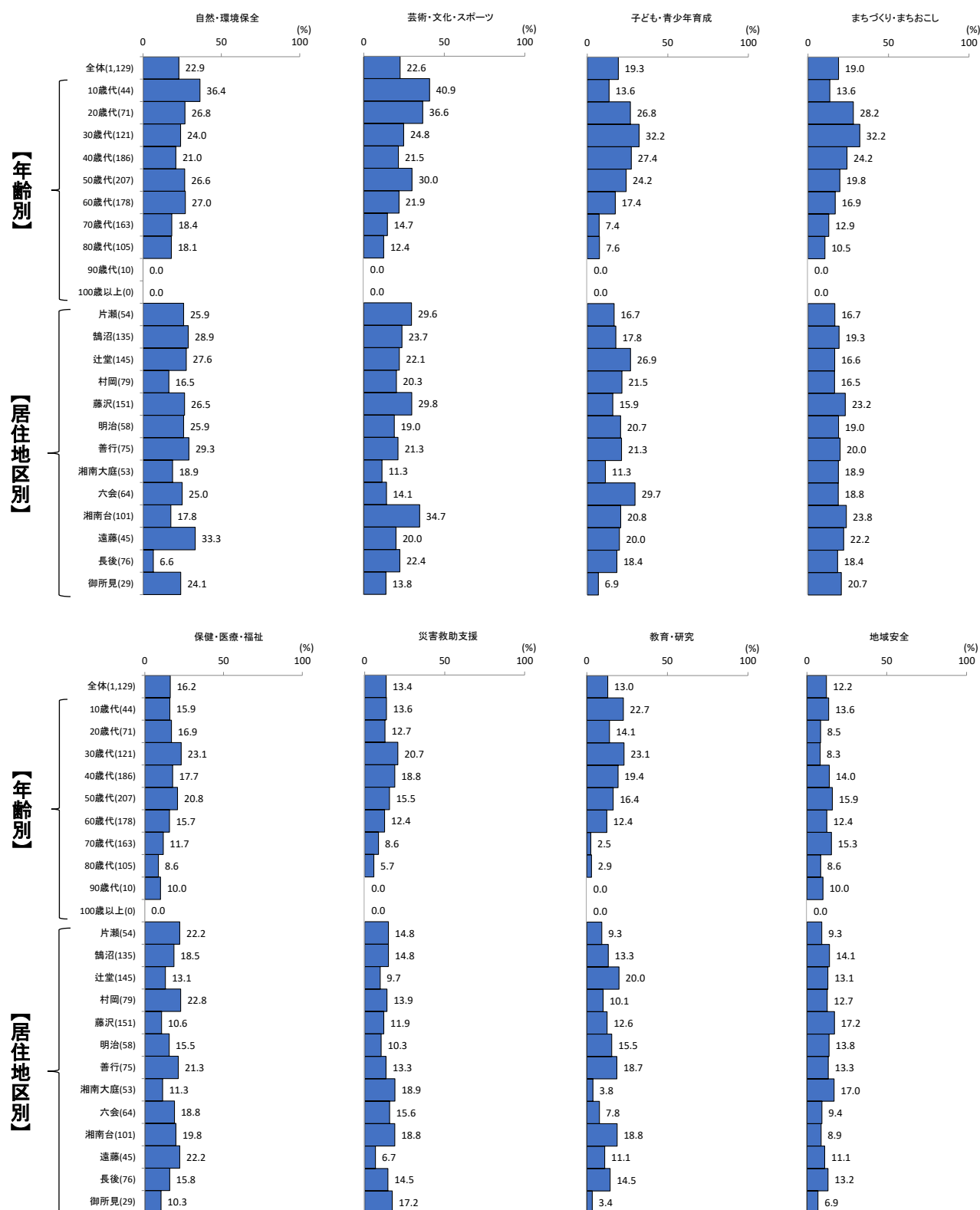
問3-7 あなたが今後参加したいボランティア活動の分野を選んでください。  
(あてはまるものすべてに○)

【図表69：今後参加したいボランティア活動の分野】



今後参加したいボランティア活動については、「自然・環境保全」が22.9%と最も高く、次いで、「芸術・文化・スポーツ」(22.6%)、「子ども・青少年育成」(19.3%)、「まちづくり・まちおこし」(19.0%)、「保健・医療・福祉」(16.2%)の順となっている。

【図表70：年齢別・居住地区別／今後参加したいボランティア活動の分野】上位8項目



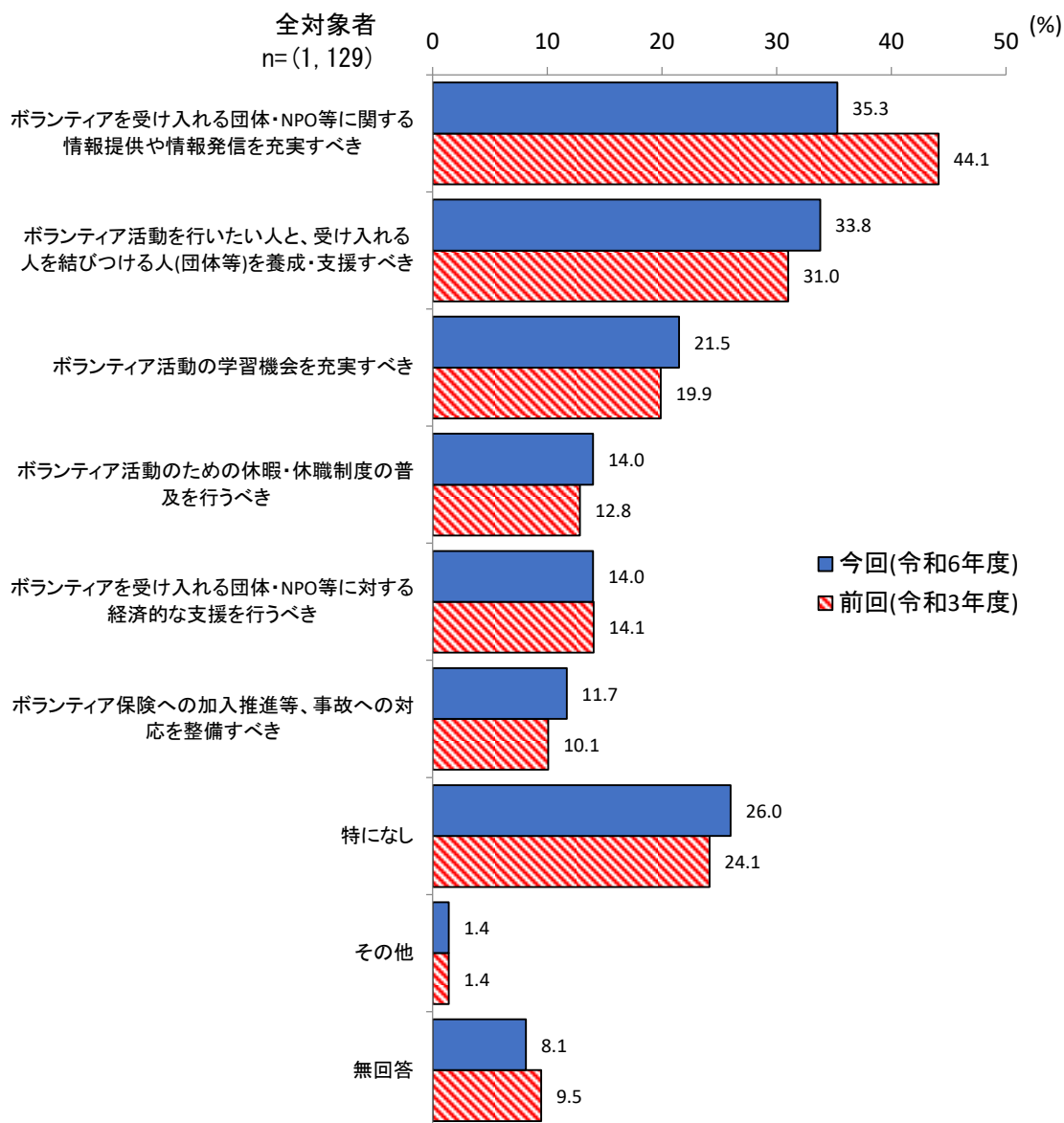
「自然・環境保全」を年齢別でみると、10 歳代（36.4%）が最も高く、次いで、60 歳代（27.0%）、20 歳代（26.8%）の順で高くなっている。「芸術・文化・スポーツ」は、10 歳代（40.9%）が最も高く、次いで 20 歳代（36.6%）の割合が高くなっている。

「自然・環境保全」を居住地区別にみると、遠藤（33.3%）、善行（29.3%）、鵜沼（28.9%）の割合が高くなっている。「芸術・文化・スポーツ」では湘南台（34.7%）、藤沢（29.8%）、片瀬（29.6%）の順となっている。

## (8) ボランティア活動について市に望むこと

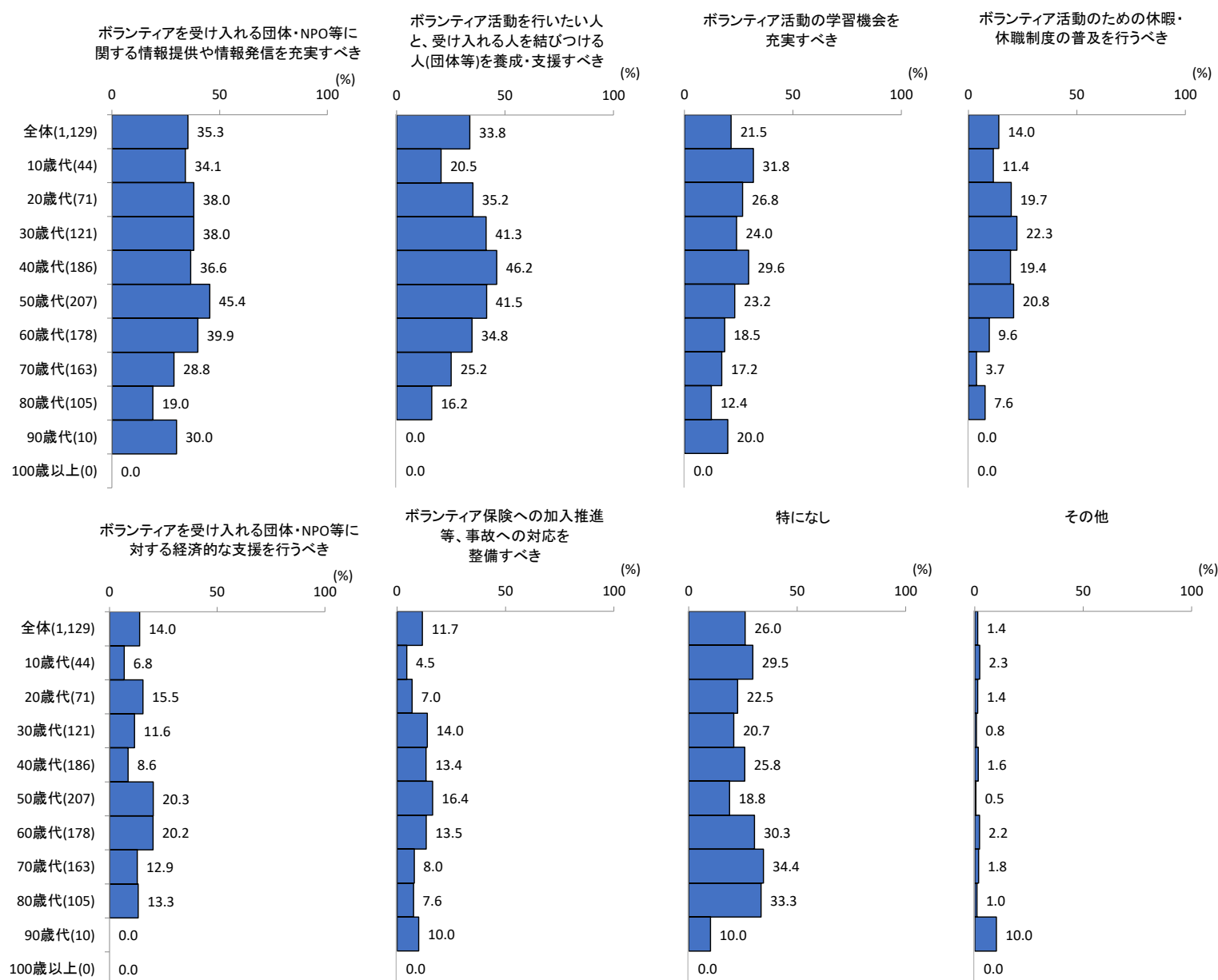
**問3-8 ボランティア活動について、市にどのようなことを望みますか。**  
(あてはまるものすべてに○)

【図表71：ボランティア活動について市に望むこと】



ボランティア活動について市に望むことについては、「ボランティアを受け入れる団体・NPO 等に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が 35.3%と最も高くなっている。次いで、「ボランティア活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」(33.8%)、「ボランティア活動の学習機会を充実すべき」(21.5%)の順となっている。

【図表72：年齢別／ボランティア活動について市に望むこと】上位8項目



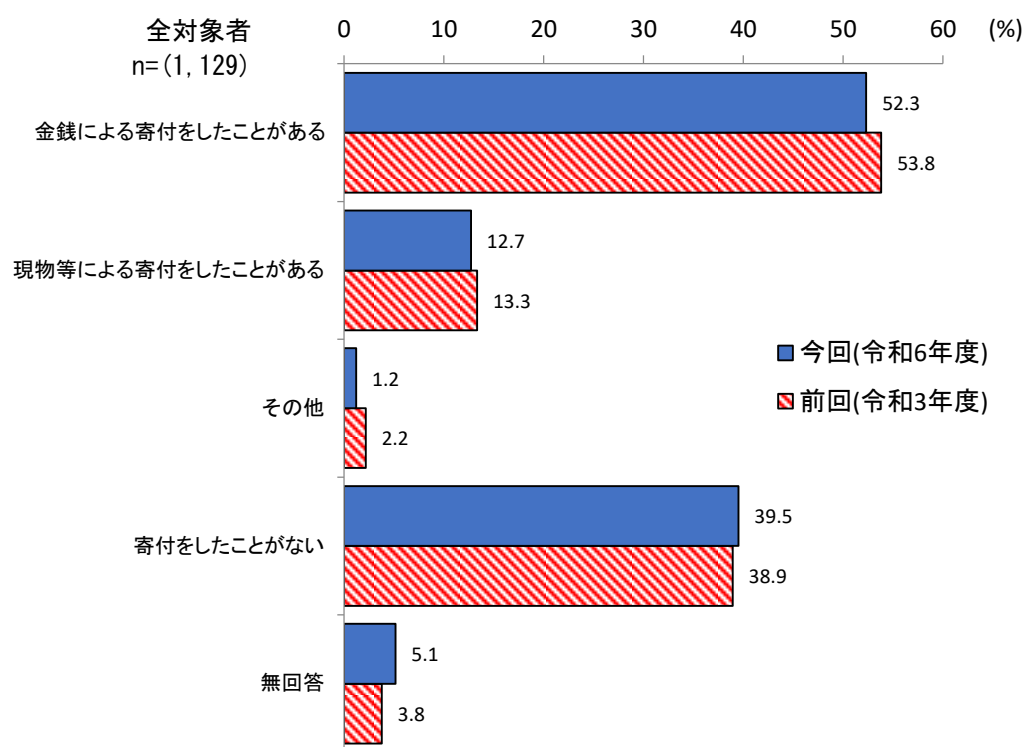
「ボランティアを受け入れる団体・NPO等に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を年齢別でみると、50歳代が45.4%と最も高く、次いで、60歳代(39.9%)、20歳代(38.0%)、30歳代(38.0%)の割合が高くなっている。「ボランティア活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、40歳代が46.2%と最も高く、50歳代(41.5%)と30歳代(41.3%)も4割以上となっている。

## 5. 寄付について

### (1) 寄付経験の有無

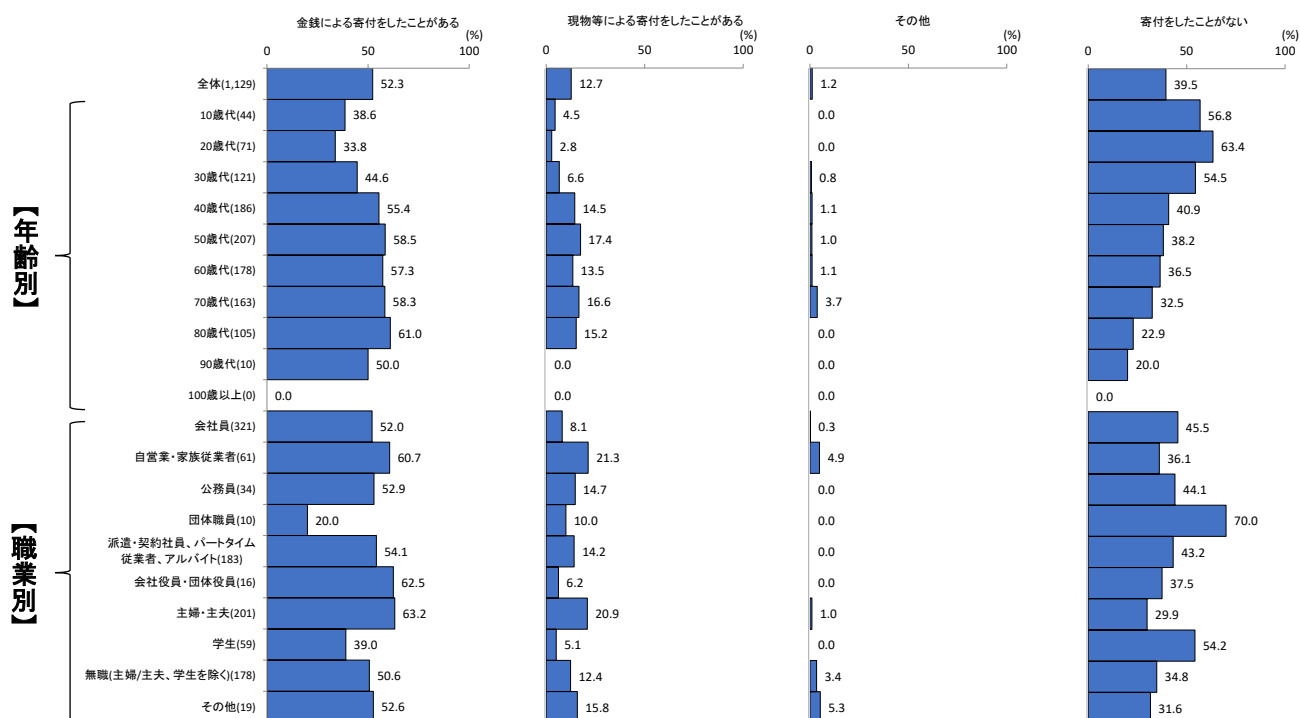
問4－1 あなたは寄付（募金、現物寄付等）をしたことがありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

【図表73：寄付経験の有無】



寄付経験の有無については、「金銭による寄付をしたことがある」が 52.3%で、前回調査（令和 3 年度）の 53.8%より 1.5 ポイント減っている。また、「現物等による寄付をしたことがある」は 12.7%で、こちらも前回調査（令和 3 年度）の 13.3%より 0.6 ポイント減っている。

【図表7-4：年齢別・職業別／寄付経験の有無】上位4項目

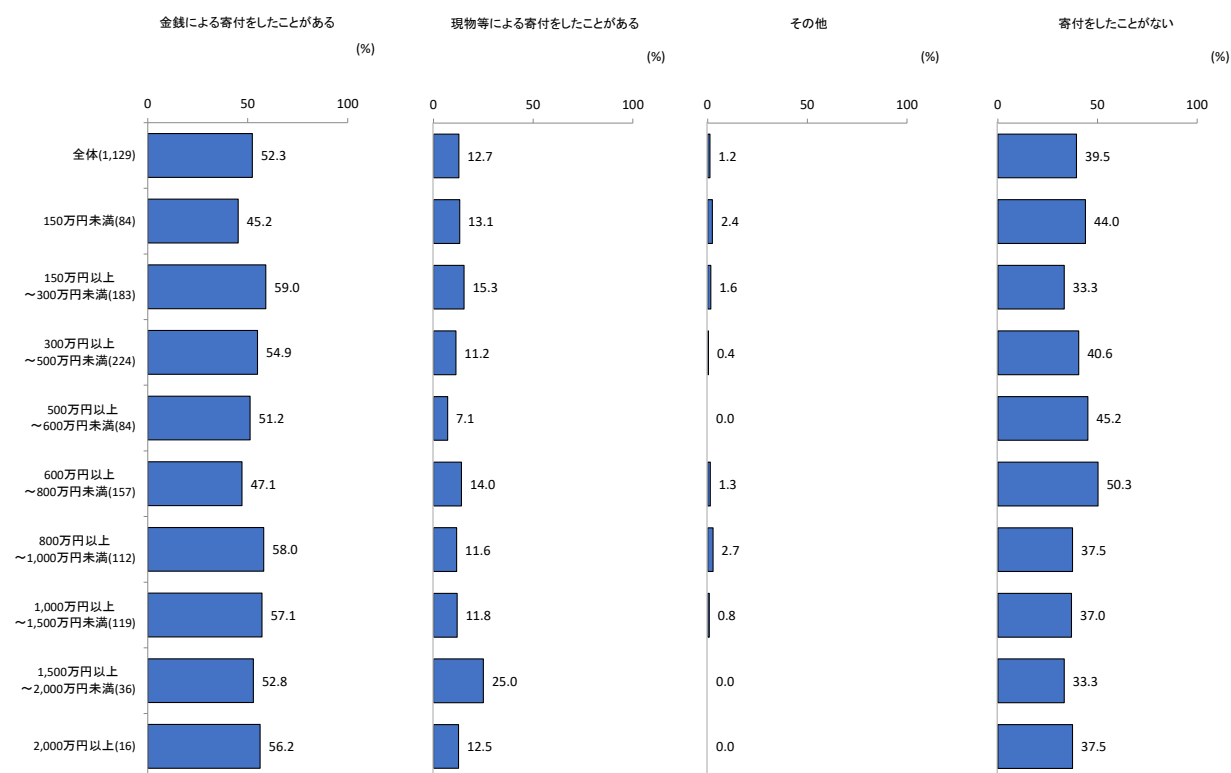


「金銭による寄付をしたことがある」を年齢別にみると、80 歳代（61.0%）が最も高くなっている。

「金銭による寄付をしたことがある」を職業別にみると、主婦・主夫（63.2%）が最も高い。

一方、「寄付をしたことがない」は、20 歳代（63.4%）、10 歳代（56.8%）などの割合が高い。

【図表7-5：年収区分別／寄付経験の有無】上位4項目



「金銭による寄付をしたことがある」を年収区分別にみると、「150 万円以上～300万円未満」が59.0%と最も高くなっている。

## (2) 令和5年度に寄付した金額、回数、現物を寄付した回数

【問4-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

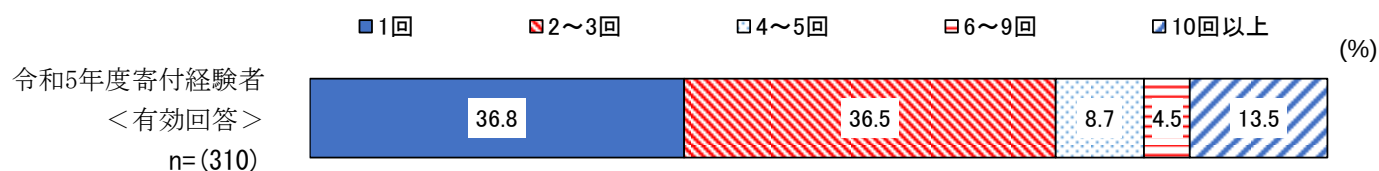
問4-2 令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）に寄付をした金額（金銭による寄付のみ）、金銭による寄付をした回数、現物等による寄付をした回数をご記入ください。

【図表76：個人の年間寄付金額】



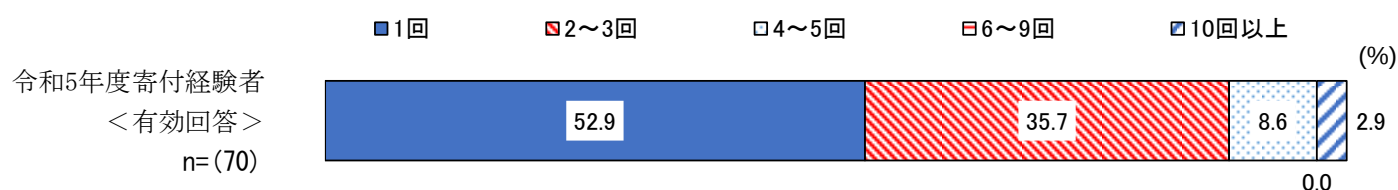
個人の年間寄付金額は、「1～4,999円」が46.3%と最も高く、次いで「10,000～49,999円」(27.8%)、「100,000円以上」(9.6%)、「50,000～99,999円」(9.0%)、「5,000～9,999円」(7.5%)、となっている。

【図表77：個人の年間寄付金額年間金銭寄付回数】



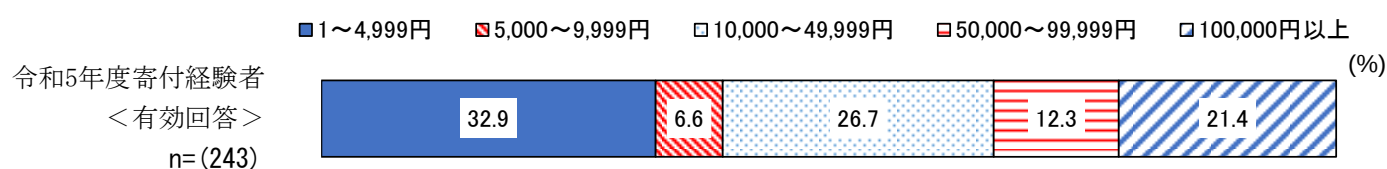
個人の年間金銭寄付回数については、「1回」が36.8%と最も高く、次いで「2～3回」(36.5%)、「10回以上」(13.5%)、「4～5回」(8.7%)、「6～9回」(4.5%)となっている。

【図表 7 8 : 個人の年間現物等寄付回数】



年間現物等寄付回数については、「1 回」が 52.9%と最も高く、次いで「2～3 回」 (35.7%)、「4～5 回」 (8.6%)、「10 回以上」 (2.9%)、「6～9 回」 (0.0%) となっている。

【図表 7 9 : 世帯全体の年間寄付金額】

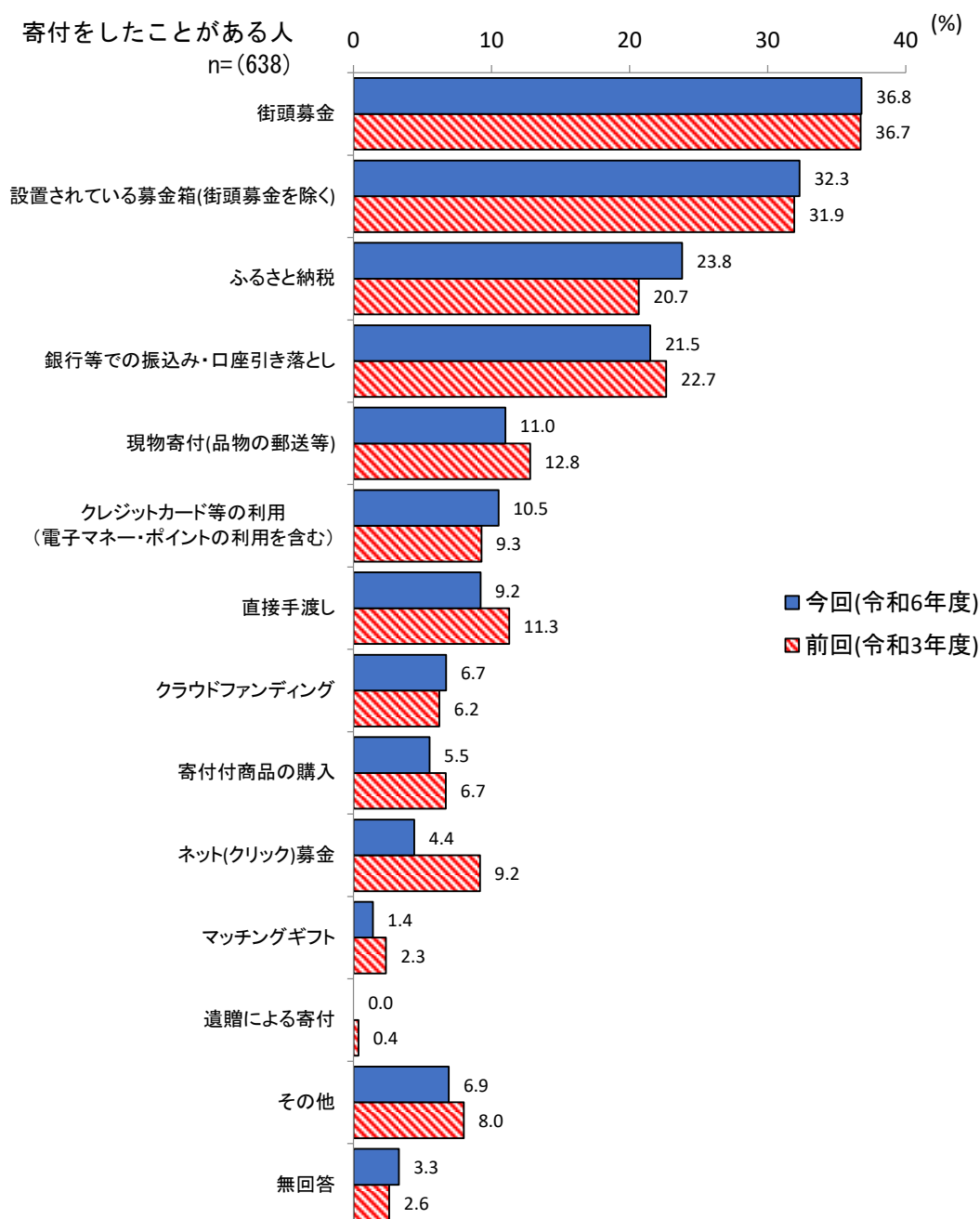


世帯全体の年間の寄付金額は、「1～4,999 円」が 32.9%と最も高く、次いで「10,000～49,999 円」 (26.7%)、「100,000 円以上」 (21.4%)、「50,000～99,999 円」 (12.3%)、「5,000～9,999 円」 (6.6%) となっている。

### (3) 寄付を行った方法

【問4-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】  
 問4-3 あなたが、寄付を行った方法は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

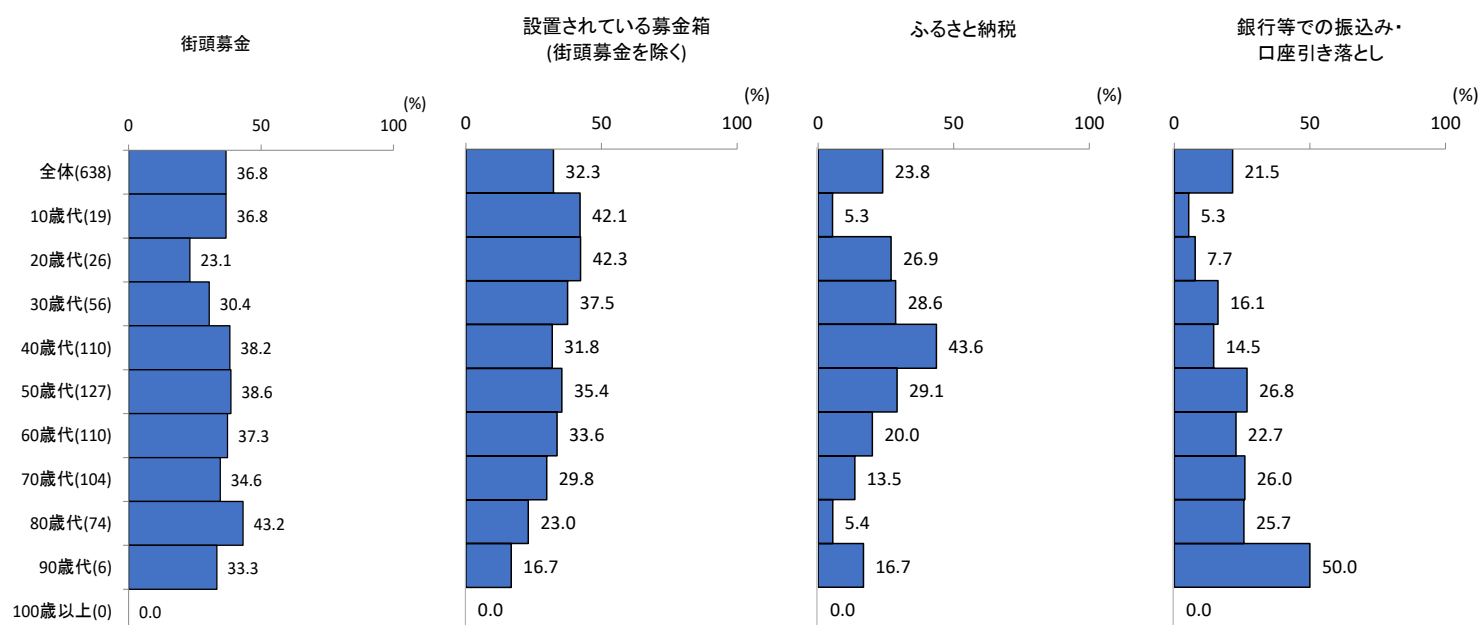
【図表80：寄付を行った方法】



寄付を行った方法については、「街頭募金」が 36.8%と最も高く、次いで、「設置されている募金箱（街頭募金を除く）」（32.3%）、「ふるさと納税」（23.8%）の順となっている。

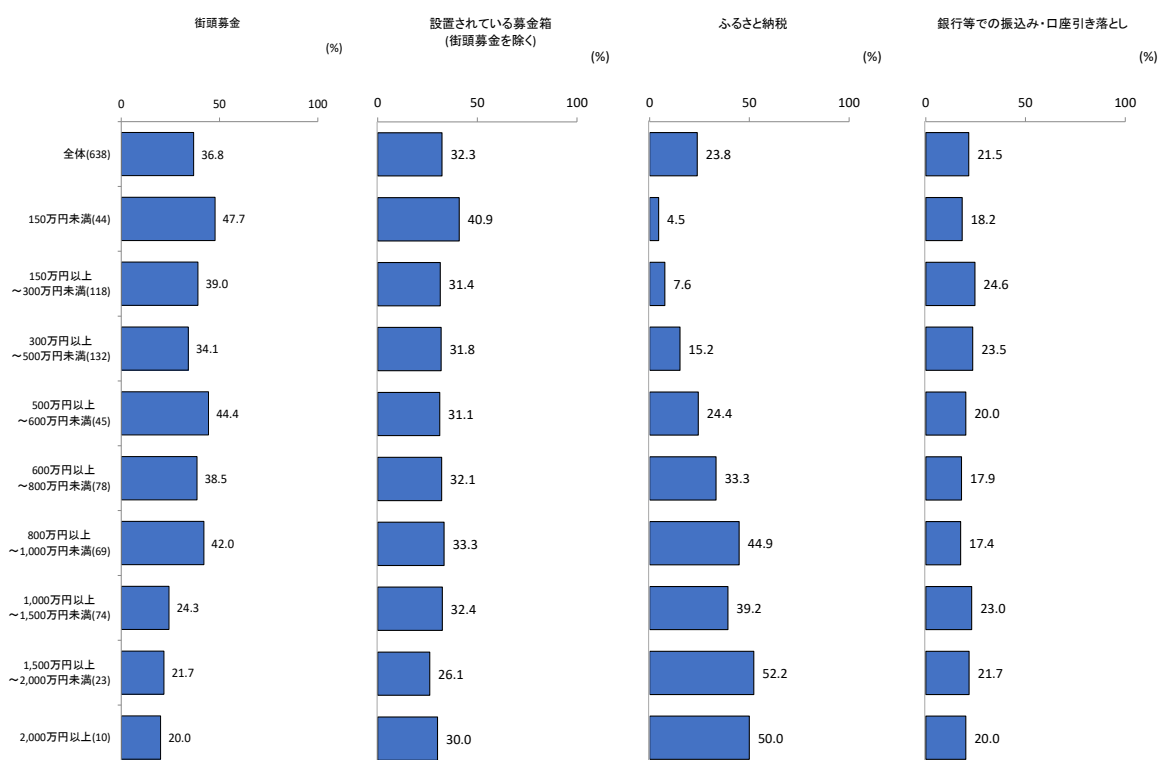
前回調査（令和3年度）と比べると、「現物寄付(品物の郵送等)」「直接手渡し」などの割合が減り、「ふるさと納税」「クレジットカード等の利用（電子マネー・ポイントの利用を含む）」などが増えている。

【図表 8 1：年齢別／寄付を行った方法】上位4項目



「街頭募金」を年齢別にみると、80 歳代が43.2%と最も高くなっている。「設置されている募金箱(街頭募金を除く)」は、20 歳代で 42.3%、10 歳代で 42.1%で 4 割以上となっている。一方、「ふるさと納税」は40 歳代が 43.6%と最も高くなっている。

【図表 8 2：年収区分別／寄付を行った方法】上位4項目



「街頭募金」を年収区分別にみると、「150 万円未満」(47.7%) が最も高く、次いで「500 万円以上～600万円未満」(44.4%)、「800 万円以上～1,000 万円未満」(42.0%) が 4 割以上となっている。

「設置されている募金箱(街頭募金を除く)」は、「150 万円未満」(40.9%)、「800 万円以上～1,000 万円未満」(33.3%)、「1,000 万円以上～1,500 万円未満」(32.4%) の割合が高い。

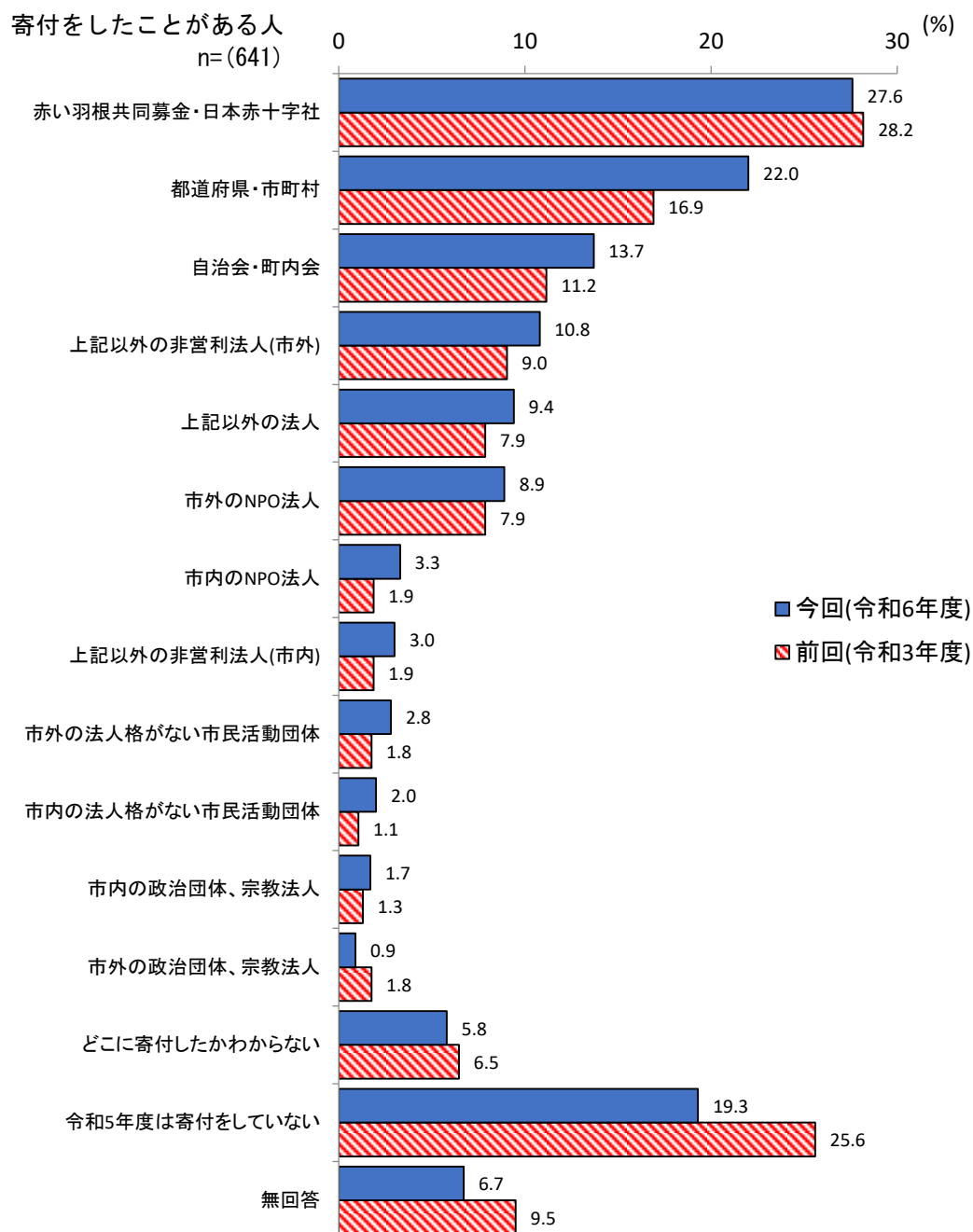
「ふるさと納税」は、「1,500 万円以上～2,000 万円未満」が 52.2%と最も高くなっている。

#### (4) 令和5年度に寄付をした団体

【問4-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

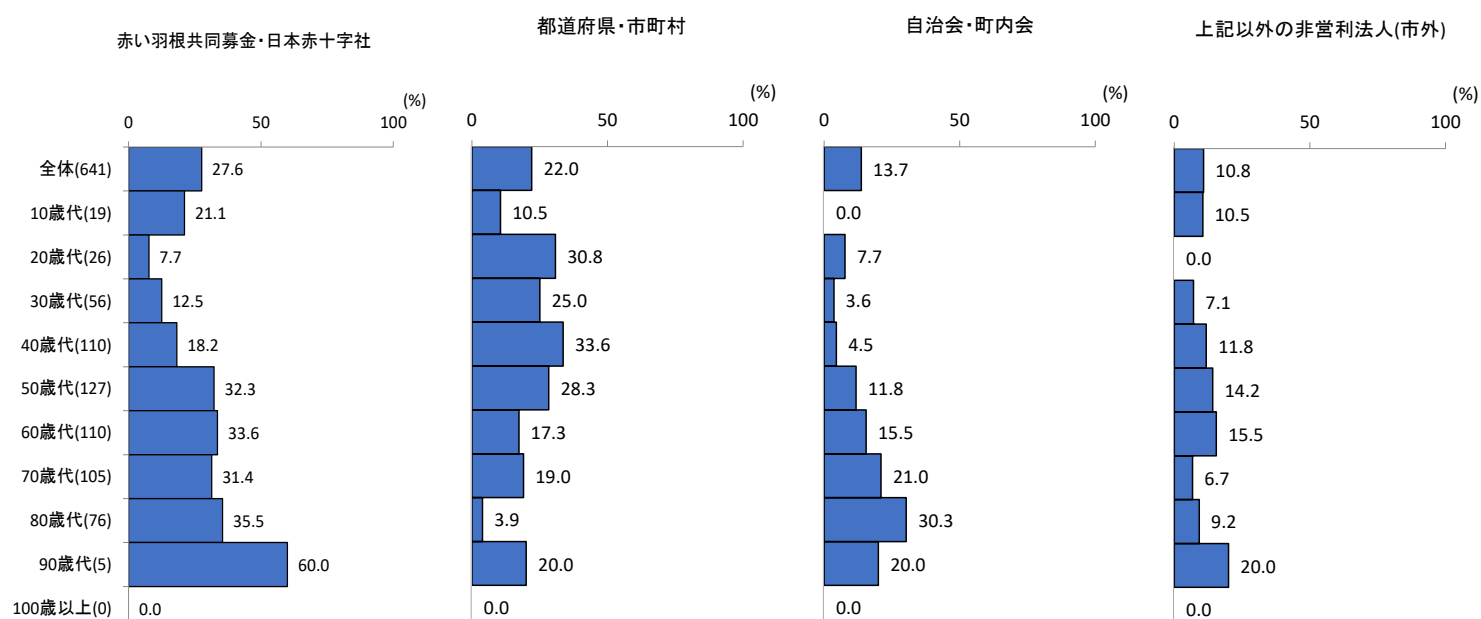
問4-4 あなたが、令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）に寄付をした団体はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

【図表83：令和5年度に寄付をした団体】



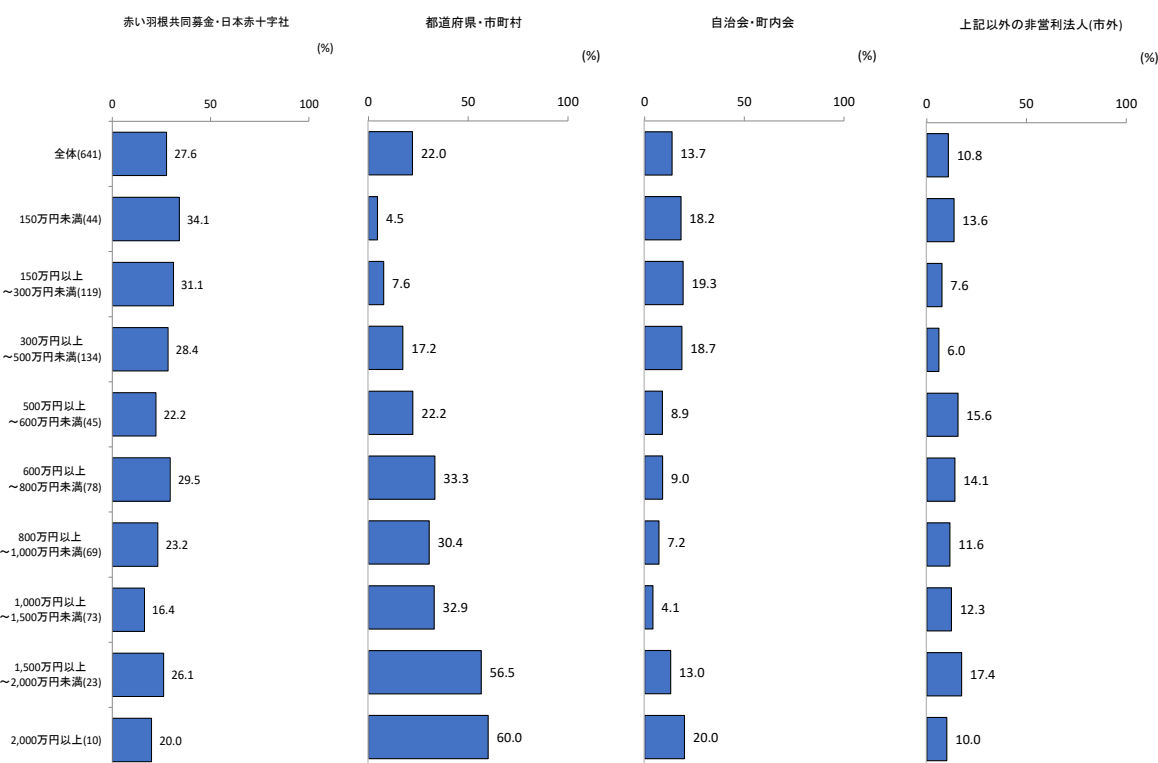
令和5年度に寄付をした団体については、「赤い羽根共同募金・日本赤十字社」が27.6%と最も高く、次いで、「都道府県・市町村」（22.0%）、「自治会・町内会」（13.7%）の順となっている。

【図表84：年齢別／令和5年度に寄付をした団体】上位4項目



「赤い羽根共同募金・日本赤十字社」を年齢別にみると、90歳代が60.0%と最も高く、次いで、80歳代(35.5%)、60歳代(33.6%)となっている。「都道府県・市町村」は、40歳代が33.6%と最も高く、次いで、20歳代(30.8%)、50歳代(28.3%)となっている。「自治会・町内会」は、80歳代(30.3%)および70歳代(21.0%)で割合が高くなっている。

【図表85：年収区分別／令和5年度に寄付をした団体】上位4項目



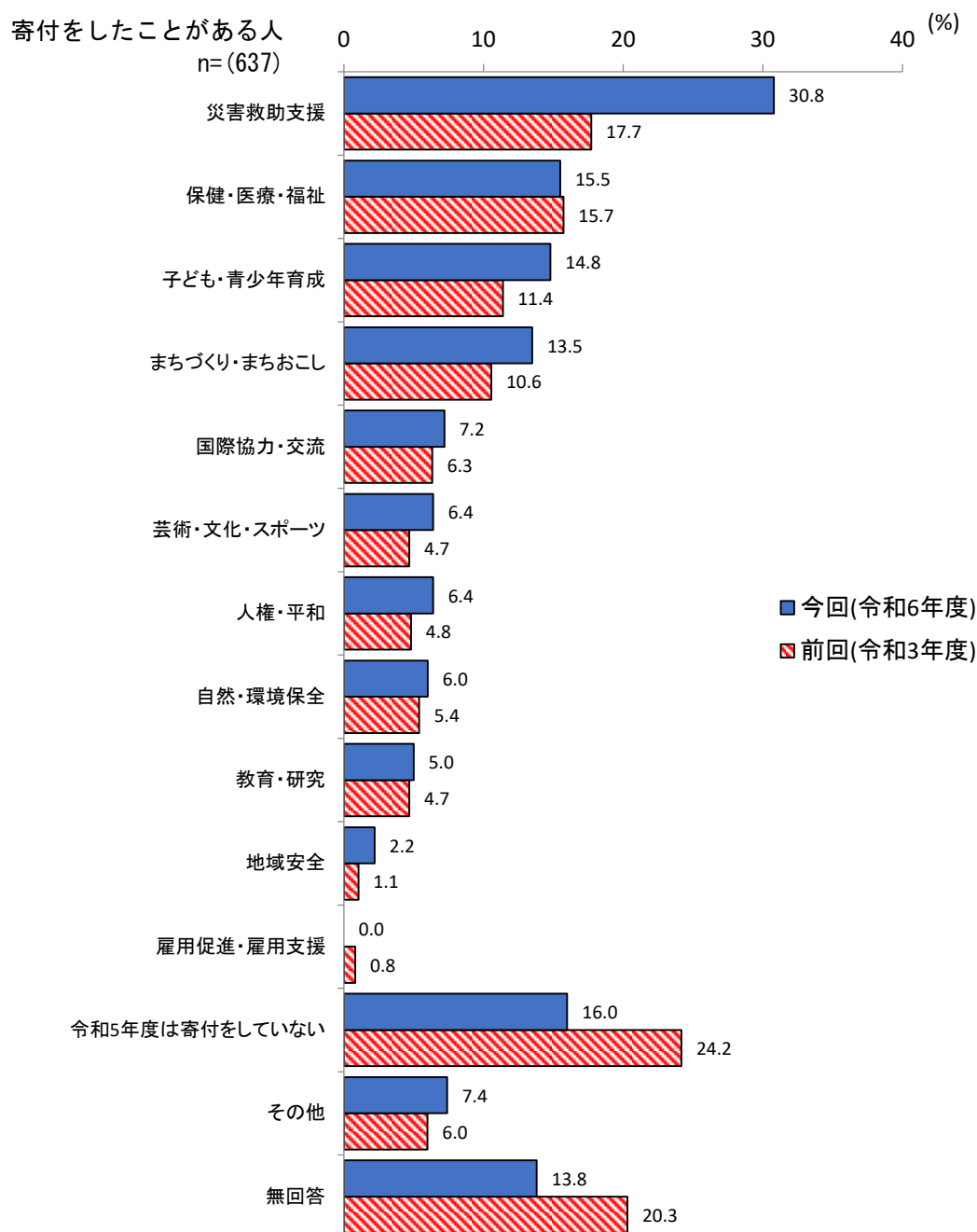
「赤い羽根共同募金・日本赤十字社」を年収区分別にみると、「150万円未満」(34.1%)が最も高く、次いで「150万円以上～300万円未満」(31.1%)で3割を超えている。「都道府県・市町村」は、「2,000万円以上」が60.0%と最も高い一方、「自治会・町内会」では「150万円以上～300万円未満」が19.3%と最も高くなっている。

# (5) 令和5年度に寄付をした分野

【問4-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

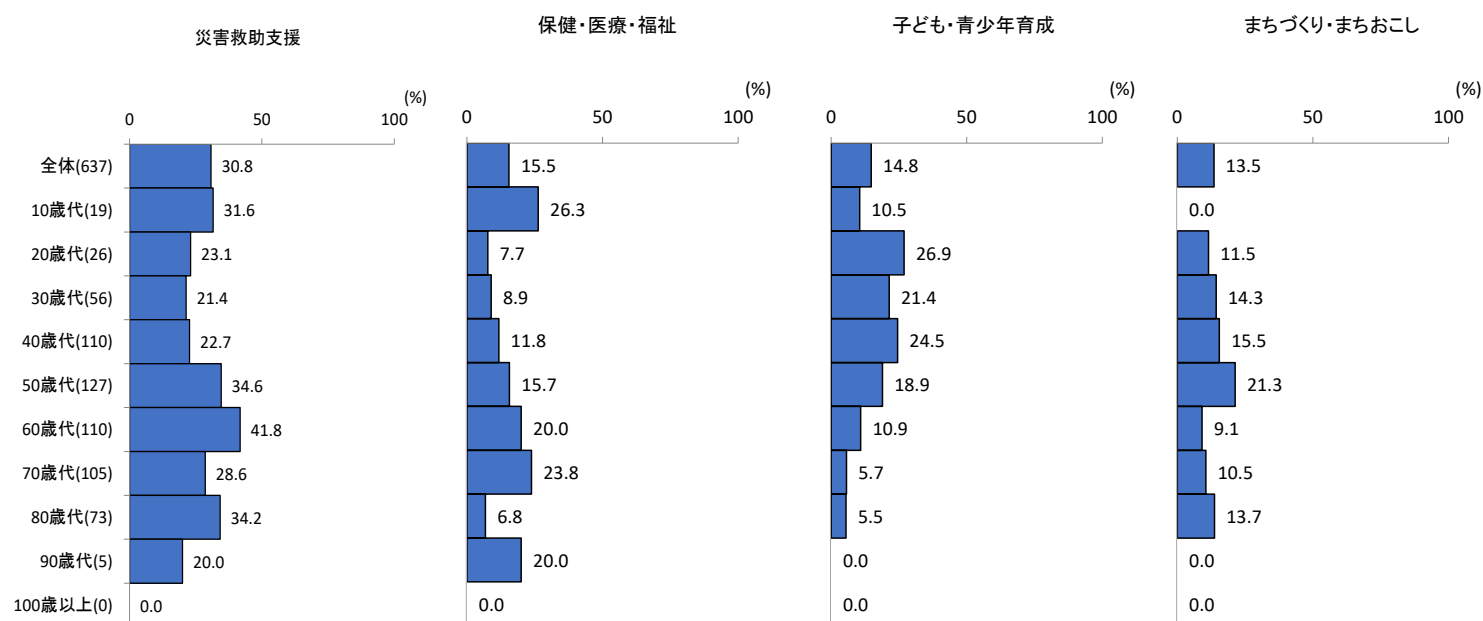
問4-5 あなたが、令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）に寄付をした分野はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

【図表86：令和5年度に寄付をした分野】



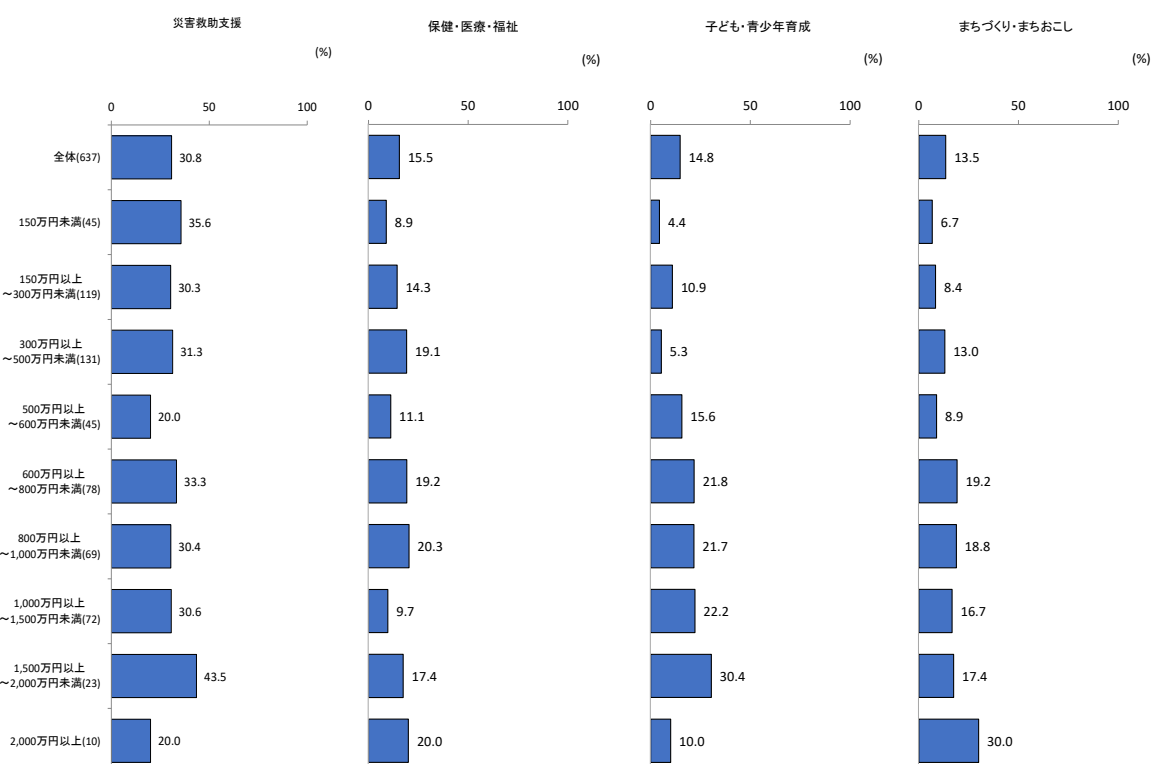
令和5年度に寄付をした分野については、「災害救助支援」が30.8%と最も高く、次いで、「保健・医療・福祉」（15.5%）、「子ども・青少年育成」（14.8%）、「まちづくり・まちおこし」（13.5%）の順となっている。

【図表87：年齢別／令和5年度に寄付をした分野】上位4項目



「災害救助支援」を年齢別にみると、60歳代（41.8%）が他の年代に比べてやや高くなっている。「保健・医療・福祉」については、10歳代の割合が26.3%と高く、「子ども・青少年育成」では、20歳代（26.9%）、「まちづくり・まちおこし」では50歳代（21.3%）が最も高くなっている。

【図表88：年収区分別／令和5年度に寄付をした分野】上位4項目



「災害救助支援」を年収区分別にみると、「1,500万円以上～2,000万円未満」が43.5%と最も高く、次いで、「150万円未満」（35.6%）、「600万円以上～800万円未満」（33.3%）となっている。

「保健・医療・福祉」では、「800万円以上～1,000万円未満」（20.3%）や「2,000万円以上」（20.0%）、「600万円以上～800万円未満」（19.2%）の割合が高くなっている。

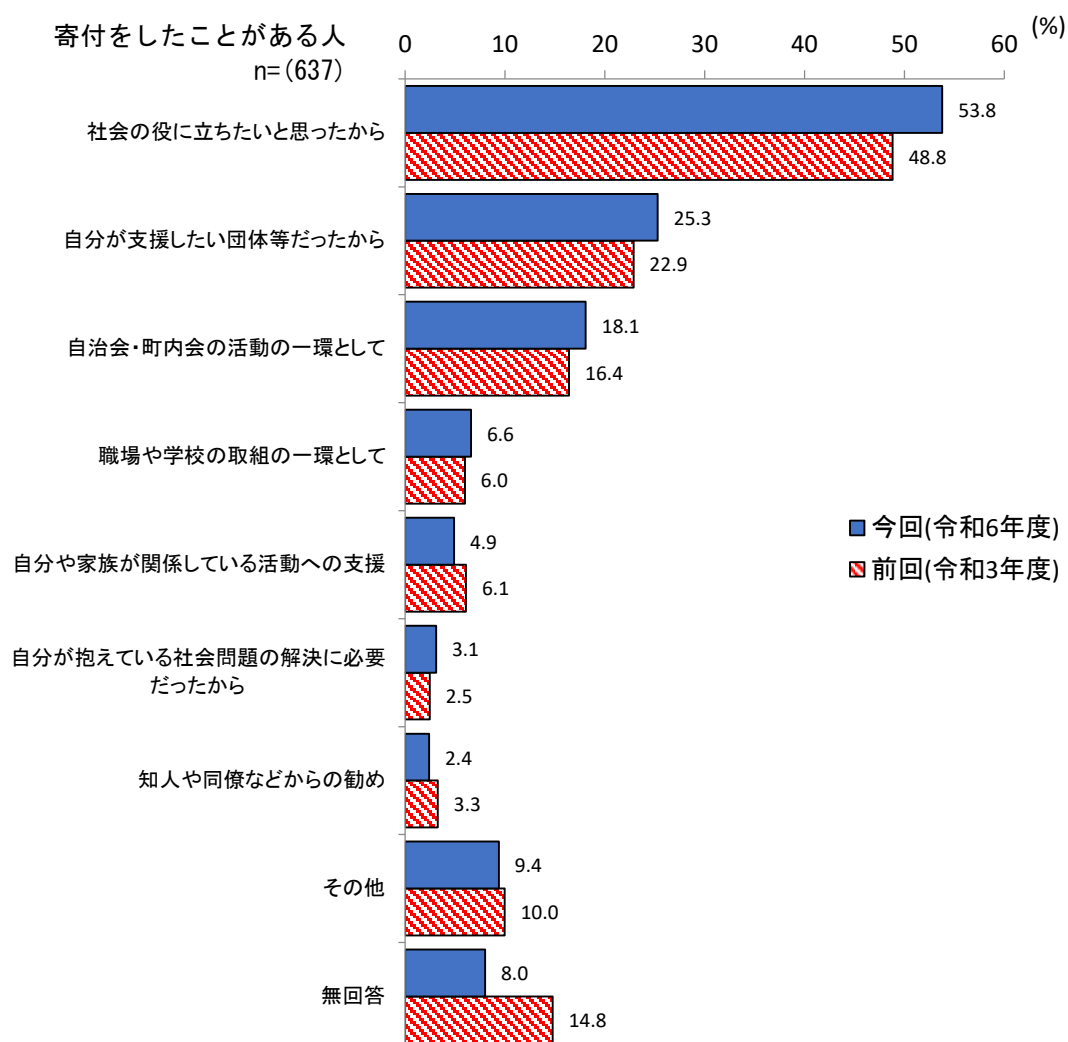
「子ども・青少年育成」では「1,500万円以上～2,000万円未満」が30.4%、「まちづくり・まちおこし」では「2,000万円以上」が30.0%と最も高くなっている。

## (6) 寄付をした理由

【問4-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問4-6 あなたが寄付をした理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

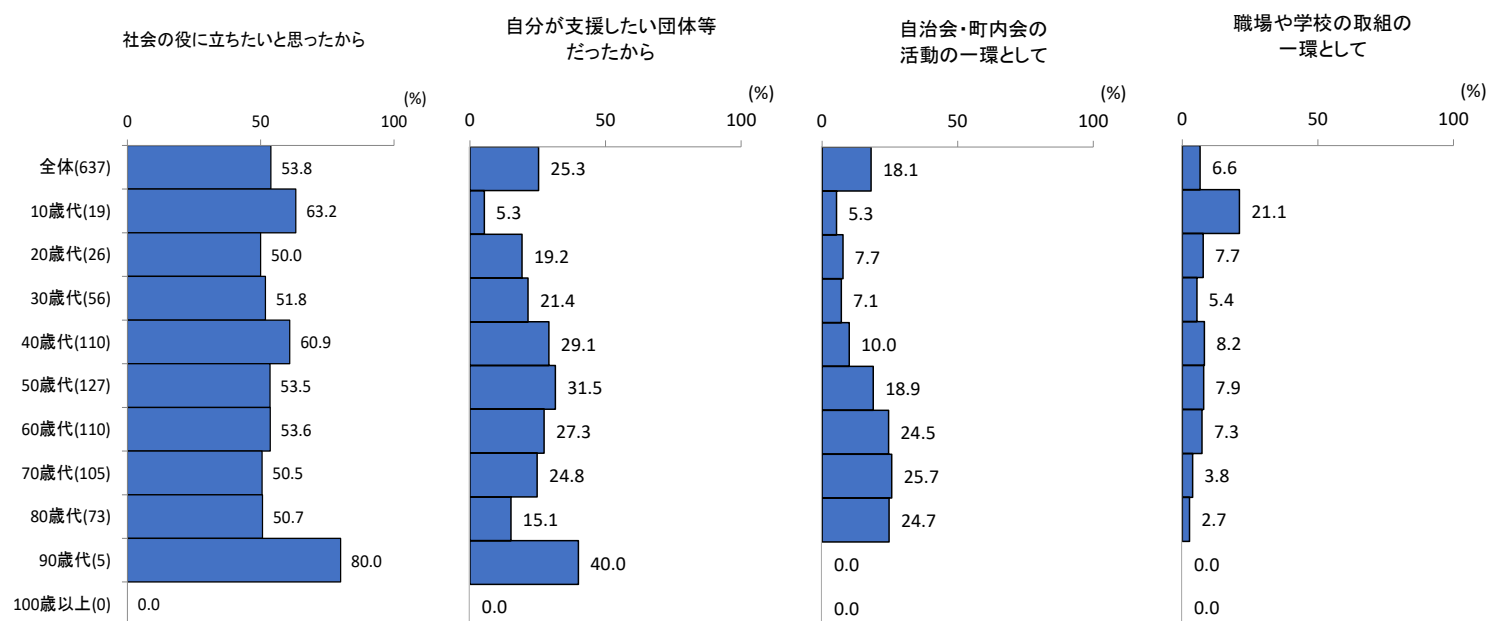
【図表89：寄付をした理由】



寄付をした理由については、「社会の役に立ちたいと思ったから」が 53.8%と最も高くなっており、前回調査（令和3年度）の 48.8%より 5.0 ポイント上がっている。

続いて割合が高いのは、「自分が支援したい団体等だったから」（25.3%）、「自治会・町内会の活動の一環として」（18.1%）の順となっている。

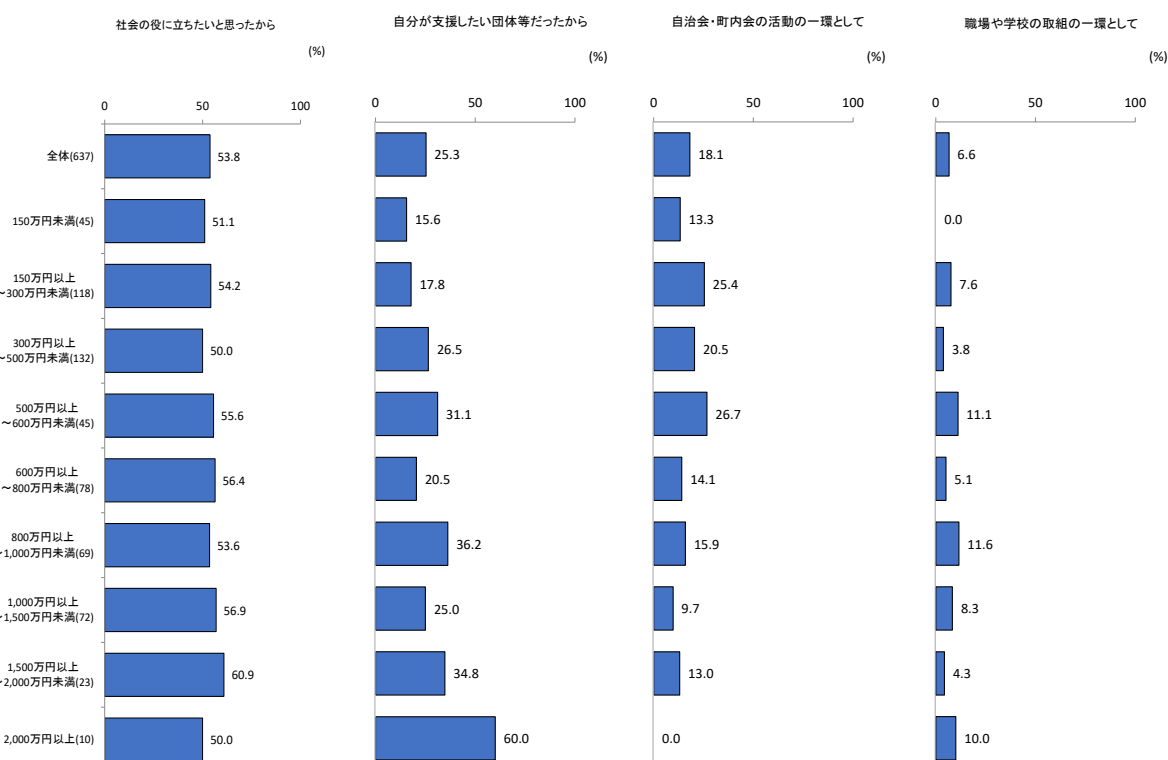
【図表90：年齢別／寄付をした理由】上位4項目



「社会の役に立ちたいと思ったから」を年齢別にみると、90 歳代（80.0%）と最も高く、次いで 10 歳代（63.2%）、40 歳代（60.9%）の順となっている。

また、「自分が支援したい団体等だったから」については、90 歳代（40.0%）が最も高く、次いで 50 歳代（31.5%）、40 歳代（29.1%）となっている。

【図表91：年収区分別／寄付をした理由】上位4項目



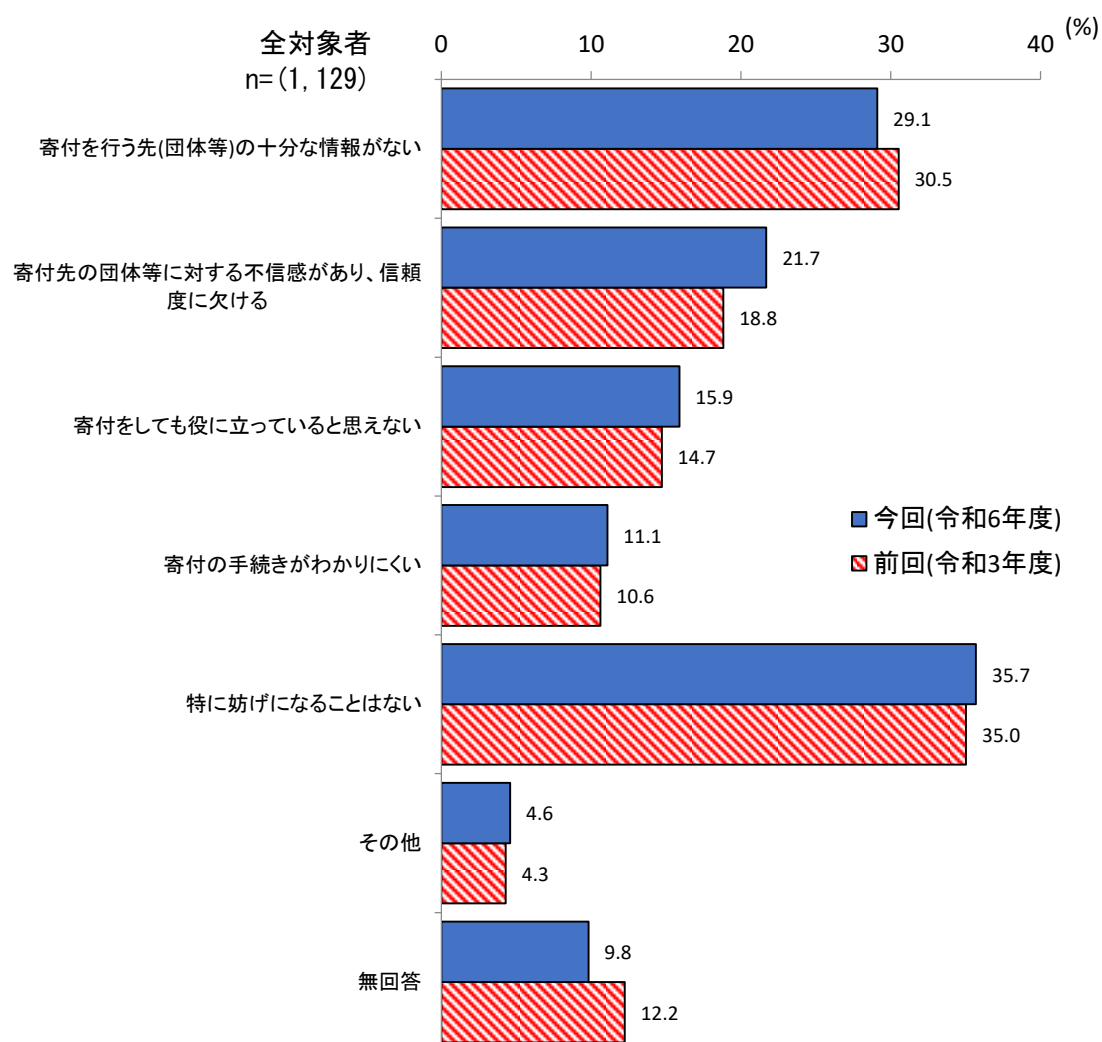
「社会の役に立ちたいと思ったから」を年収区分別にみると、「1,500 万円以上～2,000 万円未満」が 60.9%と最も高く、次いで「1,000 万円以上～1,500 万円未満」（56.9%）、「600 万円以上～800 万円未満」（56.4%）の順となっている。

「自分が支援したい団体等だったから」では、「2,000 万円以上」（60.0%）や「800 万円以上～1,000 万円未満」（36.2%）、「1,500 万円以上～2,000 万円未満」（34.8%）の割合が高くなっている。

(7) 寄付をするにあたり妨げとなること

問4-7 あなたが寄付をするにあたり妨げになることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

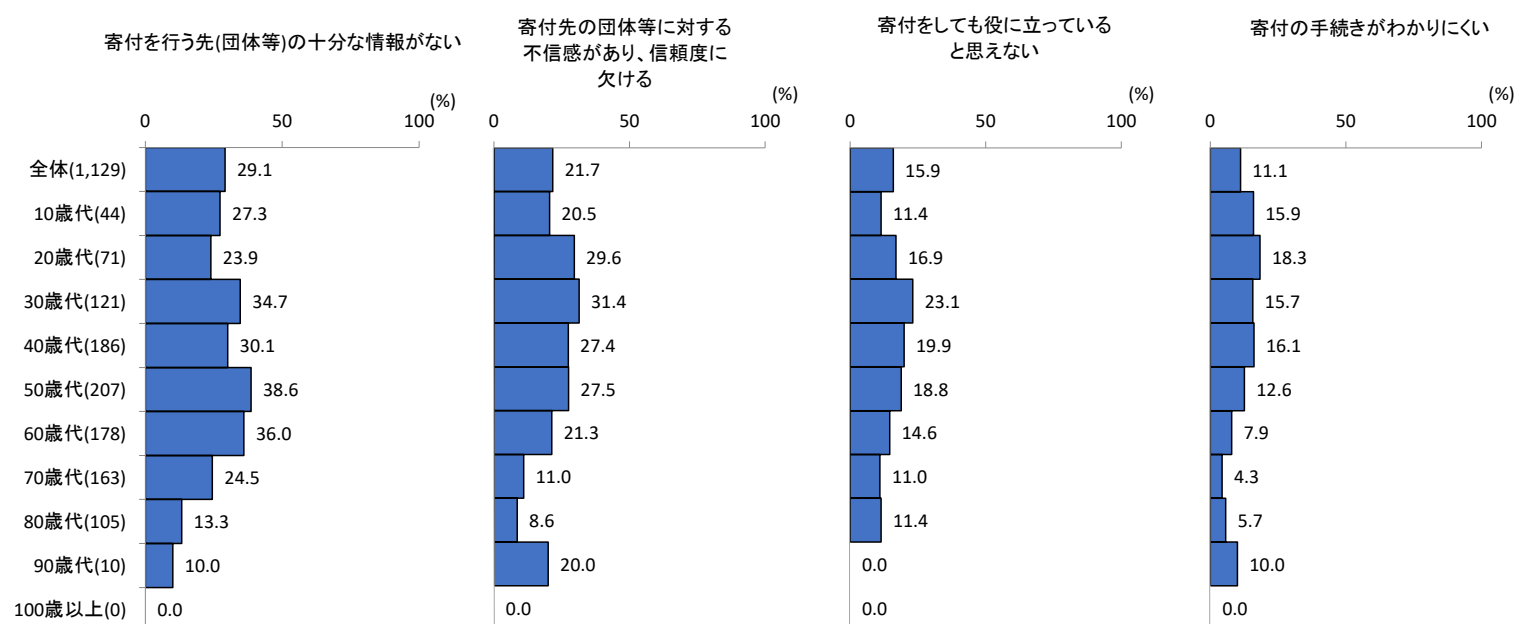
【図表9-2：寄付をするにあたり妨げとなること】



寄付をするにあたり妨げとなることについては、「寄付を行う先(団体等)の十分な情報がない」が29.1%、次いで「寄付先の団体等に対する不信感があり、信頼度に欠ける」(21.7%)、「寄付をしても役に立っていると思えない」(15.9%)、「寄付の手続きがわかりにくい」(11.1%)の順となっている。

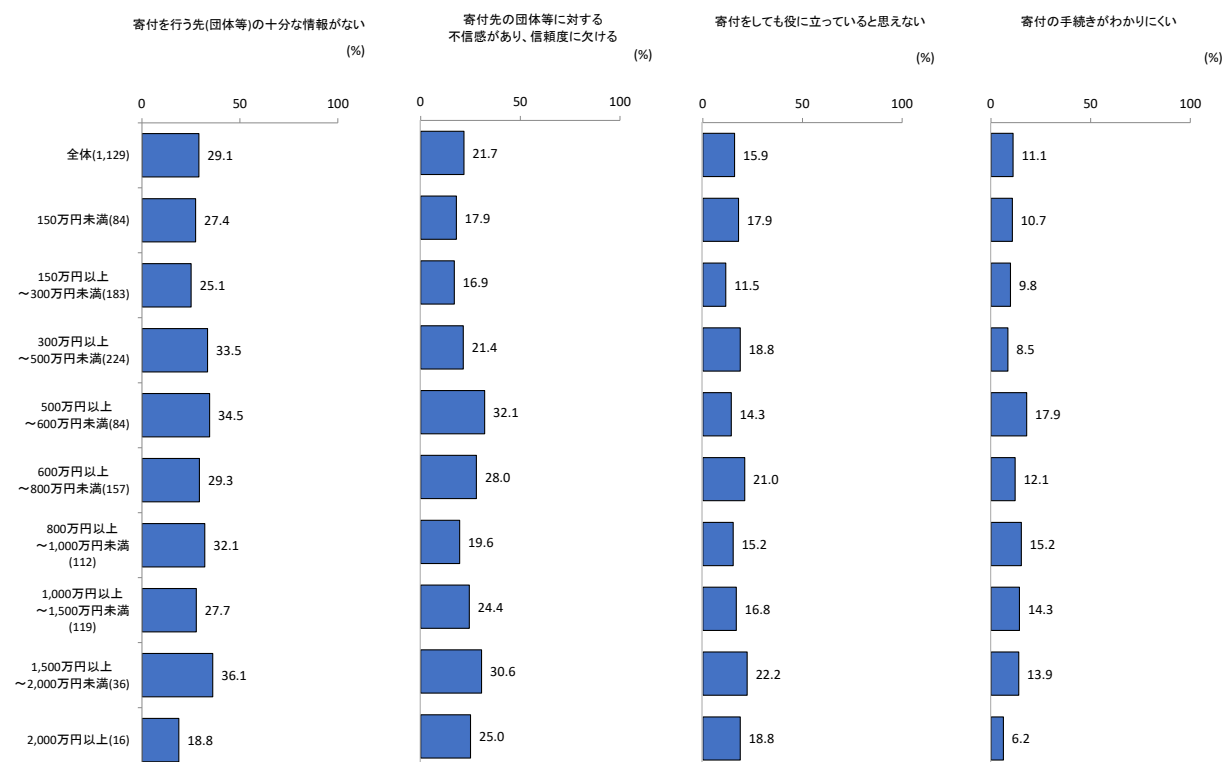
なお、「特に妨げになることはない」と回答した人は35.7%となっている。

【図表93：年齢別／寄付をするにあたり妨げとなること】上位4項目



「寄付を行う先(団体等)の十分な情報がない」を年齢別にみると、50歳代が38.6%と最も高く、次いで60歳代(36.0%)、30歳代(34.7%)、40歳代(30.1%)が3割を超えている。「寄付先の団体等に対する不信感があり、信頼度に欠ける」は、30歳代が31.4%と最も高くなっている。

【図表94：年収区分別／寄付をするにあたり妨げとなること】上位4項目



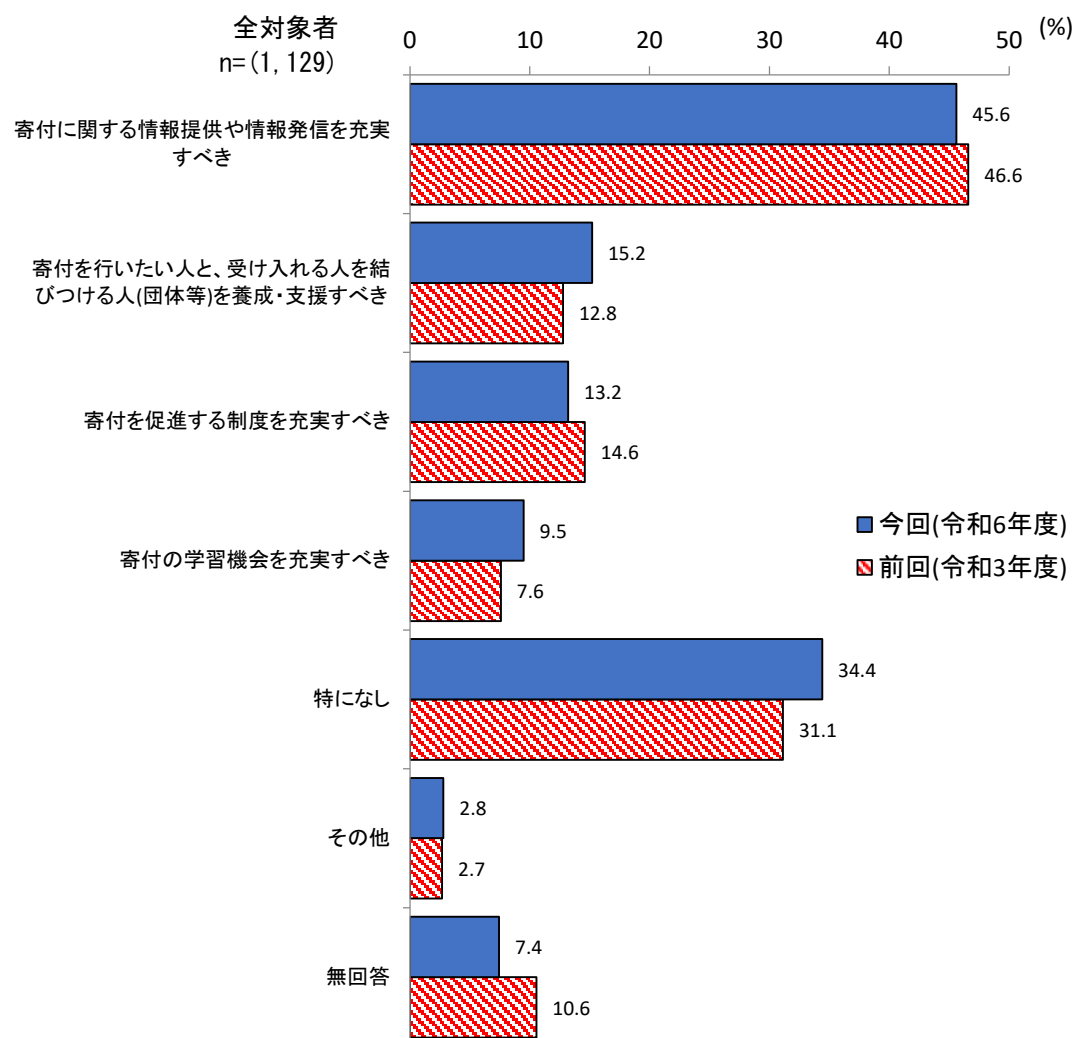
「寄付を行う先(団体等)の十分な情報がない」を年収区分別にみると、「1,500万円以上～2,000万円未満」が36.1%と最も高く、他の年収区分においても概ね3割前後となっている。

「寄付先の団体等に対する不信感があり、信頼度に欠ける」は、「500万円以上～600万円未満」が32.1%と最も高く、次いで「1,500万円以上～2,000万円未満」(30.6%)が3割を超えている。

# (8) 寄付促進のために市に望むこと

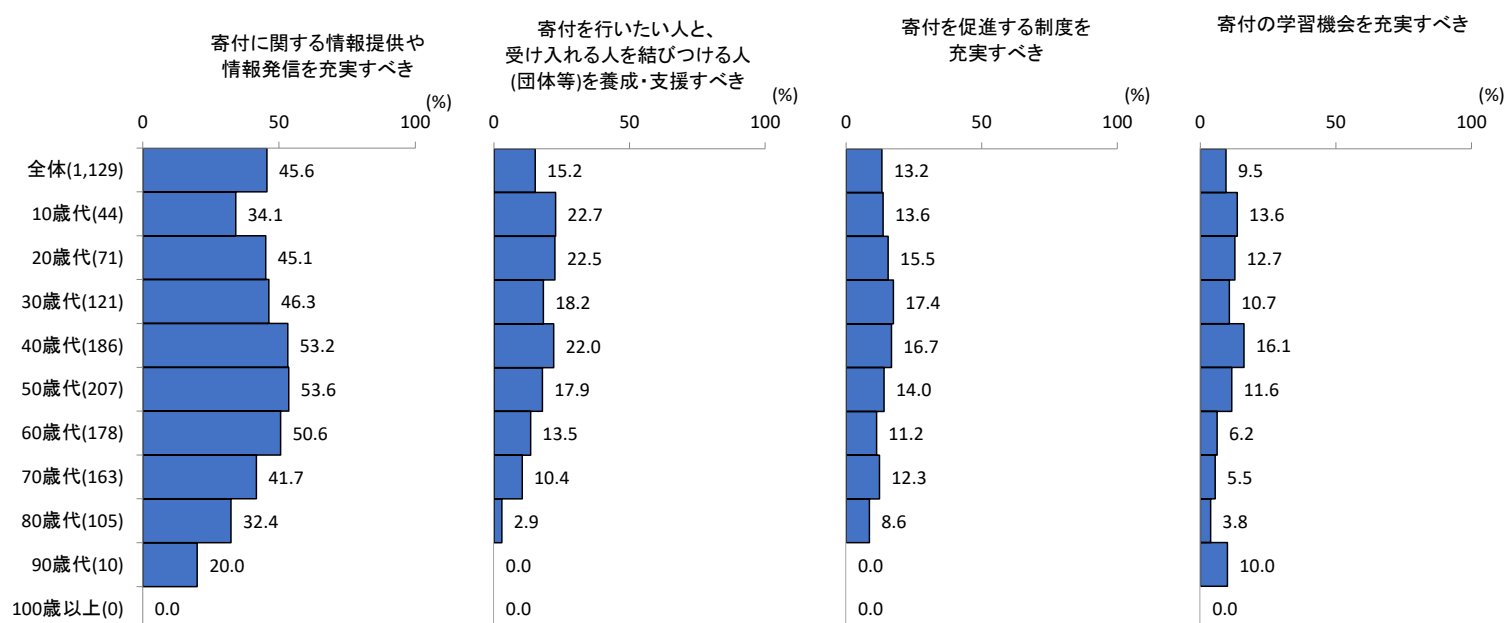
問4－8 寄付促進のために、市にどのようなことを望みますか。  
(あてはまるものすべてに○)

【図表95：寄付促進のために市に望むこと】



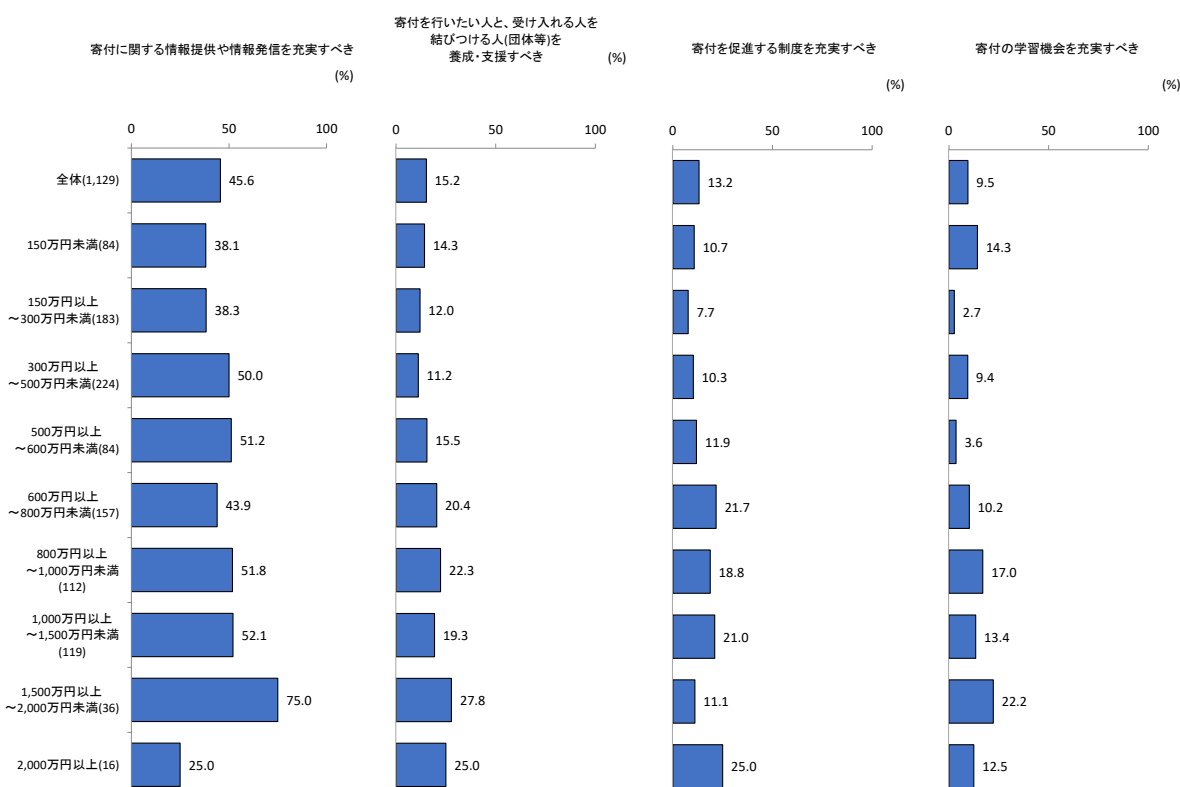
寄付促進のために市に望むことについては、「寄付に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が45.6%と最も高く、次いで「寄付を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」(15.2%)、「寄付を促進する制度を充実すべき」(13.2%)、「寄付の学習機会を充実すべき」(9.5%)の順となっている。なお、「特になし」と回答した人は34.4%となっている。

【図表9-6：年齢別／寄付促進のために市に望むこと】上位4項目



「寄付に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を年齢別にみると、20～60 歳代が 5 割前後と高くなっている。「寄付を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、10 歳代 (22.7%)、20 歳代 (22.5%)、40 歳代 (22.0%) が 2 割を超えている。

【図表9-7：年収区分別／寄付促進のために市に望むこと】上位4項目



「寄付に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を年収区分別にみると、「1,500 万円以上～2,000 万円未満」が 75.0%と最も高く、次いで、「1,000 万円以上～1,500 万円未満」(52.1%)「800 万円以上～1,000 万円未満」(51.8%)の順となっている。

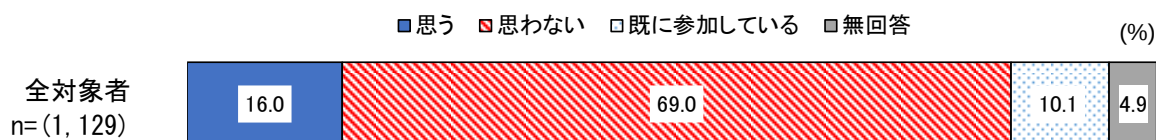
「寄付を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、「1,500 万円以上～2,000 万円未満」が 27.8%と最も高くなっている。

## 6. その他

## (1) 新型コロナウイルスによる地域活動や市民活動への影響

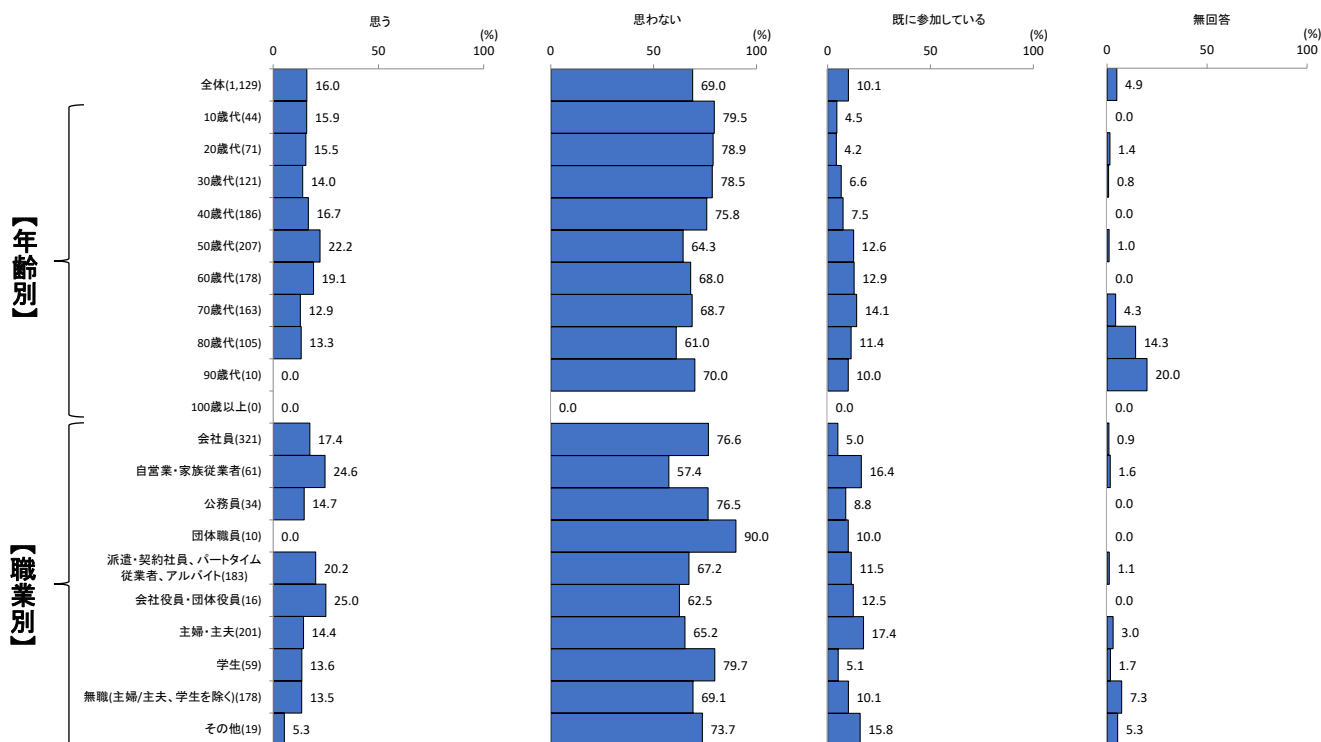
**問5-1 新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化をきっかけに、地域活動や市民活動などに参加したいと思いますか。（いずれか一つに○）**

【図表98：新型コロナウイルスによる生活様式の変化をきっかけに、地域活動や市民活動などに参加したいと思いますか】



新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけに、地域活動や市民活動などに参加したいと思いますかについては、「思う」が 16.0%、「思わない」が 69.0%となり、7 割近くが「思わない」と答えている。また、「既に参加している」との回答が 10.1%あった。

【図表99：年齢別・職業別／新型コロナウイルスによる生活様式の変化をきっかけに、地域活動や市民活動などに参加したいと思いますか】



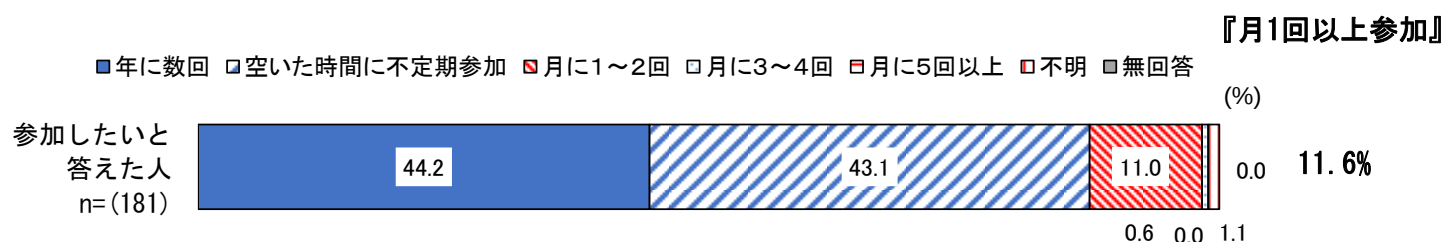
地域活動や市民活動などに参加したいと思いますかの割合を年齢別にみると、「思う」は 50 歳代 (22.2%) が最も高く、その他の年代では 2 割を下回っている。「思わない」は 10～40 歳代で 7 割を超えている。

職業別に見た場合も「思う」が全ての職種で 3 割を下回っている。「思わない」は団体職員が90.0%と最も多く、次いで学生 (79.7%)、会社員 (76.6%)、公務員 (76.5%)、その他 (73.7%) が 7 割を超えている。

【問5-1で「1. 思う」に○をつけた方にお聞きします】

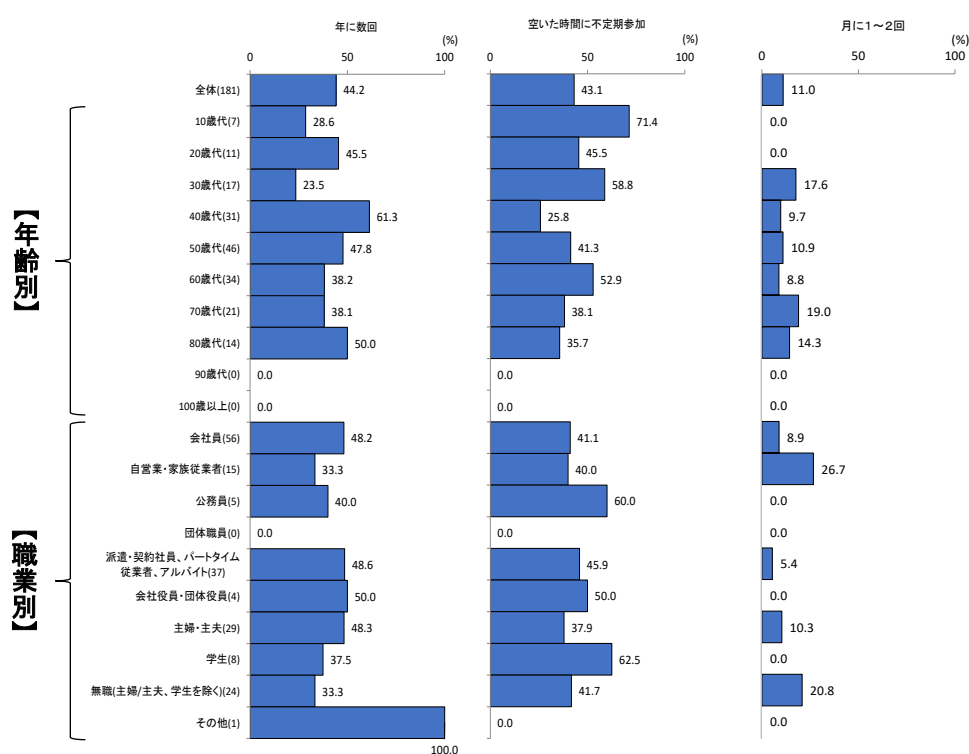
問5-2 どれくらいの頻度で参加したいと思いますか。(いずれか一つに○)

【図表100：地域活動や市民活動にどれくらいの頻度で参加したいか】



新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけに地域活動や市民活動などに参加したいと答えた方で、月1回以上の頻度で参加したいと思うと回答したのは11.6%だった。その内、「月に1～2回」が11.0%、「月に3～4回」が0.6%、「月に5回以上」が0.0%という結果となった。

【図表101：年齢別・職業別／地域活動や市民活動にどれくらいの頻度で参加したいか】上位3項目

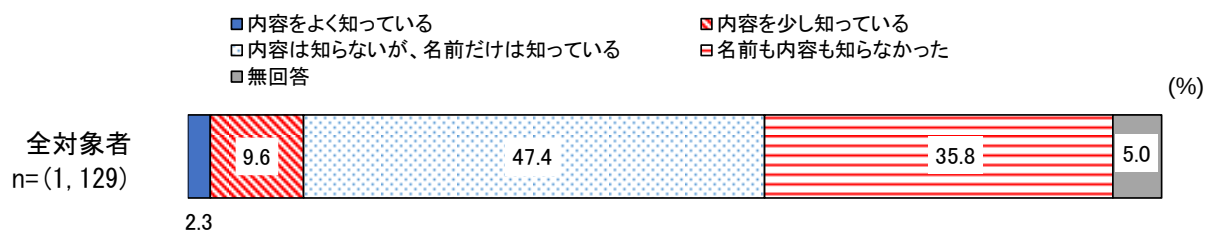


年齢別・職業別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

## (2) 「藤沢市市民憲章」の周知状況

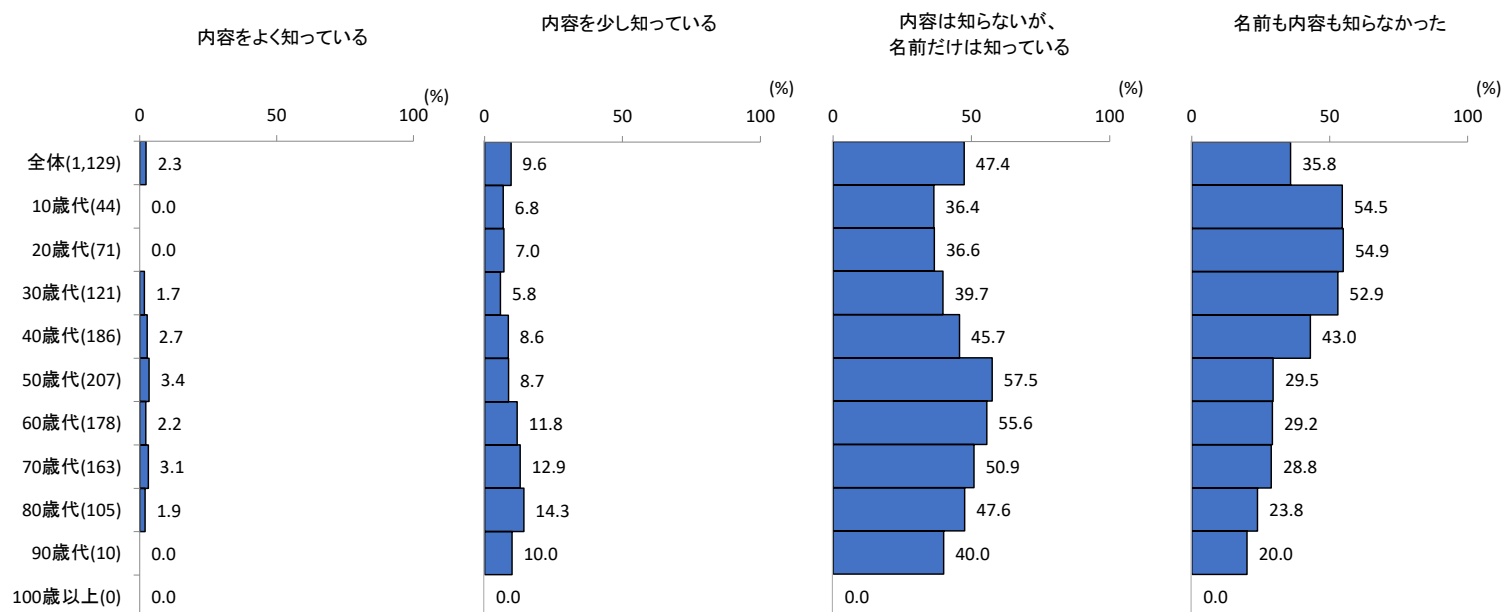
**問5-3 市民が郷土を愛し、藤沢を住みよい幸せなまちにするため、市民がお互いを守るべき生活の道しるべとして「藤沢市市民憲章」が定められています。**  
**このアンケートが届く前から、「藤沢市市民憲章」を知っていましたか。**  
**(いずれか一つに○)**

【図表102：「藤沢市市民憲章」の周知状況】



「藤沢市市民憲章」の周知状況について、「内容は知らないが、名前だけは知っている」が47.4%と最も高く、次いで「名前も内容も知らなかった」(35.8%)、「内容を少し知っている」(9.6%)、「内容をよく知っている」(2.3%)の順となっている。

【図表103：年齢別／「藤沢市市民憲章」の周知状況】



「内容は知らないが、名前だけは知っている」を年齢別にみると、50歳代が57.5%と最も高く、次いで60歳代(55.6%)、70歳代(50.9%)も5割を超えている。「名前も内容も知らなかった」は、10歳代(54.5%)、20歳代(54.9%)、30歳代(52.9%)で5割を超えている。

## (3) 自由意見

## 問5-4 その他、何かご意見等がございましたらお書きください。

自由意見について、180人からの回答があった。「特になし」「その他」を除き回答の多かった内容は、「市民活動・ボランティア活動について」「まちづくりについて」「市民活動情報の発信について」「このアンケートについて」の順であった。

| 内容                                                 | 件数 |
|----------------------------------------------------|----|
| 市民活動・ボランティア活動について<br>(例：機会があれば参加したい、自分の生活で参加できない等) | 29 |
| このアンケートについて(例：アンケートに答えるのが難しい等)                     | 16 |
| 市民活動情報の発信について(例：情報提供の充実等)                          | 17 |
| 寄付対象団体や寄付金の流れについて(例：募金が正しく使われているか等)                | 1  |
| まちづくりについて(例：道路整備、町の施設の充実等)                         | 20 |
| 自治会・町内会活動や地域コミュニティについて<br>(例：活動の負担が大きい等)           | 13 |
| 高齢者や障がい者施策について<br>(例：高齢者や障がいがある方向け支援の充実等)          | 9  |
| 文化・スポーツイベントの開催や文化・スポーツ施設の整備について<br>(例：ホールの整備等)     | 3  |
| 藤沢市の環境整備について(例：樹木の管理等)                             | 4  |
| 藤沢市の財政について(例：税金が高い等)                               | 9  |
| 市職員について(例：職員の地域活動等)                                | 4  |
| 児童施策について(例：子ども向け支援の充実等)                            | 8  |
| 市民のマナーの改善について(例：住民のモラルやマナー等)                       | 4  |
| 防災活動について(例：消防団等)                                   | 2  |
| 防犯について(例：地域の安全安心)                                  | 4  |
| 上記以外の市政について                                        | 8  |
| 新型コロナウイルスについて(例：感染への不安や対策への関心・要望等)                 | 4  |
| その他                                                | 33 |
| 特になし                                               | 50 |

※ 1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。